

**子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書**

**平成 31 年3月
狛江市**

目 次

調査概要

調査の目的	1
調査の方法	1
報告書を読むにあたっての留意点	1

集計結果

お子さんご家族について

(1) 居住地区	2
(2) 子どもの年齢	3
(3) 子どもの人数	4
(4) 回答者の続柄	5
(5) 配偶者の有無	5
(6) 子どもの養育を主にしている人	5

子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもの養育に日常的に関わっている人や施設	6
(2) 子どもの養育に最も影響すると思われる環境	7
(3) 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無	8

保護者の就労状況について

(1) 母親の現在の就労状況	9
(2) 就労日数と就労時間	10
(3) 家を出る時刻・帰宅時刻	11
(4) 就労場所	15
(5) フルタイムへの転換希望	15
(6) 今後の就労希望	16
(7) 就労希望の形態	17
(8) 父親の現在の就労状況	17
(9) 就労日数と就労時間	18
(10) 家を出る時刻・帰宅時刻	19
(11) 就労場所	23
(12) フルタイムへの転換希望	23
(13) 今後の就労希望	24
(14) 就労希望の形態	24

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況	25
(2) 利用している教育・保育事業の実施場所	29
(3) 定期的に利用している理由	29

(4) 利用していない理由	31
平日の定期的な教育・保育事業の利用希望	
(1) 今後の利用意向	33
(2) 幼稚園の強い利用希望	34
子育て支援に関する事業の利用状況について	
(1) 子育て支援事業の利用状況	35
(2) 今後の利用意向	36
(3) 各種子育て支援事業の利用状況と利用意向	37
土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	
(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	39
(2) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	41
子どもが病気の際の対応について	
(1) 教育・保育事業や学校を休んだことの有無	43
(2) 具体的な対処法	44
(3) 病児・病後児保育等の利用意向	46
(4) 病児・病後児のための保育サービス等を利用できなかった理由	47
(5) 病児・病後児保育サービス等の望ましい事業形態	48
(6) 病児・病後児保育等を利用したいと思わない理由	49
(7) 就労している保護者が仕事を休んで対応できなかった状況	50
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり(一時保育)等の利用について	
(1) 不定期に利用している事業	51
(2) 利用していない理由	52
(3) 一時保育等の利用意向	53
(4) 子どもを預ける場合に望ましいと思う事業形態	54
(5) 泊まりがけで家族以外に子どもを預けたこと	55
(6) 親族・知人にみてもらった際の困難度	56
小学校就学後の放課後の過ごし方について	
(1) 小学校入学後希望する放課後の過ごし方	57
(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の学童クラブの利用希望	58
お子さんの放課後の過ごし方について	
(1) 小学生の希望する放課後の過ごし方	59
(2) 学童クラブの利用状況	60
(3) 学童クラブを利用していない理由	61
(4) 今後の学童クラブの利用意向	62
(5) 今後、学童クラブを利用したい理由	64
(6) 学童クラブに対する希望	64
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	
(1) 育児休業の取得状況	65

(2) 育児休業給付の支給や健康保険料等が免除の認知度	67
(3) 育児休業取得後の職場復帰状況	67
(4) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	68
(5) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	69
(6) 1歳になったとき必ず利用できる事業があった際の育児休業の取得意向	69

子育て全般について

(1) 子育てをする上での悩み	70
(2) 子育ての不安や悩みの相談先	72
(3) ほしい子育てに関する情報	73
(4) 子育てに関する情報の入手先	74
(5) 子育てポータルサイトの閲覧頻度	76
(6) 今後児童の居場所として充実してほしい公共施設・事業	77
(7) 子どもがよく利用する公共施設	77
(8) 世帯の暮らし向き	78
(9) ワーク・ライフ・バランスの認知状況	80
(10) 仕事と家庭のバランスについて	80
(11) 現在の生活の中で考えのとおり仕事と家庭のバランスが取れているか	82
(12) 子どもへの接し方について	84
(13) 児童虐待に関する認知状況	85

行政サービスへの要望について

(1) 市に期待する子育て支援の充実	86
--------------------------	----

前回調査比較

(1) 母親の就労状況	88
(2) 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無	89
(3) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望	90
(4) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望	90
(5) 母親の育児休業の取得状況	90
(6) 子育てをする上での悩み	91
(7) 今後児童の居場所として充実してほしい公共施設・事業	92
(8) 世帯の暮らし向き	92
(9) ワーク・ライフ・バランスの認知状況	93
(10) 市に期待する子育て支援の充実	94

自由記入設問 記述

▼就学前児童保護者アンケート	97
▼小学生保護者アンケート	117

調査概要

調査の目的

狛江市では現在、平成 32 年度（2020 年度）を初年度とする『第 2 期こまえ子育て応援プラン』の策定を進めています。本調査は、現在子育て中の家庭の生活や子育てに関するご意見、ご要望を把握し、計画を策定する上での基礎資料として活用するとともに今後の子育て支援などの施策に反映させていくために実施したものです。

調査の方法

- 調査対象：小学校就学前のお子さんがある世帯の方 1,000 人及び小学生のお子さんがある世帯の方 1,000 人
- 抽出方法：住民基本台帳（平成 30 年 4 月 1 日現在）より無作為抽出
- 調査期間：平成 30 年 10 月 26 日～11 月 7 日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	1,000 票	599 票	59.9%
小学生調査	1,000 票	513 票	51.3%

報告書を読むにあたっての留意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答（2 つ以上選ぶ問）の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表します。
- クロス集計の結果、項目の順位が全体集計と変わることがあります。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」や 1 %未満の数値表示を省略しているものがあります。

集計結果

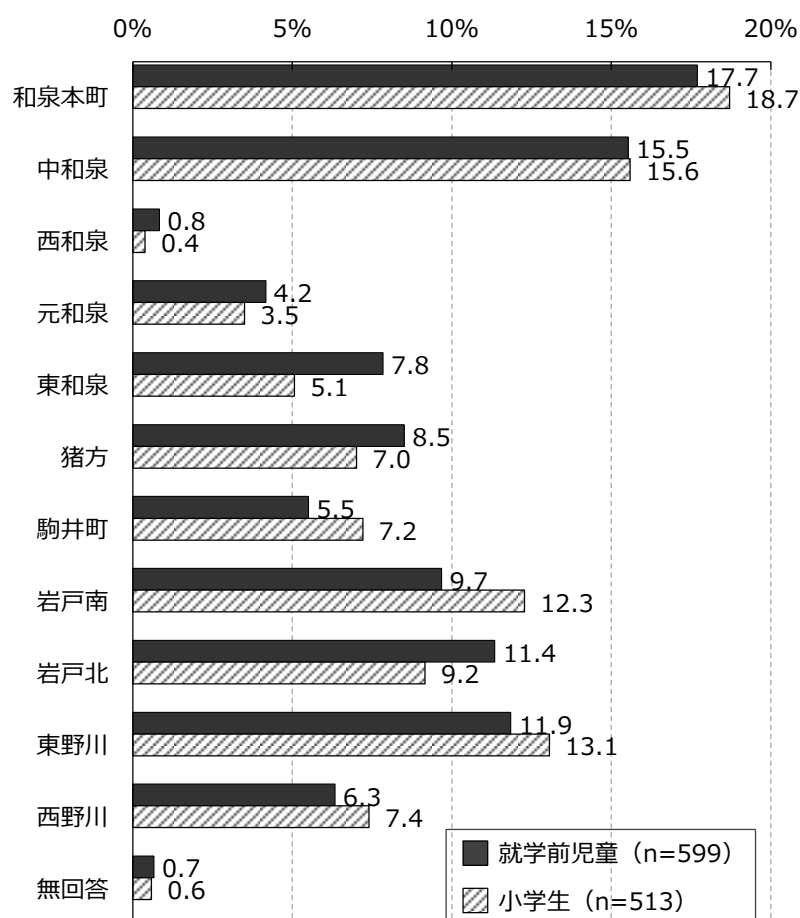
お子さんとご家族について

(1) 居住地区

就学前児童は、「和泉本町」が17.7%と最も多く、次いで「中和泉」が15.5%、「東野川」が11.9%、「岩戸北」が11.4%、「岩戸南」が9.7%となっています。

小学生は、「和泉本町」が18.7%と最も多く、次いで「中和泉」が15.6%、「東野川」が13.1%、「岩戸南」が12.3%、「岩戸北」が9.2%となっています。

問1. お住まいの地区を教えてください

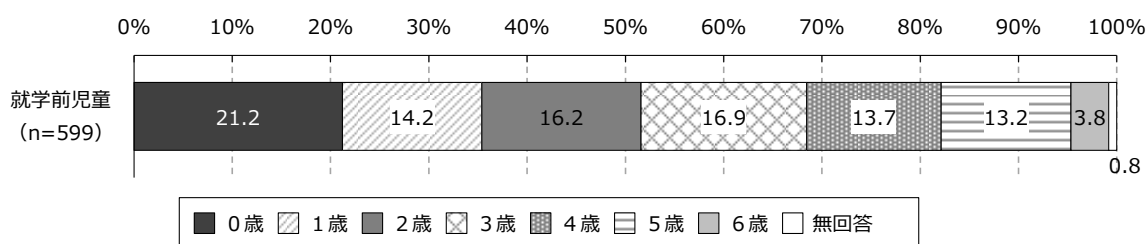


(2) 子どもの年齢

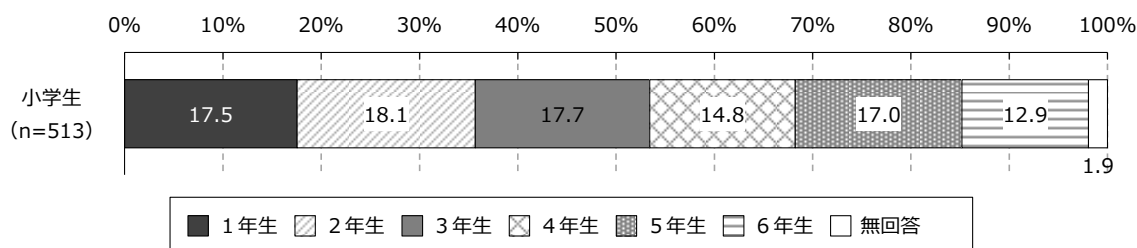
就学前児童は、「0歳」が21.2%と最も多く、次いで「3歳」が16.9%、「2歳」が16.2%、「1歳」が14.2%、「4歳」が13.7%となっており、就学前児童の構成は、「0～2歳」が51.6%、「3歳～6歳」が47.6%となっています。

小学生は、「2年生」が18.1%と最も多く、次いで「3年生」が17.7%、「1年生」が17.5%、「5年生」が17.0%、「4年生」が14.8%となっており、小学生の構成は、「1～3年生」が53.3%、「4～6年生」が44.7%となっています。

問2. あて名のお子さんは平成30年4月1日時点で何歳ですか



問2. あて名のお子さんの学年を教えてください

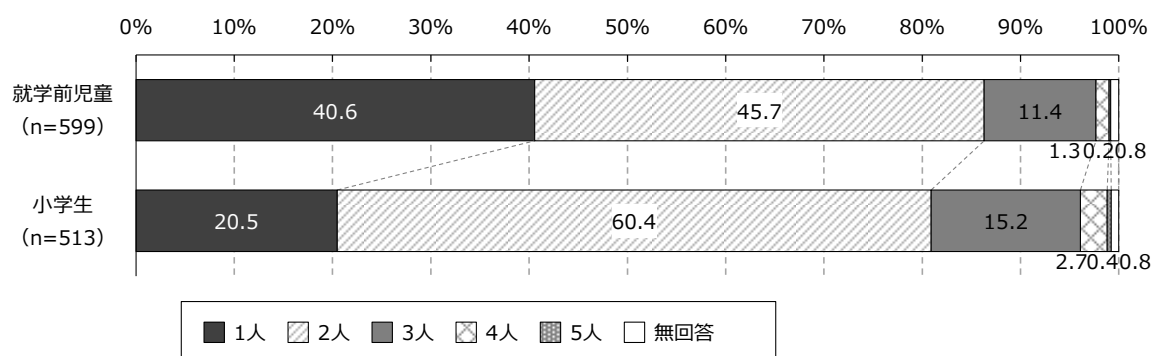


(3) 子どもの人数

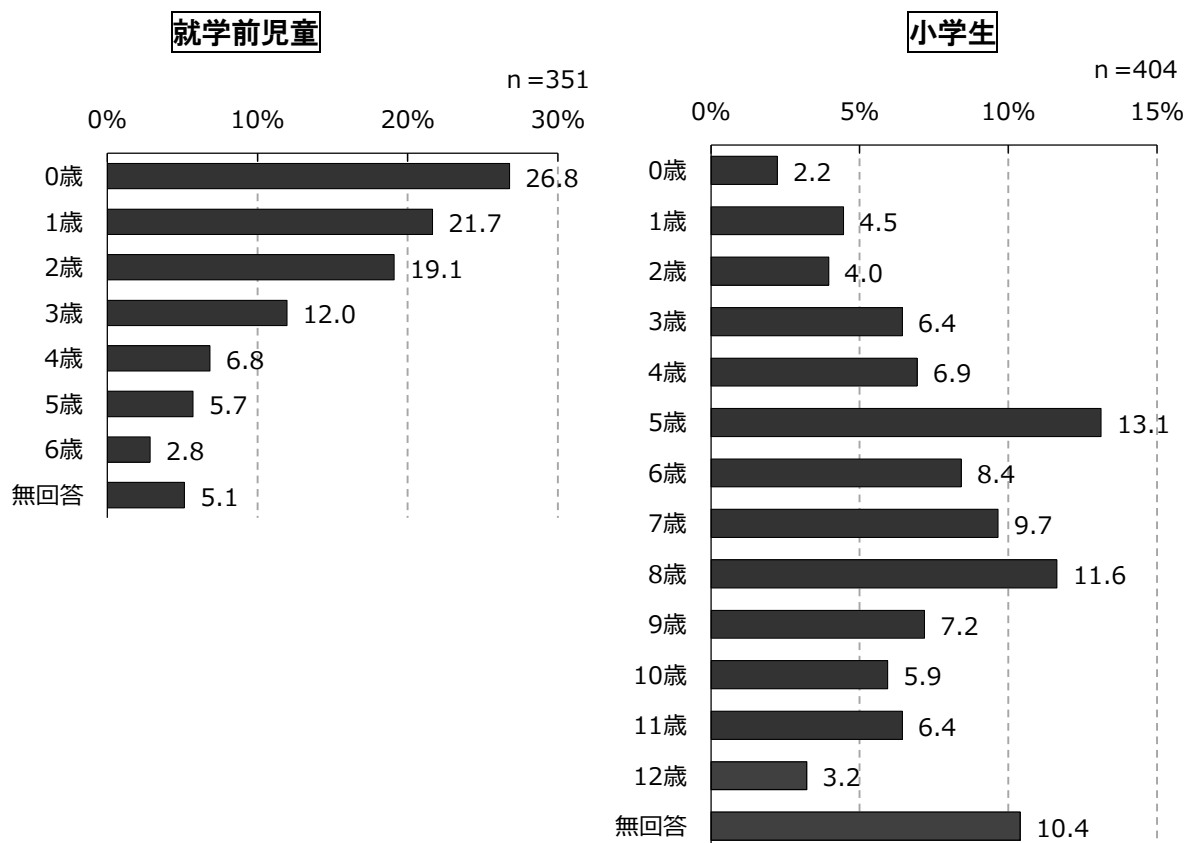
就学前児童の子ども的人数は、「2人」が45.7%と最も多く、次いで「1人」が40.6%、「3人」が11.4%となっています。また、末子の年齢は、「0歳」が26.8%と最も多く、次いで「1歳」が21.7%、「2歳」が19.1%、「3歳」が12.0%、「4歳」が6.8%となっています。

小学生の子ども的人数は、「2人」が60.4%と最も多く、次いで「1人」が20.5%、「3人」が15.2%となっています。また、末子の年齢は、「5歳」が13.1%と最も多く、次いで「8歳」が11.6%、「7歳」が9.7%、「6歳」が8.4%、「9歳」が7.2%となっています。

問3. あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成30年4月1日現在)をお答えください。



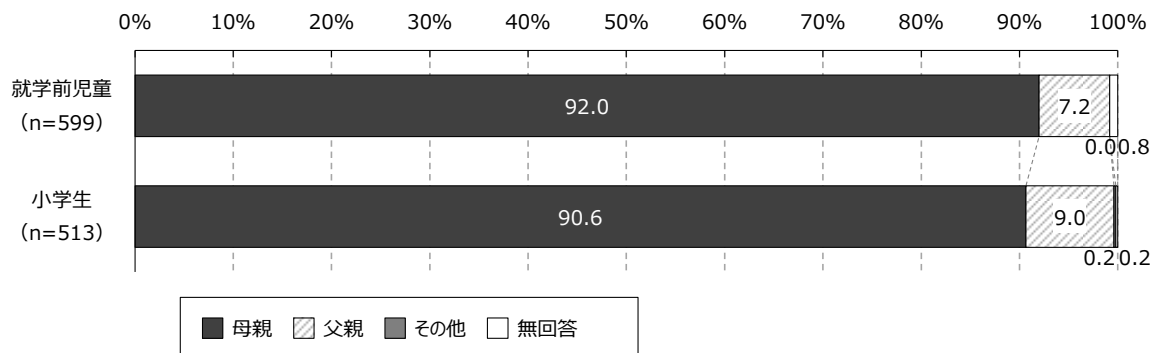
◆末子の年齢



(4) 回答者の続柄

回答者が「母親」と回答した割合は、就学前児童が92.0%、小学生が90.6%と9割を超え大多数を占めています。

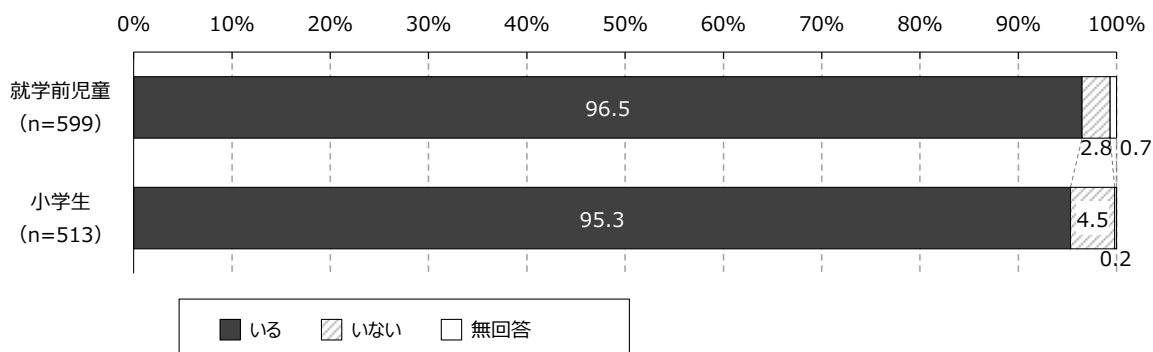
問4. ご回答いただく方はどなたですか



(5) 配偶者の有無

配偶者が「いる」と回答した割合は就学前児童、小学生ともに95%を超えています。

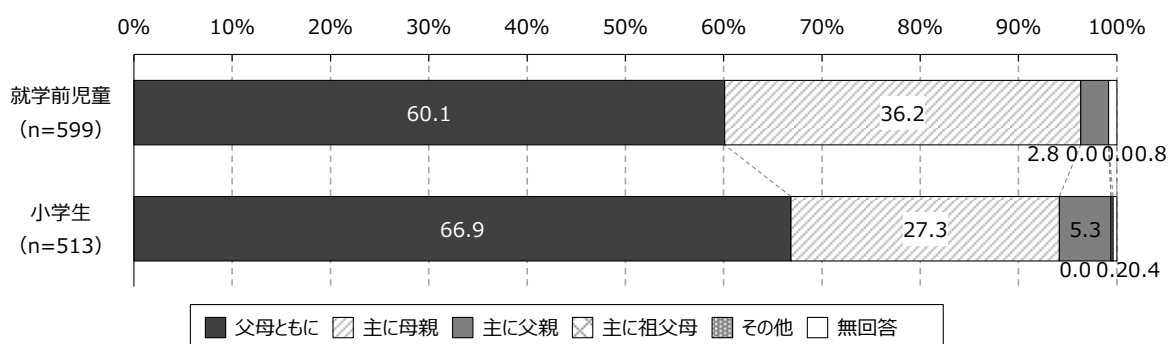
問5. あなたに配偶者はいらっしゃいますか



(6) 子どもの養育を主にしている人

子どもの養育を主にしている人について、「父母ともに」が最も多く、就学前児童60.1%、小学生66.9%、次いで「主に母親」との回答が、就学前児童36.2%、小学生27.3%となっています。

問6. あて名のお子さんの養育を主にしている方はどなたですか



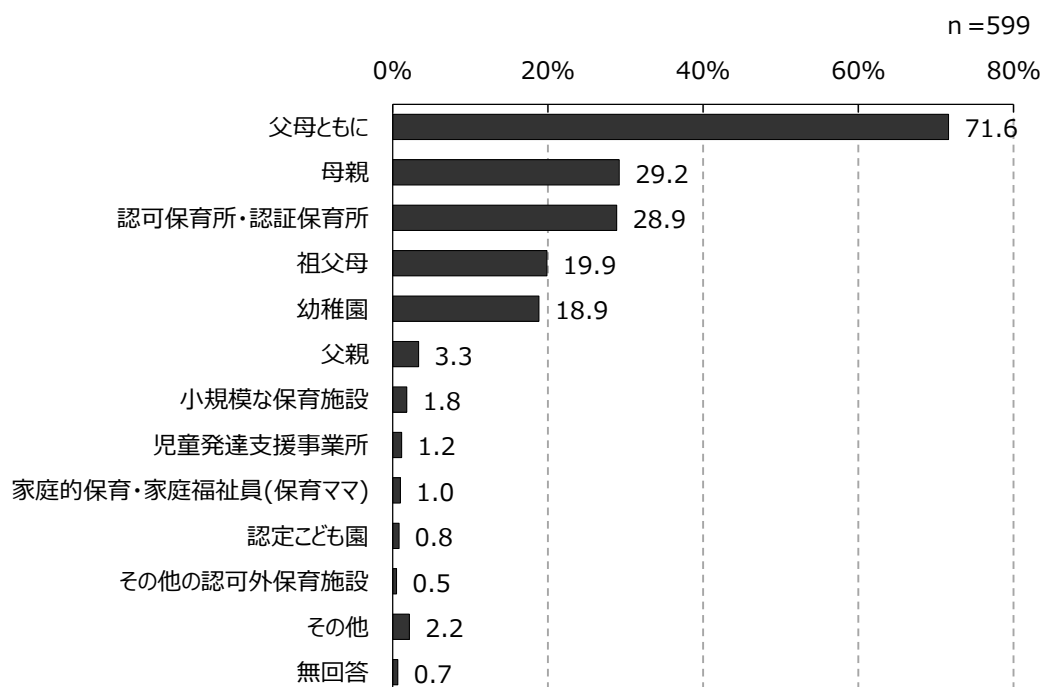
子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもの養育に日常的に関わっている人や施設

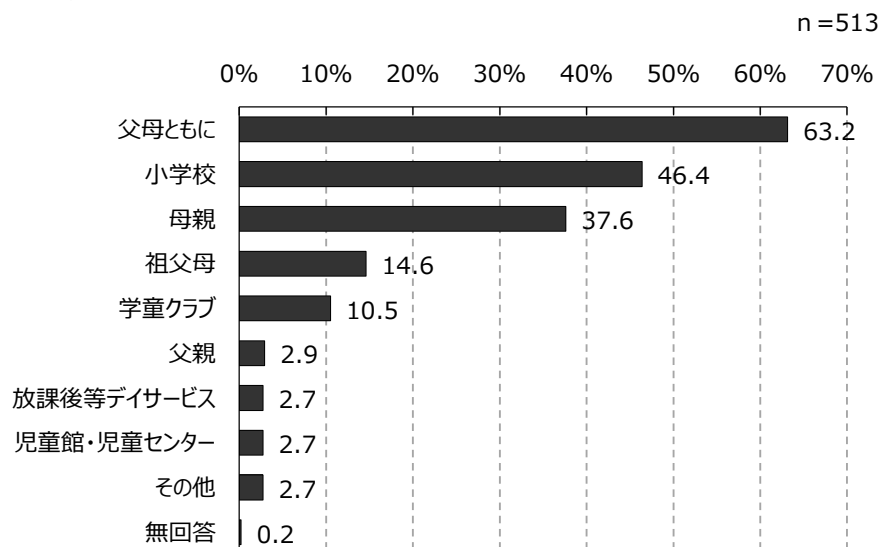
就学前児童では、「父母ともに」が71.6%と最も多く、次いで「母親」が29.2%、「認可保育所・認証保育所」が28.9%と続きます。

小学生では、「父母ともに」が63.2%と最も多く、次いで「小学校」が46.4%、「母親」が37.6%となっています。

就学前児童 問7. あて名のお子さんの養育に、日常的に関わっている方はどなたですか
(複数回答)



小学生 問7. あて名のお子さんの養育に、日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか
(複数回答)

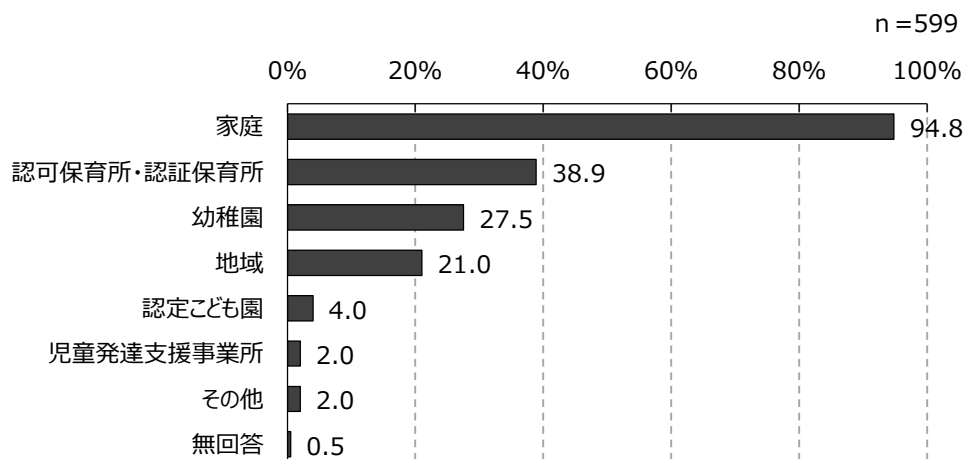


（２）子どもの養育に最も影響すると思われる環境

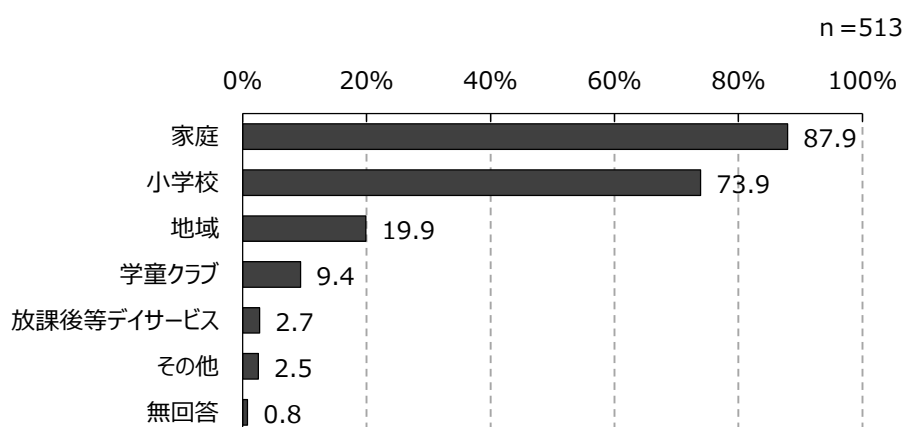
就学前児童では、「家庭」が 94.8%と最も多く、次いで「認可保育所・認証保育所」が 38.9%、「幼稚園」が 27.5%、「地域」が 21.0%、「認定こども園」が 4.0%となっています。

小学生では、「家庭」が 87.9%と最も多く、次いで「小学校」が 73.9%、「地域」が 19.9%、「学童クラブ」が 9.4%、「放課後等デイサービス」が 2.7%となっています。

就学前児童 問8. あて名のお子さんの養育に、最も影響すると思われる環境はどれだと思いますか
(複数回答)



小学生 問8. あて名のお子さんの養育に、最も影響すると思われる環境はどれだと思いますか
(複数回答)



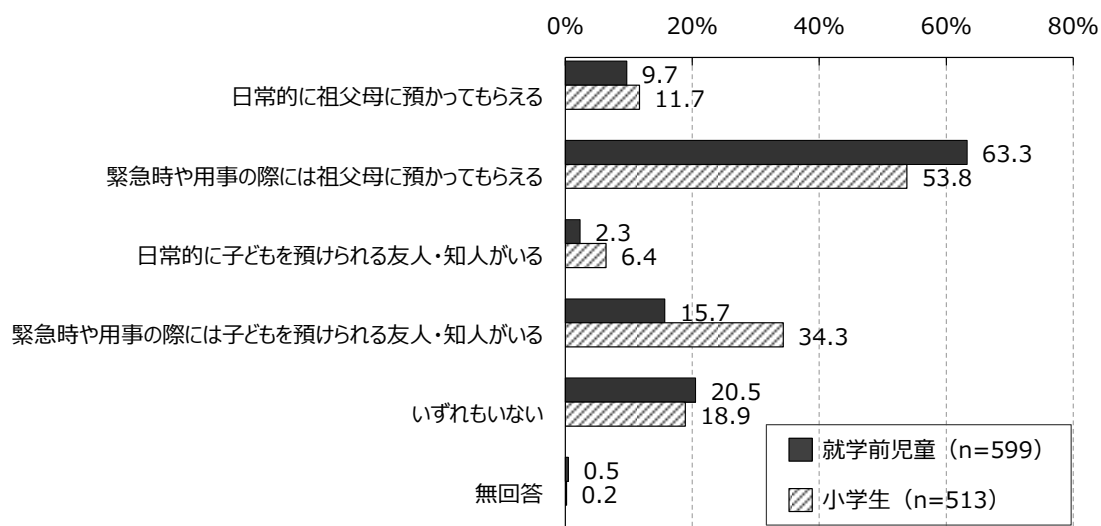
(3) 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無

就学前児童では、「緊急時や用事の際には祖父母に預かってもらえる」が 63.3%と最も多く、次いで「緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が 15.7%、「日常的に祖父母に預かってもらえる」が 9.7%となっています。

小学生では、「緊急時や用事の際には祖父母に預かってもらえる」が 53.8%と最も多く、次いで「緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が 34.3%、「日常的に祖父母に預かってもらえる」が 11.7%となっています。

就学前児童、小学生ともに過半数が緊急時や用事の際に預かってもらえる祖父母がいると回答している一方、就学前児童の 20.5%、小学生の 18.9%は「いずれもない」と回答しています。

問9. 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか(複数回答)

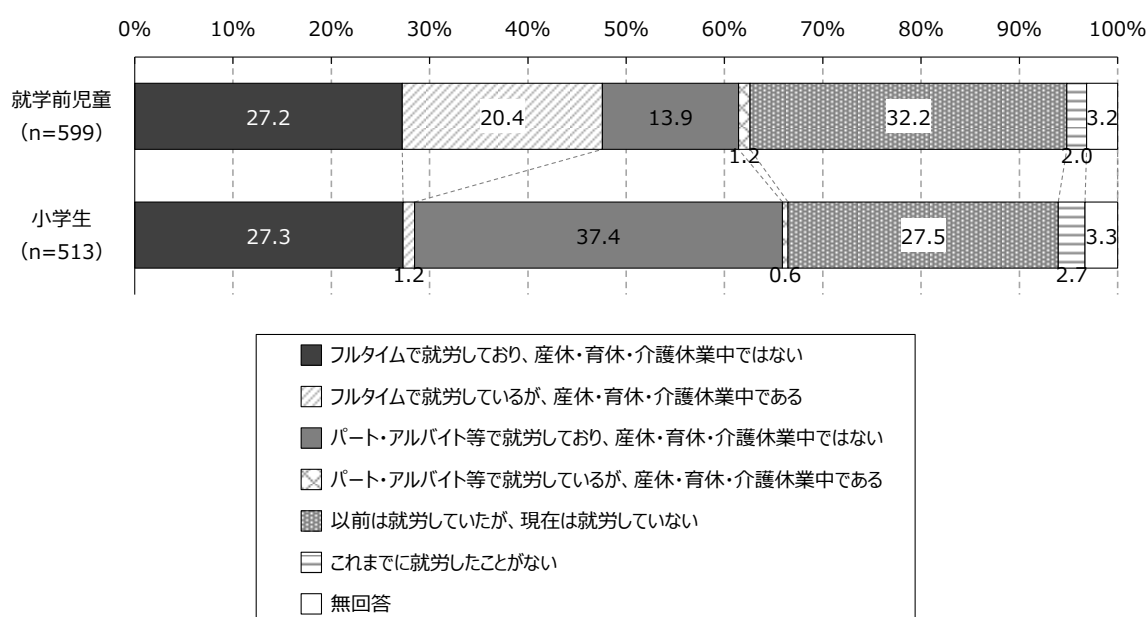


保護者の就労状況について

(1) 母親の現在の就労状況

母親の就労状況について、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が就学前児童 32.2%、小学生 27.5%となっています。就学前児童では「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が 20.4%と小学生の約 20 倍高く、小学生では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 37.4%と就学前児童の 13.9% に比べ 23 ポイントほど高くなっています。「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は就学前児童 27.2%、小学生 27.3%となっています。

問10. 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます



(2) 就労日数と就労時間

母親の平均就労日数は「フルタイム」で 5.0～5.1 日/週、「パートタイム」で 3.5～4.7 日/週、平均就労時間は「フルタイム」で 7.7～8.4 時間/日、「パートタイム」で 5.3～7.2 時間/日となっています。

問10-1. ①1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を教えてください。

就学前児童

	平均就労日数
全体	4.7 日/週
フルタイム	5.1 日/週
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	5.0 日/週
パート・アルバイト等	3.5 日/週
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	4.0 日/週

	平均就労時間
全体	7.5 時間/日
フルタイム	7.7 時間/日
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	8.4 時間/日
パート・アルバイト等	5.6 時間/日
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	7.2 時間/日

小学生

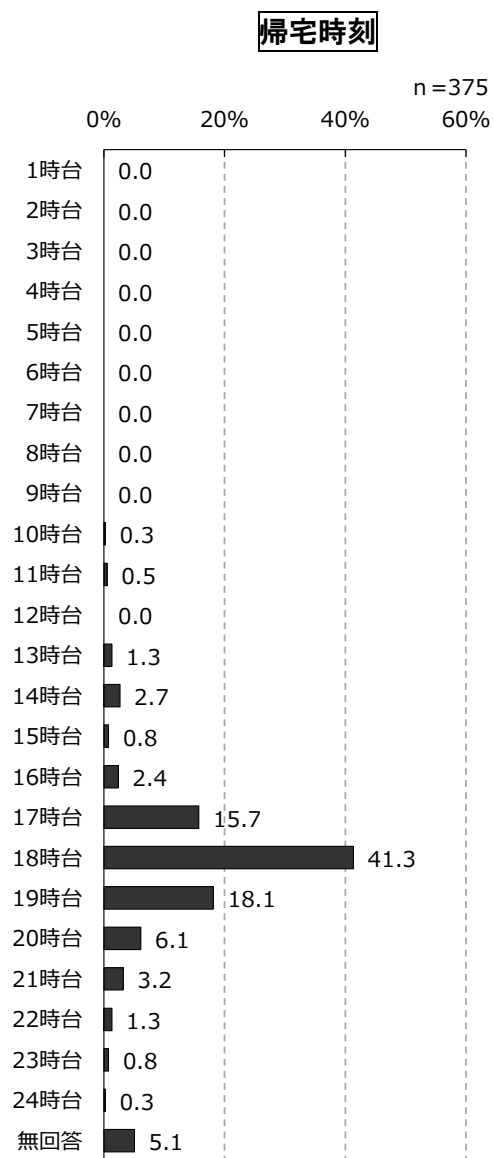
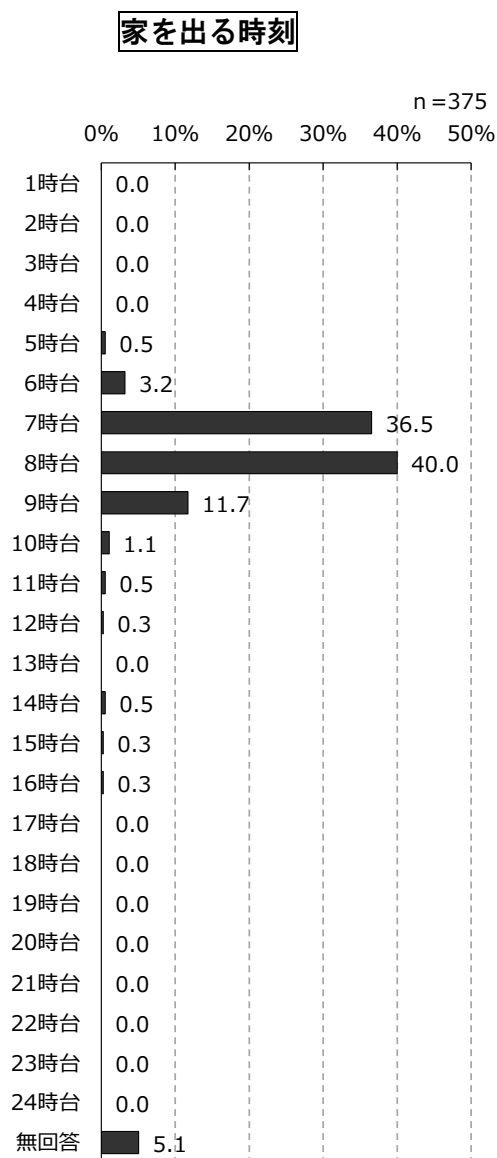
	平均就労日数
全体	4.3 日/週
フルタイム	5.1 日/週
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	5.0 日/週
パート・アルバイト等	3.6 日/週
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	4.7 日/週

	平均就労時間
全体	6.5 時間/日
フルタイム	8.1 時間/日
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	7.8 時間/日
パート・アルバイト等	5.3 時間/日
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	5.3 時間/日

(3) 家を出る時刻・帰宅時刻

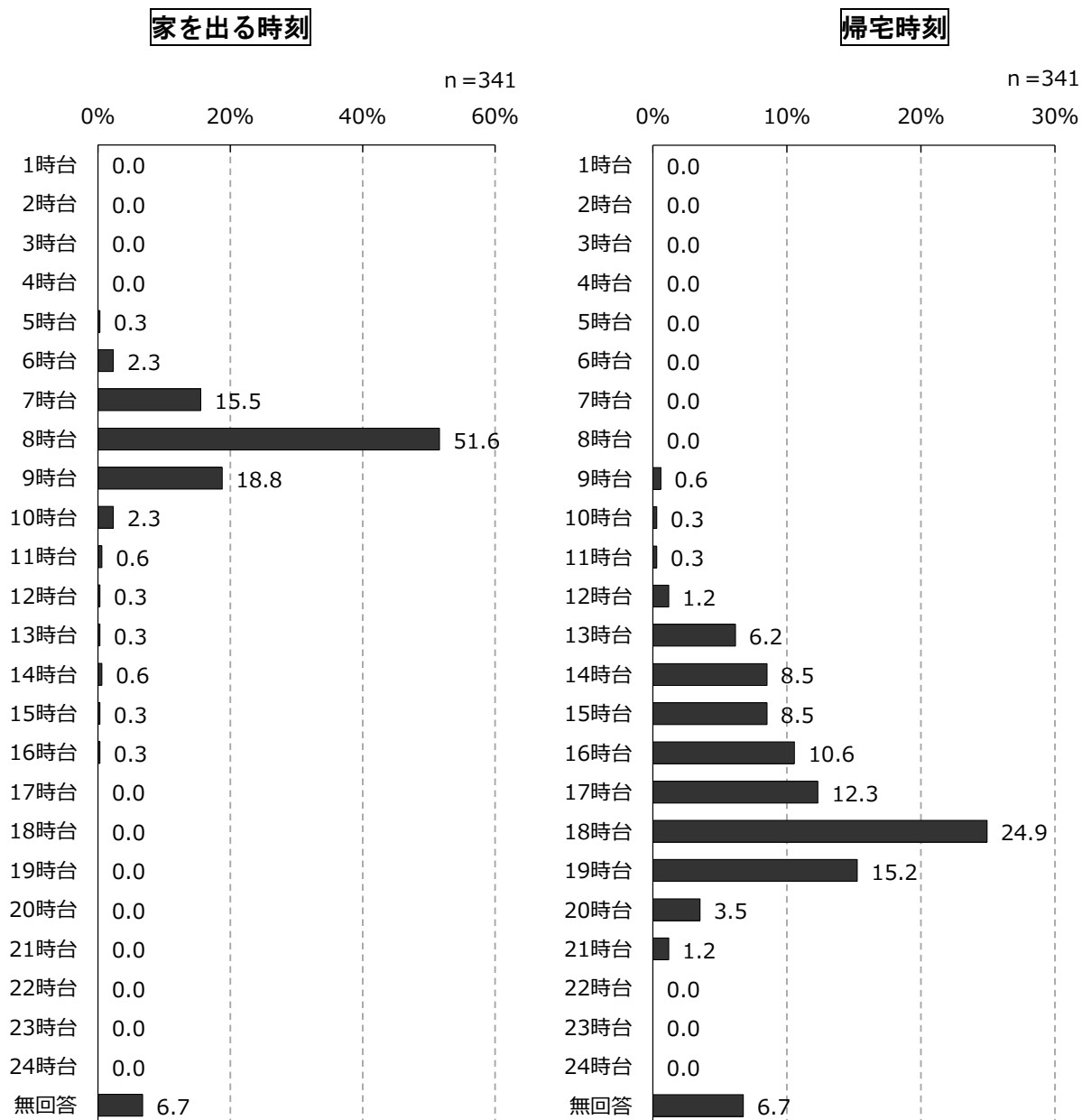
就学前児童の母親が家を出る時刻は、「8時台」が40.0%と最も多く、次いで「7時台」が36.5%、「9時台」が11.7%となっています。帰宅時刻は、「18時台」が41.3%と最も多く、次いで「19時台」が18.1%、「17時台」が15.7%となっています。

就学前児童 問10-1. ②家を出る時刻・帰宅時刻を教えてください。



小学生の母親が家を出る時刻は、「8時台」が51.6%と最も多く、次いで「9時台」が18.8%、「7時台」が15.5%となっています。帰宅時刻は、「18時台」が24.9%と最も多く、次いで「19時台」が15.2%、「17時台」が12.3%となっています。

小学生 問10-1. ②家を出る時刻・帰宅時刻を教えてください。



◆就労状況別/家を出る時刻

フルタイムでは、「7時台～8時台」の回答が多く、パート・アルバイト等では「8時台～9時台」の回答が多くなっています。

	就学前児童							
	フルタイム (n=163)		フルタイム (n=122) (産休・育休・介護休業中)		パート・アルバイト等 (n=83)		パート・アルバイト等 (n=7) (産休・育休・介護休業中)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5時台	0	0.0	1	0.8	1	1.2	0	0.0
6時台	4	2.5	6	4.9	2	2.4	0	0.0
7時台	69	42.3	58	47.5	8	9.6	2	28.6
8時台	71	43.6	44	36.1	34	41.0	1	14.3
9時台	15	9.2	9	7.4	18	21.7	2	28.6
10時台	0	0.0	1	0.8	3	3.6	0	0.0
11時台	0	0.0	1	0.8	0	0.0	1	14.3
12時台	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	2	2.4	0	0.0
15時台	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0
17時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
18時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

	小学生							
	フルタイム (n=140)		フルタイム (n=6) (産休・育休・介護休業中)		パート・アルバイト等 (n=192)		パート・アルバイト等 (n=3) (産休・育休・介護休業中)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5時台	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
6時台	6	4.3	0	0.0	2	1.0	0	0.0
7時台	37	26.4	5	83.3	11	5.7	0	0.0
8時台	77	55.0	1	16.7	96	50.0	2	66.7
9時台	9	6.4	0	0.0	54	28.1	1	33.3
10時台	3	2.1	0	0.0	5	2.6	0	0.0
11時台	0	0.0	0	0.0	2	1.0	0	0.0
12時台	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	2	1.0	0	0.0
15時台	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
17時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
18時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
19時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

◆就労状況別/帰宅時刻

フルタイムでは、「17 時台～20 時台」の回答が多く、パート・アルバイト等では、就学前児童は「17 時台～18 時台」の回答が多く、小学生は「13 時台～18 時台」と回答にばらつきがみられます。

	就学前児童							
	フルタイム (n=163)		フルタイム (n=122) (産休・育休・介護休業中)		パート・アルバイト等 (n=83)		パート・アルバイト等 (n=7) (産休・育休・介護休業中)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10時台	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0
11時台	0	0.0	0	0.0	2	2.4	0	0.0
12時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	5	6.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	10	12.0	0	0.0
15時台	1	0.6	0	0.0	2	2.4	0	0.0
16時台	3	1.8	1	0.8	5	6.0	0	0.0
17時台	23	14.1	10	8.2	23	27.7	3	42.9
18時台	95	58.3	43	35.2	17	20.5	0	0.0
19時台	30	18.4	32	26.2	5	6.0	1	14.3
20時台	6	3.7	17	13.9	0	0.0	0	0.0
21時台	1	0.6	9	7.4	0	0.0	2	28.6
22時台	0	0.0	5	4.1	0	0.0	0	0.0
23時台	0	0.0	2	1.6	1	1.2	0	0.0
24時台	0	0.0	1	0.8	0	0.0	0	0.0

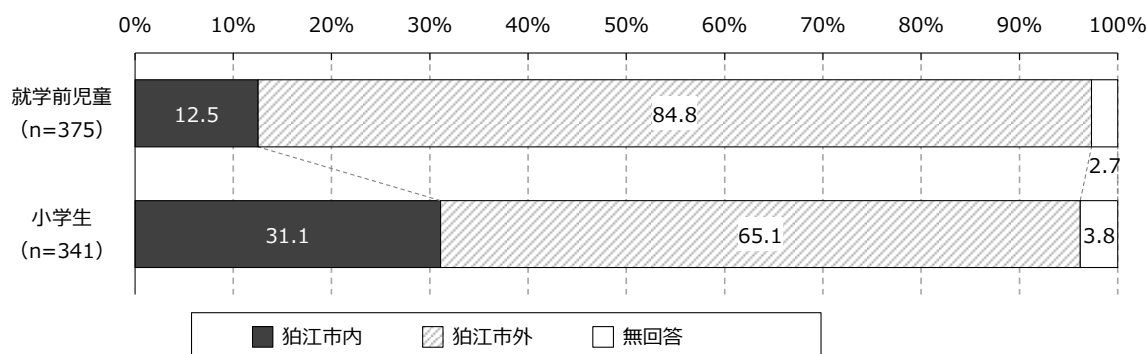
	小学生							
	フルタイム (n=140)		フルタイム (n=6) (産休・育休・介護休業中)		パート・アルバイト等 (n=192)		パート・アルバイト等 (n=3) (産休・育休・介護休業中)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9時台	0	0.0	0	0.0	2	1.0	0	0.0
10時台	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
11時台	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
12時台	0	0.0	0	0.0	4	2.1	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	21	10.9	0	0.0
14時台	1	0.7	0	0.0	27	14.1	1	33.3
15時台	1	0.7	0	0.0	28	14.6	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0	36	18.8	0	0.0
17時台	15	10.7	1	16.7	24	12.5	2	66.7
18時台	59	42.1	3	50.0	23	12.0	0	0.0
19時台	43	30.7	2	33.3	7	3.6	0	0.0
20時台	10	7.1	0	0.0	2	1.0	0	0.0
21時台	3	2.1	0	0.0	1	0.5	0	0.0
22時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

(4) 就労場所

就学前児童では「狛江市内」が12.5%、「狛江市外」が84.8%となっています。

小学生では、「狛江市内」が31.1%、「狛江市外」が65.1%となっており、就学前児童と比べ「狛江市内」が約19ポイント増加しています。

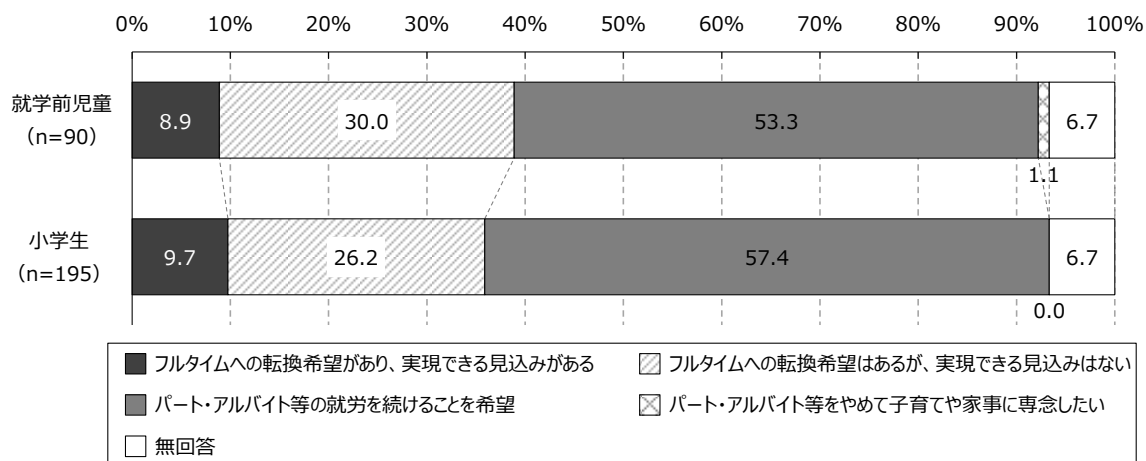
問10-1. ③就労場所を教えてください。



(5) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望について、就学前児童の53.3%、小学生の57.4%が「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」している一方、4割弱がフルタイムへの転換を希望しています。

問10-2. フルタイムへの転換希望はありますか

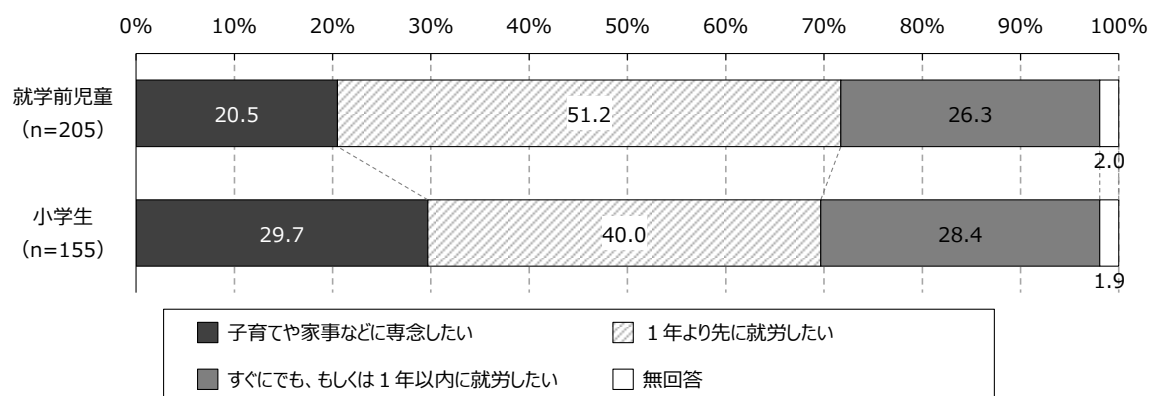


(6) 今後の就労希望

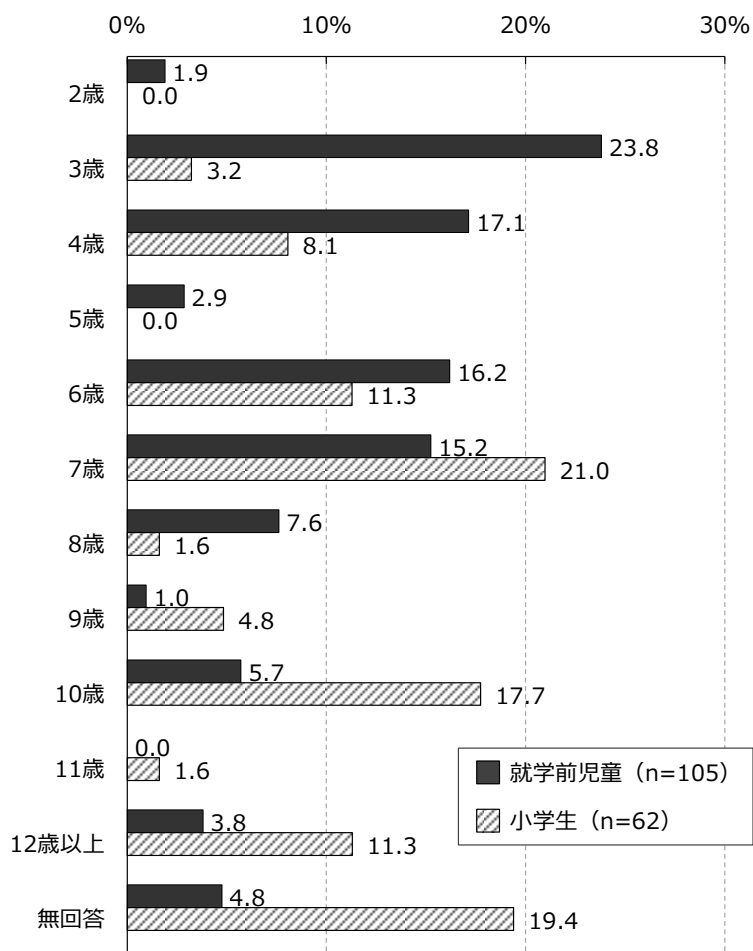
現在、就労していない人の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が就学前児童 26.3%、小学生 28.4%と3割に満たず、「1年より先に就労したい」が約4～5割、「子育てや家事などに専念したい」が約2～3割となっています。

就労したいと考える末子の年齢は、就学前児童は「3歳」が23.8%、「4歳」が17.1%と続き、小学生は「7歳」が21.0%、「10歳」が17.7%となっています。

問10-3. 今後の就労希望はありますか



◆末子の年齢

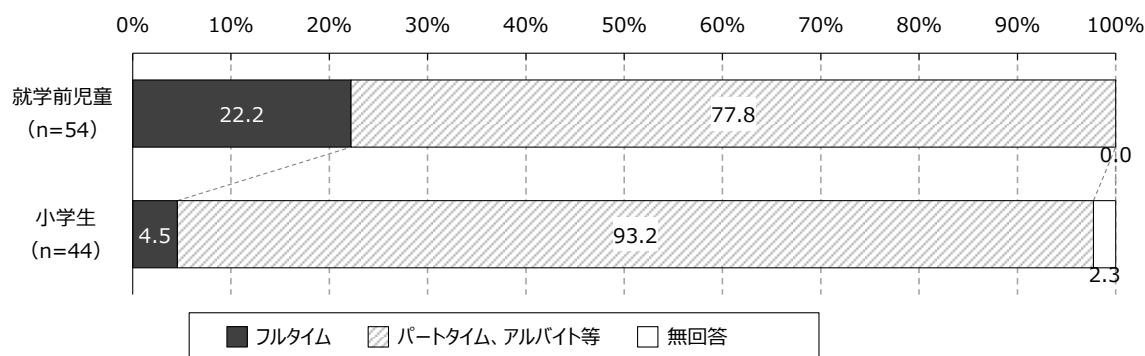


(7) 就労希望の形態

1年以内に就労したいと回答した人の希望する就労形態は、「パートタイム・アルバイト等」が就学前児童 77.8%、小学生 93.2%と多数を占めています。

就学前児童、小学生とも、「パートタイム・アルバイト等」で就労を希望している人の望む就労日数は3日/週程度、就労時間は5時間/日となっています。

問10-4. 就労希望の形態はどのようなものですか



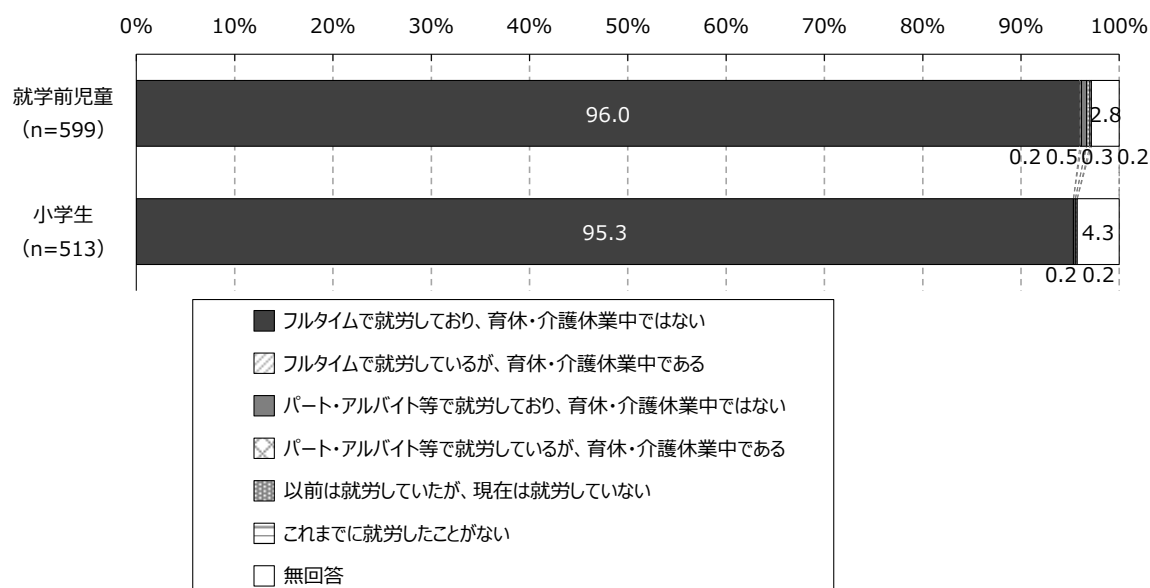
□ パートタイム・アルバイト等の希望就労日数・就労時間

就学前児童	3.3 日/週	5.0 時間/日
小学生	3.4 日/週	5.0 時間/日

(8) 父親の現在の就労状況

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が就学前児童 96.0%、小学生 95.3%と大多数を占めています。

問11. 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます



（９）就労日数と就労時間

父親の平均就労日数は「フルタイム」では 5.2～6.0 日/週、「パートタイム」では 4.0～5.3 日/週、平均就労時間は「フルタイム」では 9.9～12.0 時間/日、「パートタイム」では 8.0～9.0 時間/日となっています。

問11-1. ①1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を教えてください。

就学前児童

	平均就労日数
全体	5.2 日/週
フルタイム	5.2 日/週
フルタイム (育休・介護休業中)	6.0 日/週
パート・アルバイト等	5.3 日/週
パート・アルバイト等 (育休・介護休業中)	—

	平均就労時間
全体	10.1 時間/日
フルタイム	10.1 時間/日
フルタイム (育休・介護休業中)	12.0 時間/日
パート・アルバイト等	9.0 時間/日
パート・アルバイト等 (育休・介護休業中)	—

小学生

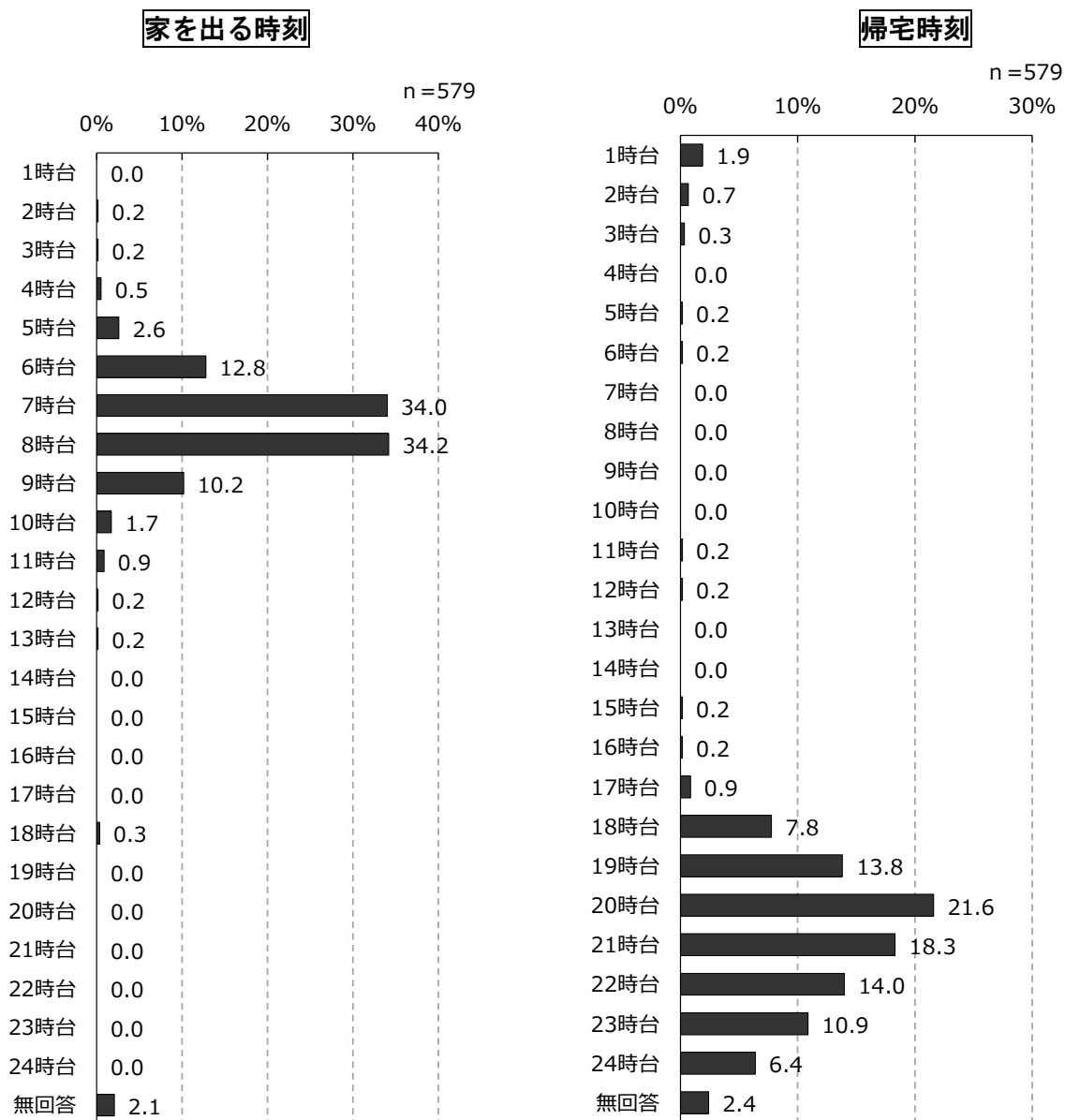
	平均就労日数
全体	5.2 日/週
フルタイム	5.2 日/週
フルタイム (育休・介護休業中)	—
パート・アルバイト等	4.0 日/週
パート・アルバイト等 (育休・介護休業中)	—

	平均就労時間
全体	9.9 時間/日
フルタイム	9.9 時間/日
フルタイム (育休・介護休業中)	—
パート・アルバイト等	8.0 時間/日
パート・アルバイト等 (育休・介護休業中)	—

(10) 家を出る時刻・帰宅時刻

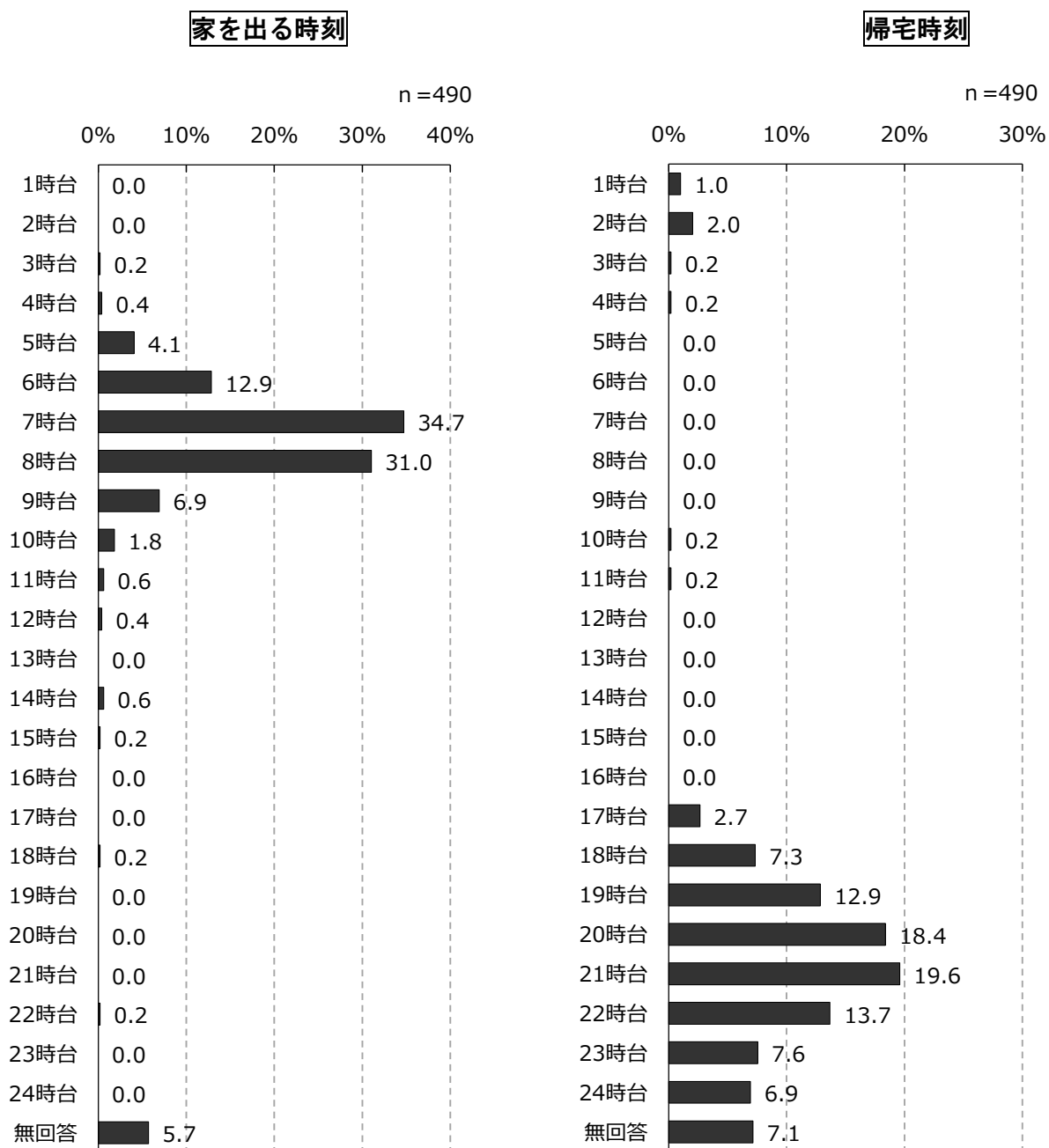
就学前児童の父親が家を出る時刻は、「8 時台」が 34.2%と最も多く、次いで「7 時台」が 34.0%、「6 時台」が 12.8%となっています。帰宅時刻は、「20 時台」が 21.6%と最も多く、次いで「21 時台」が 18.3%、「22 時台」が 14.0%となっています。

就学前児童 問11-1. ②家を出る時刻・帰宅時刻を教えてください。



小学生の父親が家を出る時刻は、「7時台」が34.7%と最も多く、次いで「8時台」が31.0%、「6時台」が12.9%となっています。帰宅時刻は、「21時台」が19.6%と最も多く、次いで「20時台」が18.4%、「22時台」が13.7%、「19時台」が12.9%となっています。

小学生 問11-1. ②家を出る時刻・帰宅時刻を教えてください。



◆就労状況別/家を出る時刻

フルタイムで、「6時台～9時台」の回答が多く、その中でも就学前児童、小学生のいずれも、「7時台」と「8時台」を合わせた割合は6割以上を占めています。

	就学前児童					
	フルタイム (n=575)		フルタイム (n=1) (育休・介護休業中)		パート・アルバイト等 (n=3)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
3時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
4時台	3	0.5	0	0.0	0	0.0
5時台	15	2.6	0	0.0	0	0.0
6時台	74	12.9	0	0.0	0	0.0
7時台	197	34.3	0	0.0	0	0.0
8時台	197	34.3	0	0.0	1	33.3
9時台	59	10.3	0	0.0	0	0.0
10時台	7	1.2	1	100.0	2	66.7
11時台	5	0.9	0	0.0	0	0.0
12時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
13時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
17時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
18時台	2	0.3	0	0.0	0	0.0
19時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
21時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
22時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
23時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
24時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0

	小学生			
	フルタイム (n=489)		パート・アルバイト等 (n=1)	
	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	0	0.0	0	0.0
2時台	0	0.0	0	0.0
3時台	1	0.2	0	0.0
4時台	2	0.4	0	0.0
5時台	20	4.1	0	0.0
6時台	63	12.9	0	0.0
7時台	170	34.8	0	0.0
8時台	151	30.9	1	100.0
9時台	34	7.0	0	0.0
10時台	9	1.8	0	0.0
11時台	3	0.6	0	0.0
12時台	2	0.4	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0
14時台	3	0.6	0	0.0
15時台	1	0.2	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0
17時台	0	0.0	0	0.0
18時台	1	0.2	0	0.0
19時台	0	0.0	0	0.0
20時台	0	0.0	0	0.0
21時台	0	0.0	0	0.0
22時台	1	0.2	0	0.0
23時台	0	0.0	0	0.0
24時台	0	0.0	0	0.0

◆就労状況別/帰宅時刻

フルタイムで、「19 時台～23 時台」の回答が多く、その中でも就学前児童では「20 時台」、小学生では「21 時台」が最も多くなっています。

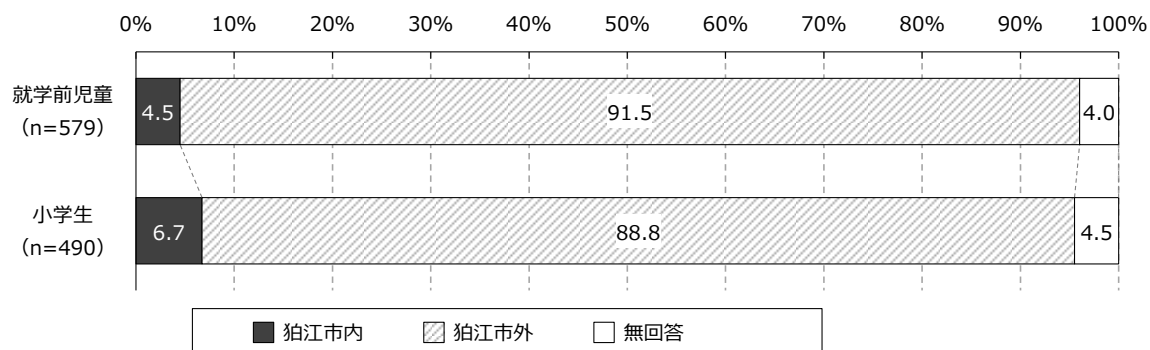
	就学前児童					
	フルタイム (n=575)		フルタイム (n=1) (育休・介護休業中)		パート・アルバイト等 (n=3)	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	10	1.7	0	0.0	1	33.3
2時台	4	0.7	0	0.0	0	0.0
3時台	2	0.3	0	0.0	0	0.0
4時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
6時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
7時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
11時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
12時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0	0	0.0
15時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
16時台	1	0.2	0	0.0	0	0.0
17時台	4	0.7	0	0.0	1	33.3
18時台	45	7.8	0	0.0	0	0.0
19時台	80	13.9	0	0.0	0	0.0
20時台	124	21.6	0	0.0	1	33.3
21時台	106	18.4	0	0.0	0	0.0
22時台	80	13.9	1	100.0	0	0.0
23時台	63	11.0	0	0.0	0	0.0
24時台	37	6.4	0	0.0	0	0.0

	小学生			
	フルタイム (n=489)		パート・アルバイト等 (n=1)	
	(人)	(%)	(人)	(%)
1時台	5	1.0	0	0.0
2時台	10	2.0	0	0.0
3時台	1	0.2	0	0.0
4時台	1	0.2	0	0.0
5時台	0	0.0	0	0.0
6時台	0	0.0	0	0.0
7時台	0	0.0	0	0.0
8時台	0	0.0	0	0.0
9時台	0	0.0	0	0.0
10時台	1	0.2	0	0.0
11時台	1	0.2	0	0.0
12時台	0	0.0	0	0.0
13時台	0	0.0	0	0.0
14時台	0	0.0	0	0.0
15時台	0	0.0	0	0.0
16時台	0	0.0	0	0.0
17時台	13	2.7	0	0.0
18時台	36	7.4	0	0.0
19時台	62	12.7	1	100.0
20時台	90	18.4	0	0.0
21時台	96	19.6	0	0.0
22時台	67	13.7	0	0.0
23時台	37	7.6	0	0.0
24時台	34	7.0	0	0.0

(11) 就労場所

「狛江市外」が就学前 91.5%、小学生 88.8%と大多数を占めています。

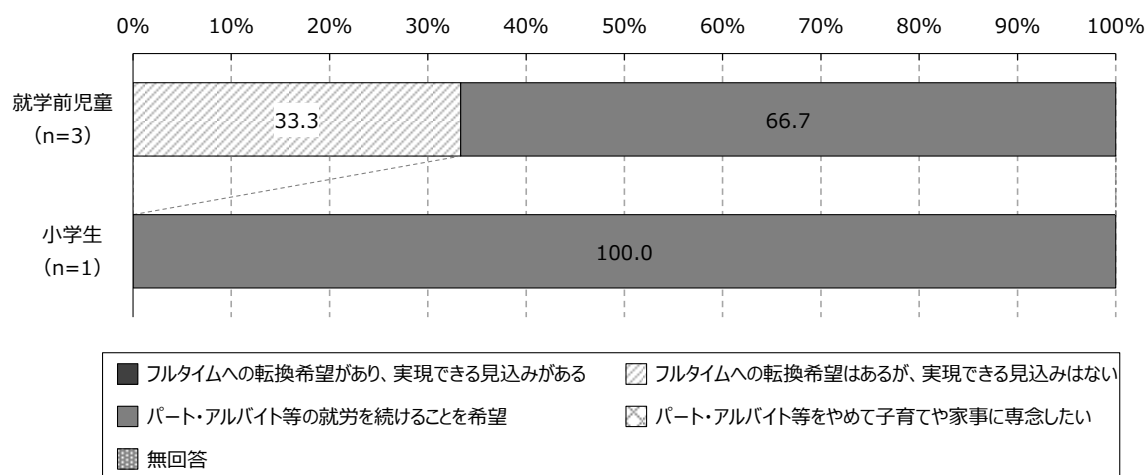
問11-1. ③就労場所を教えてください。



(12) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望について、就学前児童の 66.7%、小学生の 100%が「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」と回答していますが、該当者が少数であることに留意が必要です。

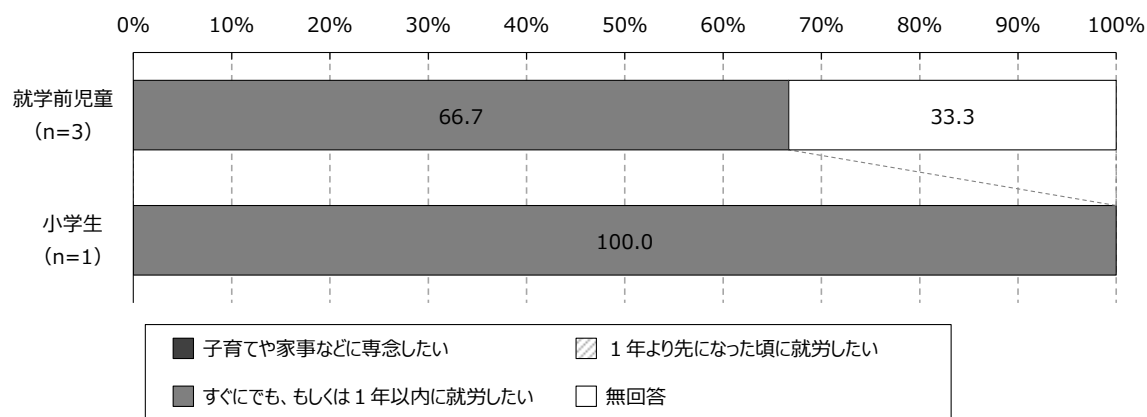
問11-2. フルタイムへの転換希望はありますか



(13) 今後の就労希望

現在、就労していない人の就労希望について、就学前児童の 66.7%、小学生は 100%が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答していますが、該当者が少数であることに留意が必要です。

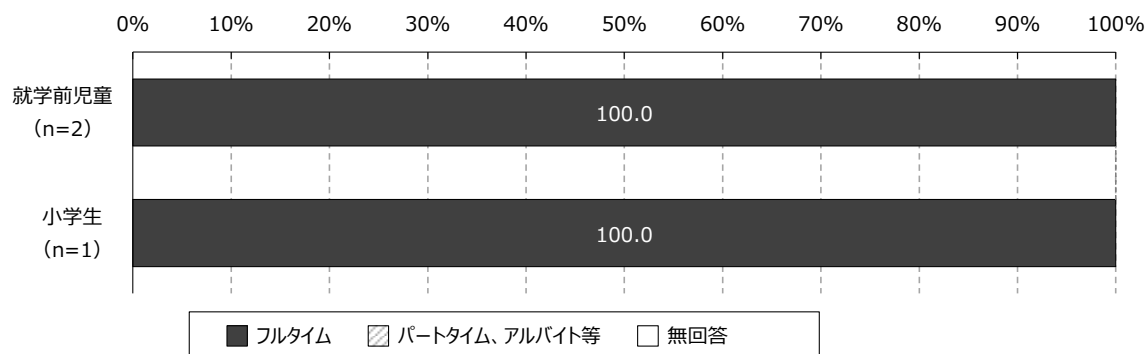
問11-3. 今後の就労希望はありますか



(14) 就労希望の形態

就学前児童、小学生ともに「フルタイム」が100%となっています。しかし、該当者が少数であることに留意が必要です。

問11-4. 就労希望の形態はどのようなものですか

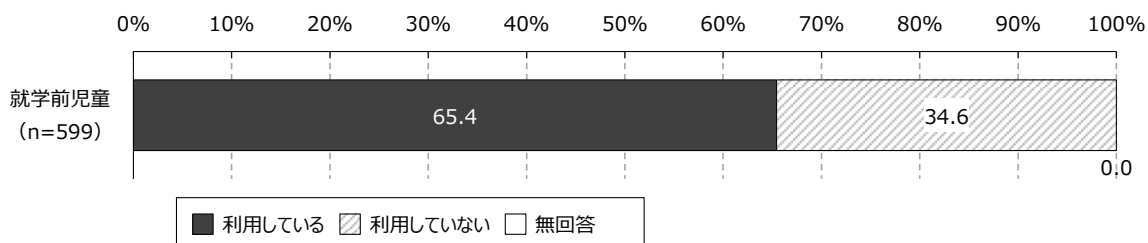


平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

「利用している」が65.4%、「利用していない」が34.6%となっています。

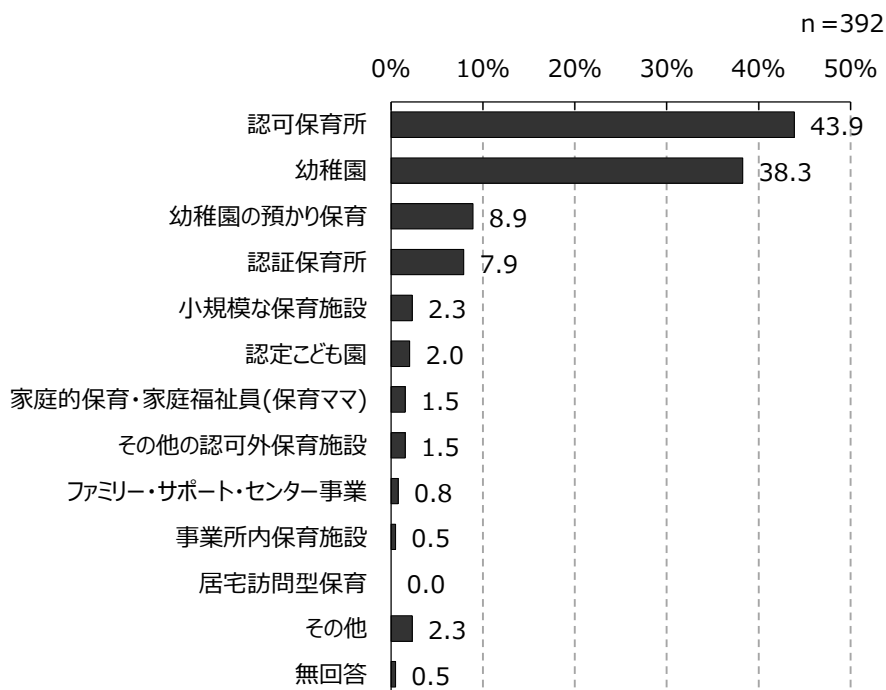
就学前児童 問12. あて名のお子さんは現在、幼稚園や認可保育所、認証保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか



◆平日定期的に利用している教育・保育事業

「認可保育所」が43.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が38.3%、「幼稚園の預かり保育」が8.9%、「認証保育所」が7.9%、「小規模な保育施設」が2.3%となっています。

就学前児童 問12-1. あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか (複数回答)



◆利用している教育・保育事業の利用日数

	現在の平均 利用日数	希望の平均 利用日数
認可保育所	5.0 日/週	5.1 日/週
幼稚園	4.9 日/週	5.0 日/週
幼稚園の預かり保育	3.0 日/週	4.0 日/週
認証保育所	4.9 日/週	5.0 日/週
小規模な保育施設	4.9 日/週	5.0 日/週
認定こども園	5.0 日/週	5.2 日/週
家庭的保育・家庭福祉員(保育ママ)	4.7 日/週	4.5 日/週
その他の認可外保育施設	4.2 日/週	5.0 日/週
ファミリー・サポート・センター事業	1.5 日/週	3.5 日/週
事業所内保育施設	5.5 日/週	5.5 日/週
居宅訪問型保育	-	-
その他	2.1 日/週	3.5 日/週

◆利用している教育・保育事業の利用時間帯（開始時間）

（単位：人）

	認可保育所		幼稚園		幼稚園の 預かり保育		認証保育所		小規模な 保育施設		認定こども園	
	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
4:59 以前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5:00～5:29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5:30～5:59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6:00～6:29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6:30～6:59	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7:00～7:29	17	15	0	1	1	2	0	3	0	0	1	0
7:30～7:59	33	21	0	0	1	2	5	3	0	0	3	1
8:00～8:29	54	30	7	19	2	1	7	4	1	1	3	3
8:30～8:59	43	18	16	12	2	1	10	4	1	1	1	1
9:00～9:29	21	12	117	64	0	0	8	5	7	4	0	0
9:30～9:59	2	2	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10:00～10:29	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10:30～10:59	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11:00 以降	1	0	0	0	27	20	1	0	0	0	0	0

	家庭的保育・ 家庭福祉員 （保育ママ）		その他の認可外 保育施設		ファミリー・サポ ート・センター事業		事業所内 保育施設		居宅訪問型保育		その他	
	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
4:59 以前	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
5:00～5:29	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
5:30～5:59	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
6:00～6:29	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
6:30～6:59	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
7:00～7:29	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
7:30～7:59	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
8:00～8:29	2	0	3	3	0	0	0	1	-	-	0	0
8:30～8:59	1	1	1	0	0	0	1	1	-	-	1	0
9:00～9:29	2	2	1	0	0	0	1	0	-	-	1	0
9:30～9:59	1	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1	0
10:00～10:29	0	0	1	0	0	0	0	0	-	-	2	1
10:30～10:59	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
11:00 以降	0	0	0	0	2	2	0	0	-	-	4	3

◆利用している教育・保育事業の利用時間帯（終了時間）

（単位：人）

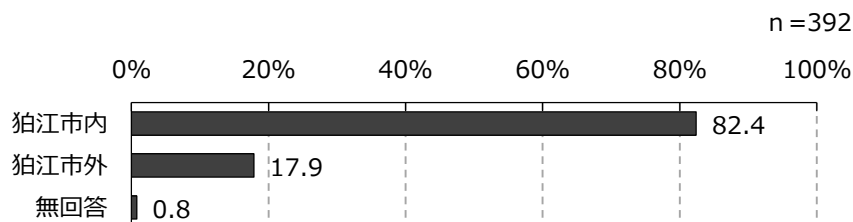
	認可保育所		幼稚園		幼稚園の 預かり保育		認証保育所		小規模な 保育施設		認定こども園	
	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
14:00 以前	0	1	125	19	1	0	0	0	0	0	0	0
14:01～14:30	0	0	12	5	1	0	0	0	0	0	0	0
14:31～15:00	0	0	10	29	0	0	0	0	0	0	0	0
15:01～15:30	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
15:31～16:00	1	2	0	22	0	0	0	0	2	1	0	0
16:01～16:30	17	3	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0
16:31～17:00	19	11	0	11	15	7	6	3	2	0	1	1
17:01～17:30	29	11	0	0	2	0	11	4	1	2	1	0
17:31～18:00	60	27	1	5	10	10	4	6	2	0	4	2
18:01～18:30	27	20	0	1	2	3	5	0	1	2	1	1
18:31～19:00	12	9	0	2	0	4	3	4	1	1	1	1
19:01～19:30	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19:31～20:00	1	6	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0
20:01～20:30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20:31～21:00	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21:01～21:30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21:31～22:00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22:01 以降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	家庭的保育・ 家庭福祉員 （保育ママ）		その他の認可外 保育施設		ファミリー・サポー ト・センター事業		事業所内 保育施設		居宅訪問型保育		その他	
	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望	現在	希望
14:00 以前	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	5	0
14:01～14:30	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
14:31～15:00	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
15:01～15:30	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
15:31～16:00	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1	0
16:01～16:30	2	0	0	0	0	0	1	1	-	-	0	0
16:31～17:00	4	1	3	1	0	0	0	0	-	-	1	2
17:01～17:30	0	1	1	1	0	0	0	0	-	-	0	0
17:31～18:00	0	1	2	1	0	0	0	0	-	-	1	0
18:01～18:30	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	1
18:31～19:00	0	0	0	0	1	1	0	0	-	-	0	0
19:01～19:30	0	0	0	0	0	0	0	1	-	-	1	1
19:31～20:00	0	0	0	0	1	1	0	0	-	-	0	0
20:01～20:30	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
20:31～21:00	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
21:01～21:30	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
21:31～22:00	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0
22:01 以降	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	0

（２）利用している教育・保育事業の実施場所

利用している教育・保育事業の実施場所は、「狛江市内」が82.4%、「狛江市外」が17.9%となっています。

就学前児童 問12-2. 利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか（複数回答）

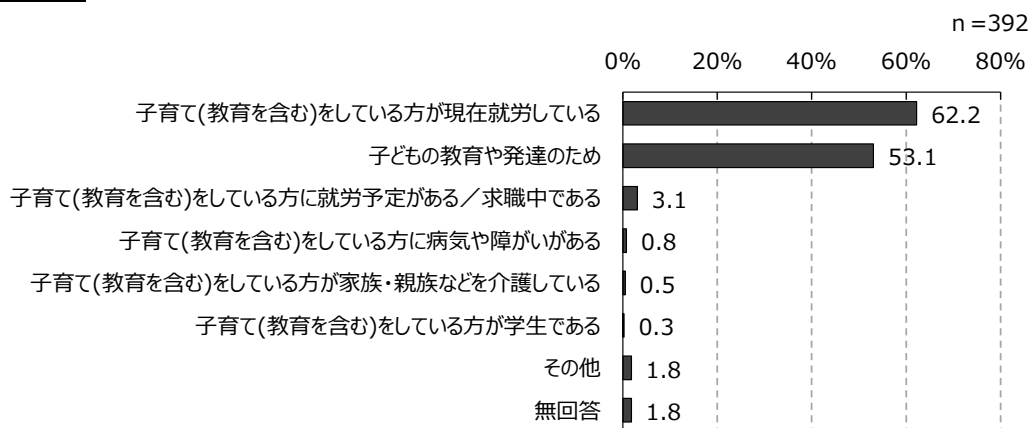


（３）定期的に利用している理由

定期的に利用している理由について、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が62.2%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が53.1%、「子育て(教育を含む)をしている方に就労予定がある／求職中である」が3.1%となっています。

利用事業別では、幼稚園、幼稚園の預かり保育の利用者は、「子どもの教育や発達のため」が約8～9割と多く、認可保育所や認証保育所の利用者では、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が9割を超え多数を占めています。

就学前児童 問12-3. 定期的に利用している理由を教えてください（複数回答）



◆利用している教育・保育別

問12-3. 定期的に利用している理由を教えてください

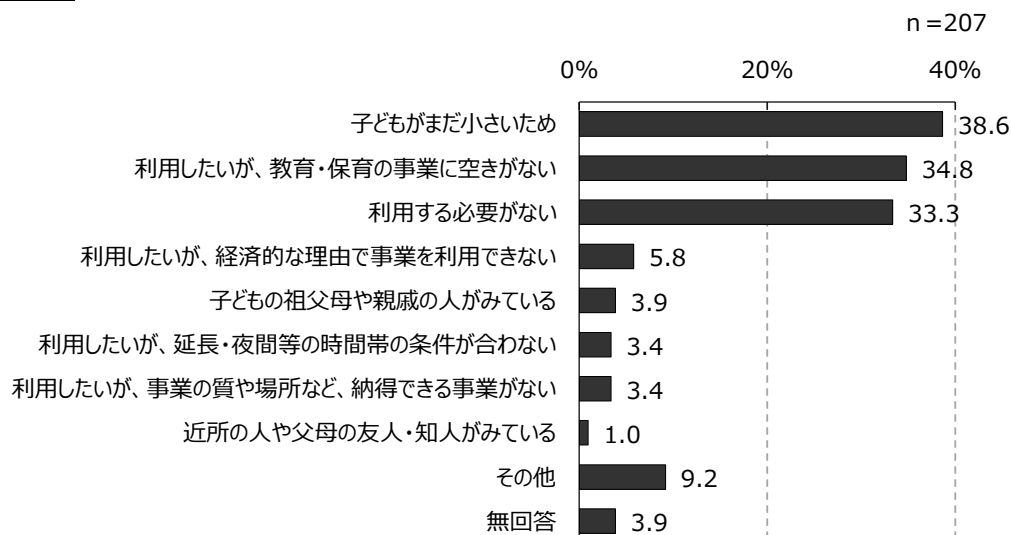
	合計	子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）を 現在就労している方	子育て（教育を含む）を 就労予定がある／求職中である方	子育て（教育を含む）を 家族・親族などを介してしている方	子育て（教育を含む）を 病気や障がいがある方	子育て（教育を含む）を が学生である方	その他	無回答
全体	392	208	244	12	2	3	1	7	7
	100.0	53.1	62.2	3.1	0.5	0.8	0.3	1.8	1.8
認可保育所	172	42	163	4	1	1	1	4	2
	100.0	24.4	94.8	2.3	0.6	0.6	0.6	2.3	1.2
幼稚園	150	141	23	4	0	1	0	1	4
	100.0	94.0	15.3	2.7	0.0	0.7	0.0	0.7	2.7
幼稚園の預かり保育	35	29	20	2	0	0	0	0	1
	100.0	82.9	57.1	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9
認証保育所	31	8	28	2	0	0	0	2	0
	100.0	25.8	90.3	6.5	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0
小規模な保育施設	9	1	7	1	0	1	0	0	1
	100.0	11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1
認定こども園	8	4	8	0	0	0	0	0	0
	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的保育・家庭福祉員 （保育ママ）	6	2	6	0	0	0	0	0	0
	100.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の認可外保育施設	6	4	4	1	1	0	0	0	0
	100.0	66.7	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業	3	1	0	1	0	0	0	2	0
	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
事業所内保育施設	2	0	2	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9	8	3	0	0	1	0	0	0
	100.0	88.9	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0

(4) 利用していない理由

利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が 38.6%と最も多く、次いで「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が 34.8%、「利用する必要がない」が 33.3%となっています。

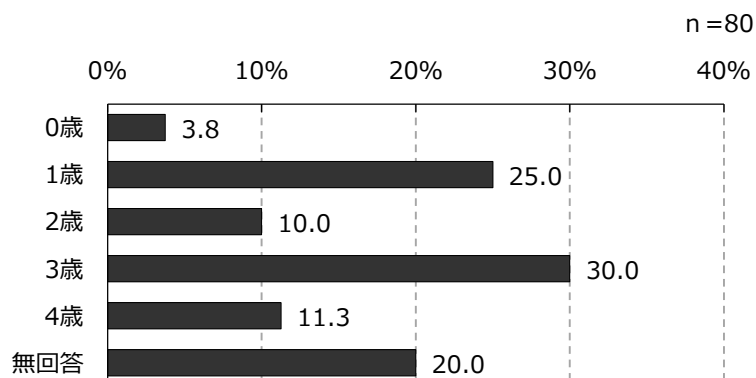
母親の就労状況別にみても、全体と同様の傾向がみられます。

就学前児童 問12-4. 利用していない理由は何ですか(複数回答)



利用しようと思う子どもの年齢

子どもがまだ小さいためと回答した人が利用しようと考えている子どもの年齢について、「3歳」が 30.0%で最も多く、次いで「1歳」が 25.0%、「4歳」が 11.3%、「2歳」が 10.0%、「0歳」が 3.8%となっています。



◆母親の就労状況別

問12-4. 利用していない理由は何ですか

	合計	子どもがまだ小さいため	が教育・保育の事業に空	利用する必要がある	経済的な理由で事業を	子どもがみている祖父母や親戚の	延長・夜間等の時間帯の	事業の質や場所がない、	近所の人や父母の友人・	その他	無回答
全体	207	80	72	69	12	8	7	7	2	19	8
	100.0	38.6	34.8	33.3	5.8	3.9	3.4	3.4	1.0	9.2	3.9
フルタイム	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	86	31	43	15	2	0	1	2	0	10	2
	100.0	36.0	50.0	17.4	2.3	0.0	1.2	2.3	0.0	11.6	2.3
パート・アルバイト等	13	4	3	4	1	2	2	2	0	0	2
	100.0	30.8	23.1	30.8	7.7	15.4	15.4	15.4	0.0	0.0	15.4
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	5	3	2	1	0	0	3	0	0	1	0
	100.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0
現在は就労していない	90	34	21	44	7	4	1	3	2	8	4
	100.0	37.8	23.3	48.9	7.8	4.4	1.1	3.3	2.2	8.9	4.4
これまでに就労したことがない	6	4	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

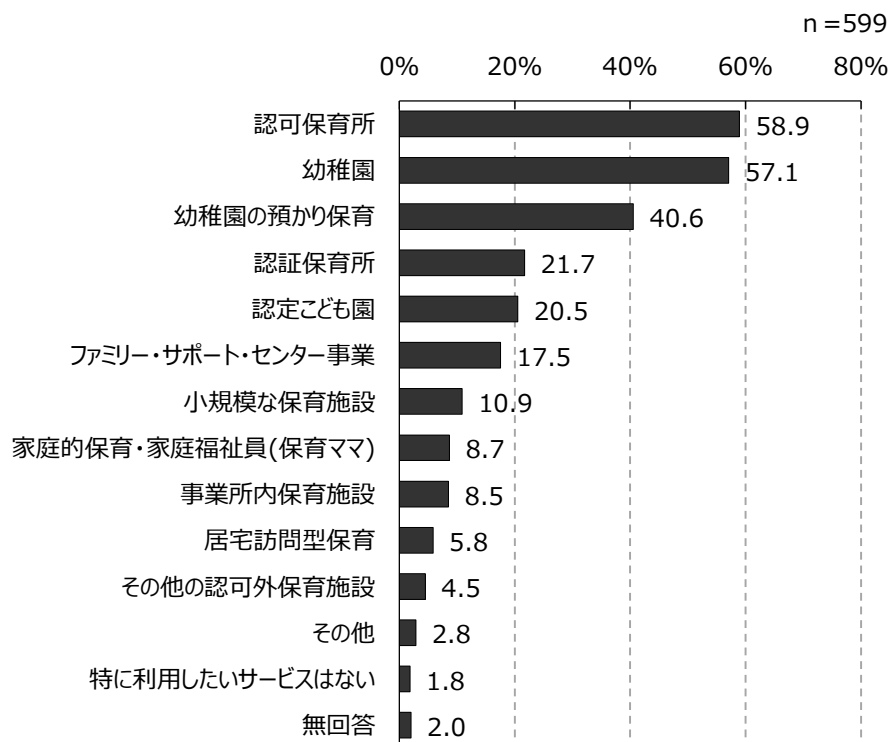
平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 今後の利用意向

今後の平日定期的に利用したいと考える事業は、「認可保育所」が58.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が57.1%、「幼稚園の預かり保育」が40.6%、「認証保育所」が21.7%、「認定こども園」が20.5%となっています。

就学前児童

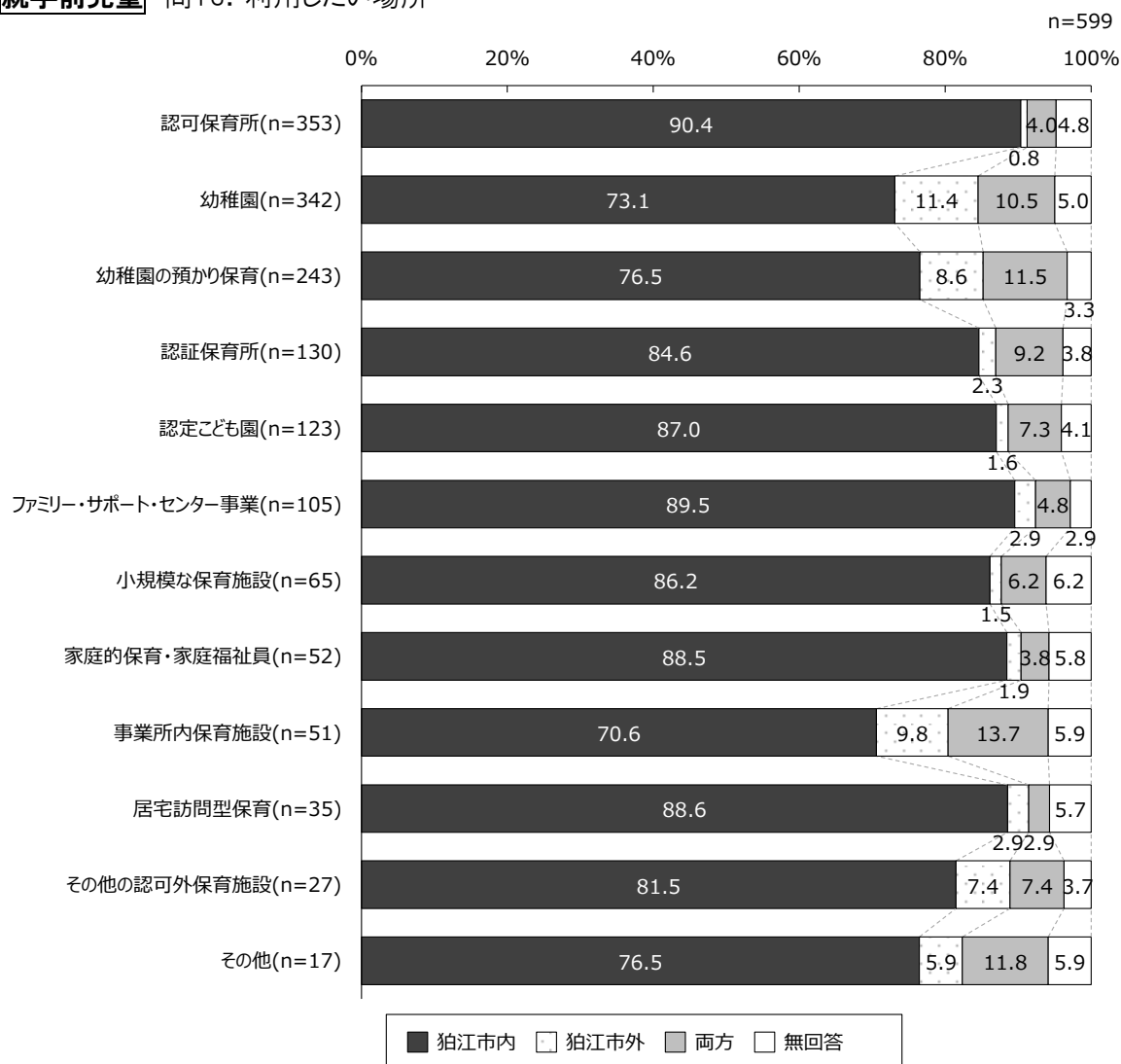
問13. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください(複数回答)



利用したい場所

全ての事業で「狛江市内」が7割を超えています。特に、認可保育所では90.4%が「狛江市内」で事業を利用したいと考えています。

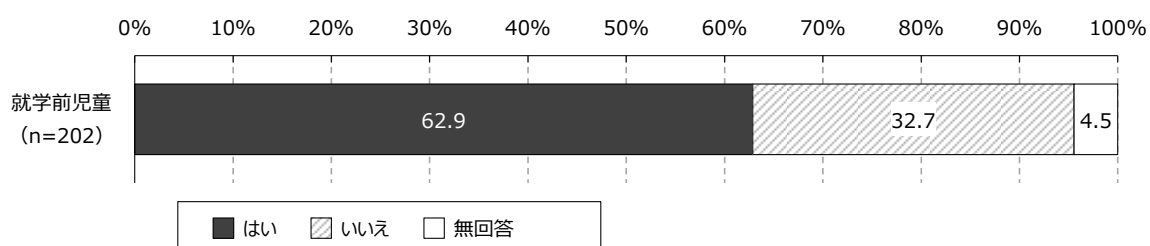
就学前児童 問13. 利用したい場所



(2) 幼稚園の強い利用希望

幼稚園を利用し、かつその他の事業を利用している人が幼稚園利用を強く希望するかについて、「はい」が62.9%、「いいえ」が32.7%となっています。

就学前児童 問13-1. 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む)の利用を強く希望しますか



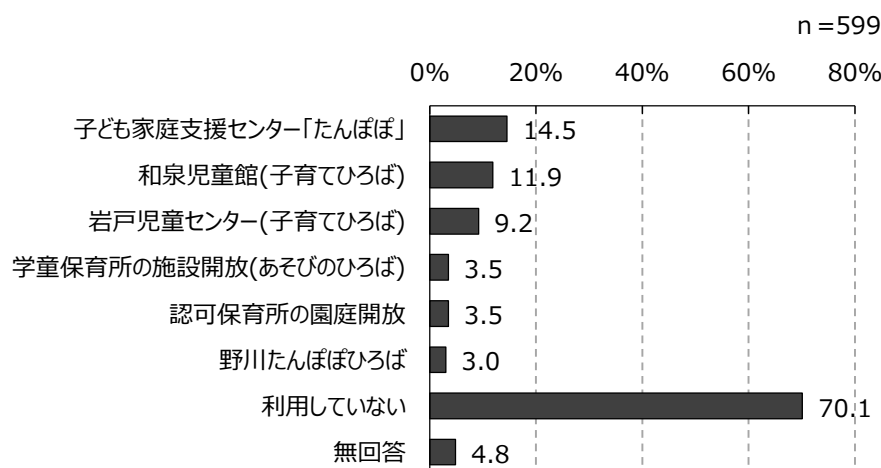
子育て支援に関する事業の利用状況について

(1) 子育て支援事業の利用状況

子育て支援に関する事業利用について、「利用していない」が70.1%と多数を占めており、利用している事業は、「子ども家庭支援センター「たんぽぽ」」が14.5%、「和泉児童館(子育てひろば)」が11.9%、「岩戸児童センター(子育てひろば)」が9.2%となっています。

1か月当たりの平均利用日数は、「和泉児童館」が3.8回/月、「岩戸児童センター」が2.3回/月及び「学童保育所の施設開放(あそびのひろば)」が2.3回/月となっています。

就学前児童 問14. あて名のお子さんは現在、市が実施している子育て支援に関する事業を利用していますか(複数回答)



◆各種事業の平均利用回数

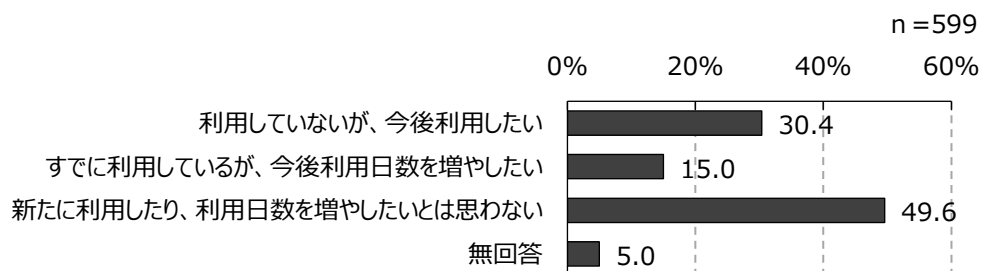
子ども家庭支援センター「たんぽぽ」	2.2 回/月
和泉児童館(子育てひろば)	3.8 回/月
岩戸児童センター(子育てひろば)	2.3 回/月
学童保育所の施設開放(あそびのひろば)	2.3 回/月
認可保育所の園庭開放	1.4 回/月
野川たんぽぽひろば	1.5 回/月

（２）今後の利用意向

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 49.6%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が 30.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 15.0%となっています。

1 か月当たりの平均利用日数は、「利用していないが、今後利用したい」で 2.8 回/月、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」で 6.3 回/月となっています。

就学前児童 問15. 問14のような子育て支援に関する事業について、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いますか



◆ 1 か月当たりの平均利用回数

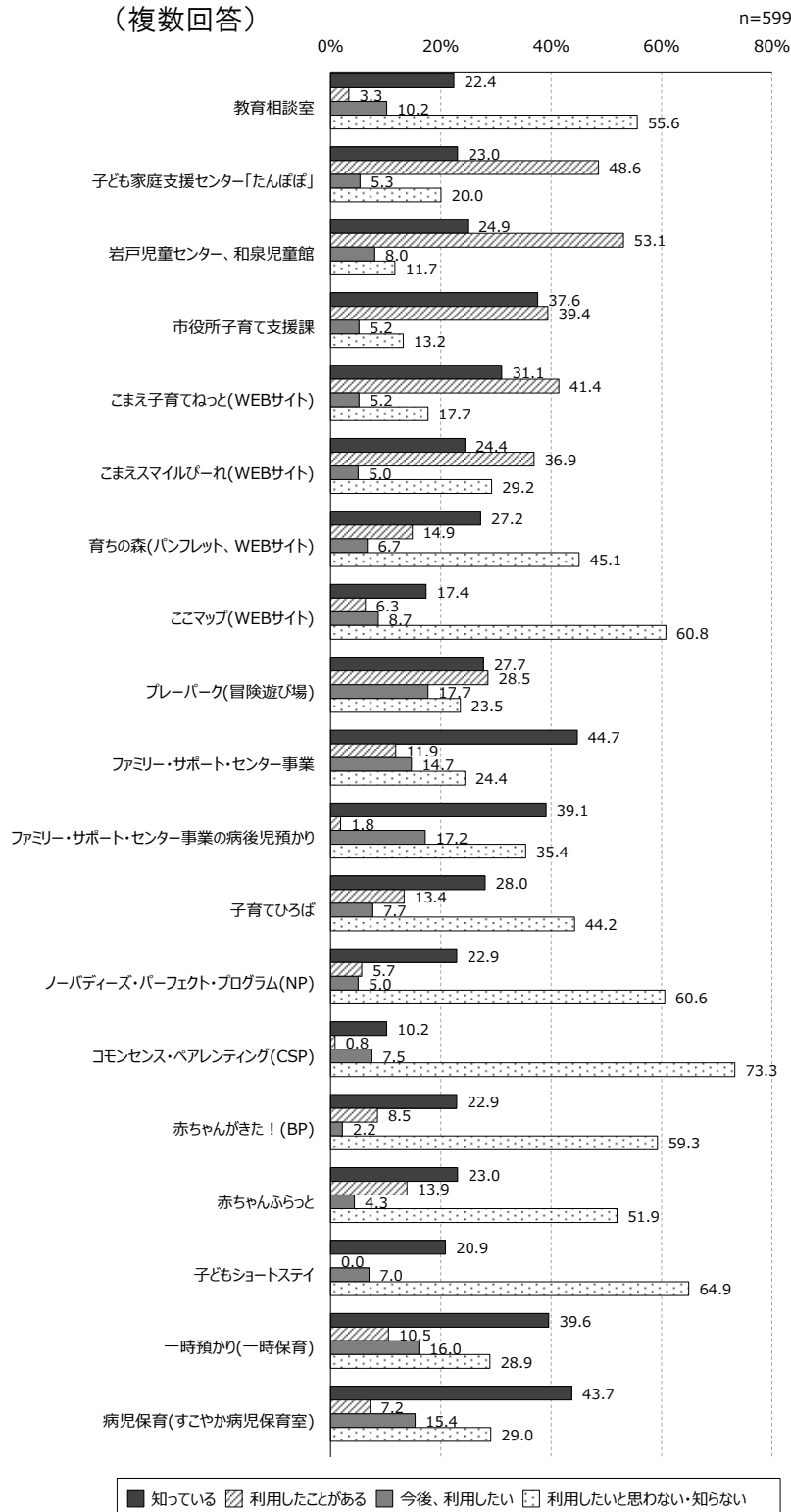
利用していないが、今後利用したい	2.8 回/月
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	6.3 回/月

(3) 各種子育て支援事業の利用状況と利用意向

「利用したいと思わない・知らない」と回答した割合は、子ども家庭支援センター「たんぽぽ」、岩戸児童センター、和泉児童館、市役所子育て支援課、こまえ子育てねっと（WEB サイト）で2割以下となっており、認知度は高くなっています。

一方、子どもショートステイ、ここマップ（WEB サイト）、ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム（NP）は6割超、コモンセンス・ペアレンティング（CSP）は7割超が「利用したいと思わない・知らない」としています。

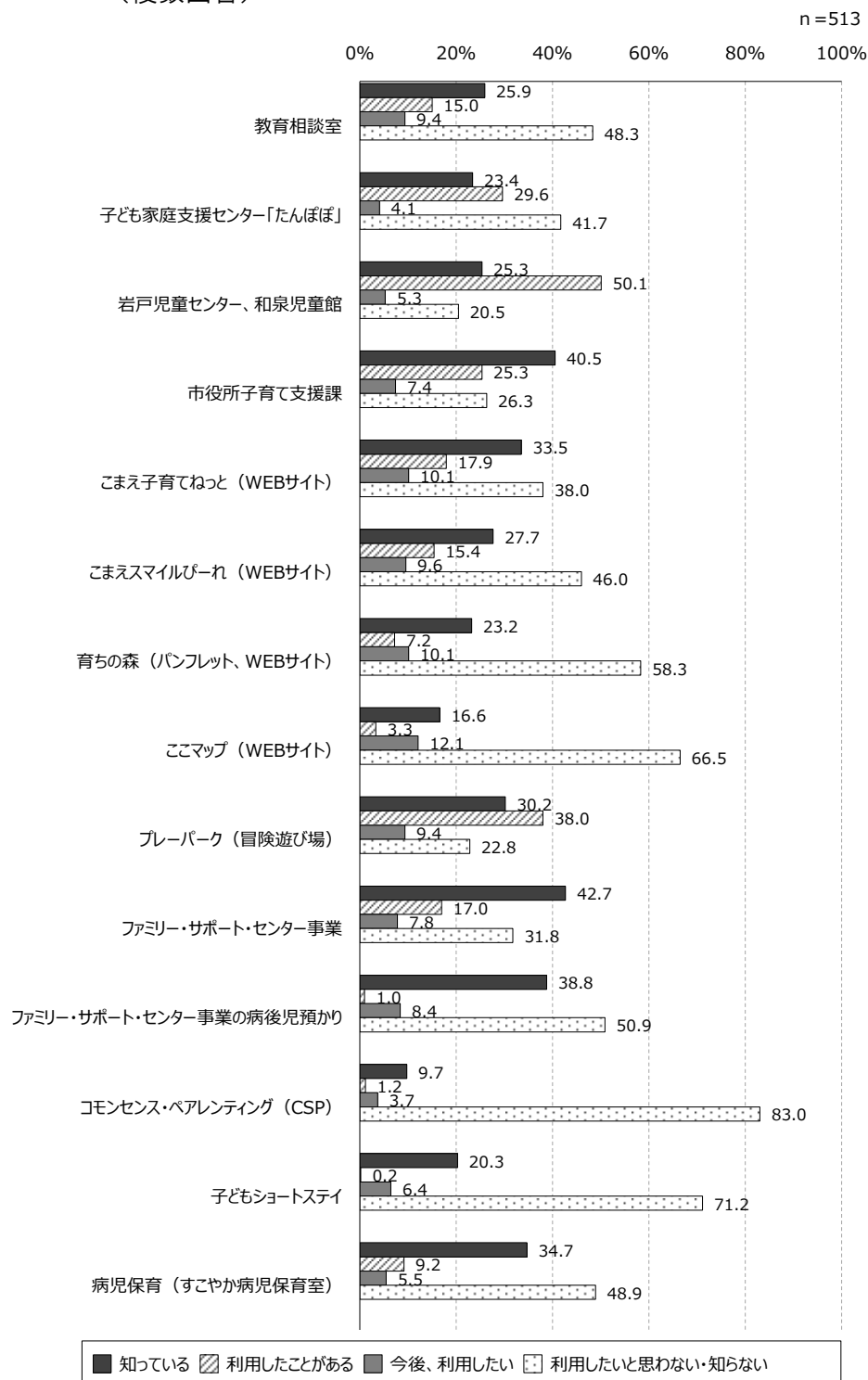
就学前児童 問16. 下記のサービスや事業を知っていたり、これまでに利用したことはありますか（複数回答）



「利用したいと思わない・知らない」と回答した割合は、岩戸児童センター、和泉児童館、市役所子育て支援課、プレーパーク（冒険遊び場）で3割以下となっており、認知度は高くなっています。

一方、子どもショートステイ、ここマップ（WEBサイト）は7割前後、コモンセンス・ペアレンティング（CSP）は8割超が「利用したいと思わない・知らない」としています。

小学生 問25. 下記のサービスや事業を知っていたり、これまでに利用したことはありますか
（複数回答）

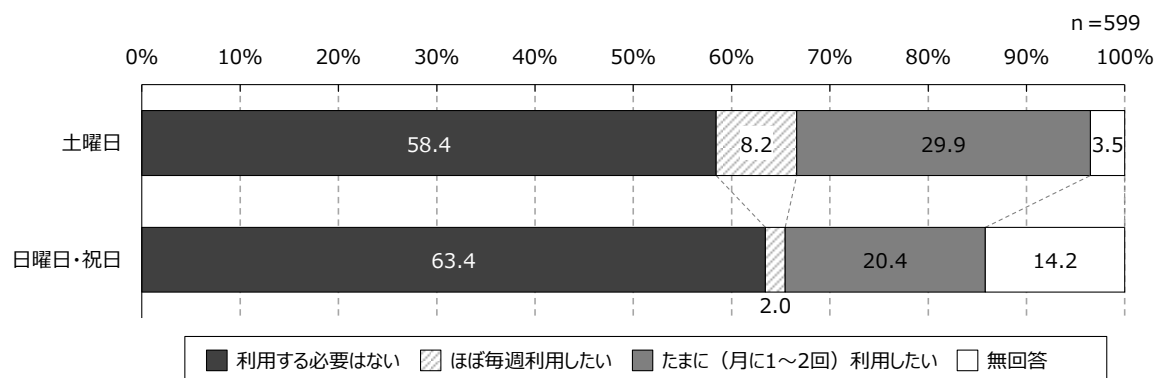


土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日、日曜日・祝日とも「利用する必要はない」が6割前後と多数を占めていますが、「たまに(月に1～2回)利用したい」が土曜日は29.9%、日曜日は20.4%の希望があります。

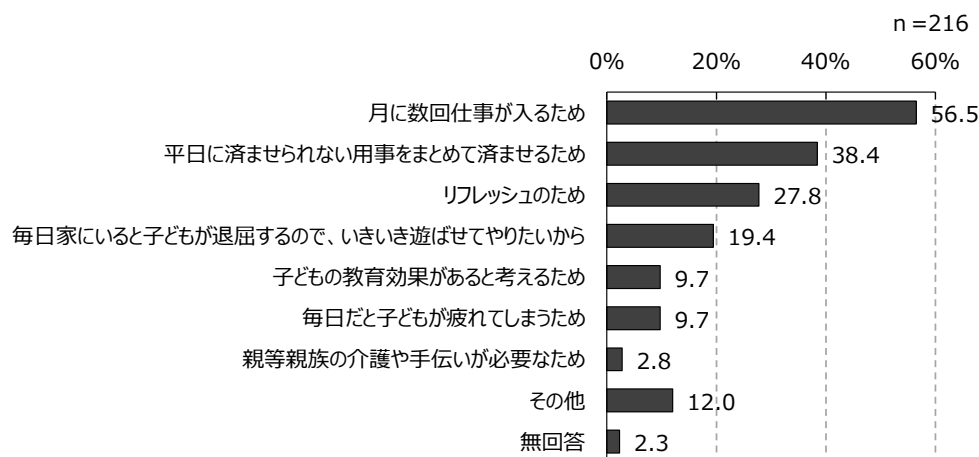
就学前児童 問17. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。



たまに利用したい理由

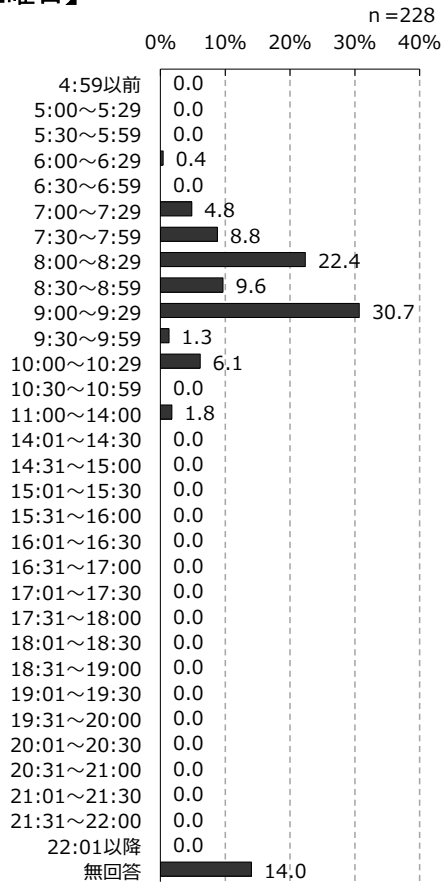
「月に数回仕事が入るため」が56.5%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が38.4%、「リフレッシュのため」が27.8%、「毎日家にいると子どもが退屈するので、いきいき遊ばせてやりたいから」が19.4%となっています。

就学前児童 問17-1. 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか(複数回答)



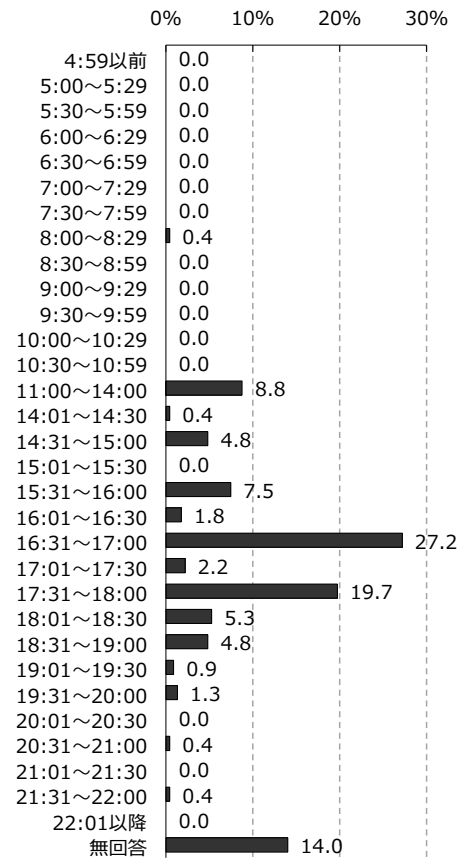
希望開始時刻

【土曜日】

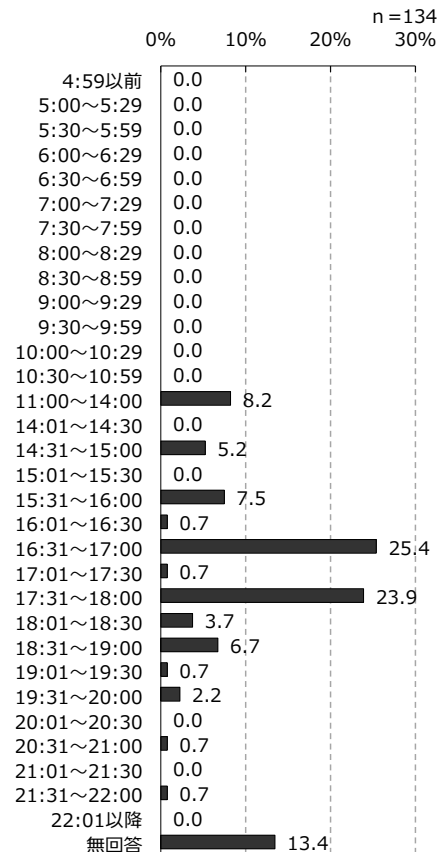
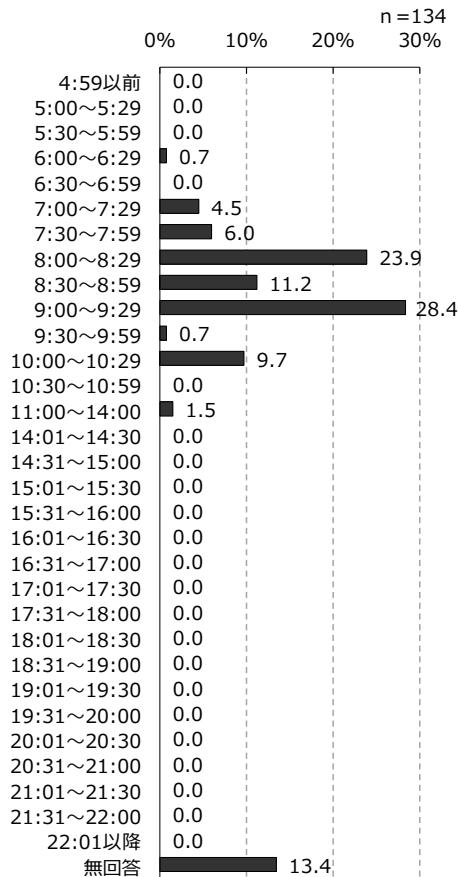


希望終了時刻

n=228



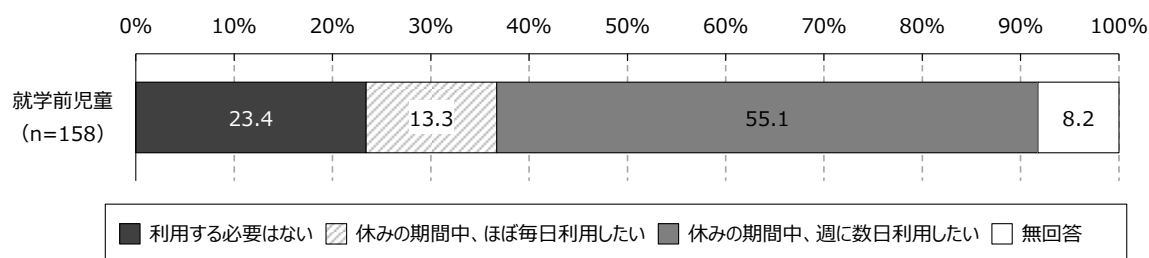
【日曜日・祝日】



(2) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

幼稚園を利用している就学前児童の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について、「休みの期間中、週に数日利用したい」が55.1%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が23.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が13.3%となっています。

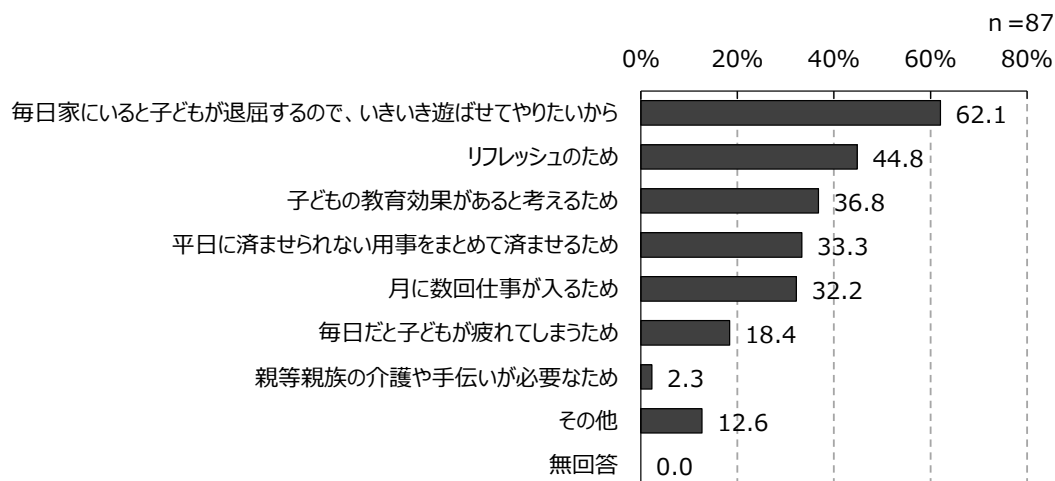
就学前児童 問18. あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望はありますか



たまに利用したい理由

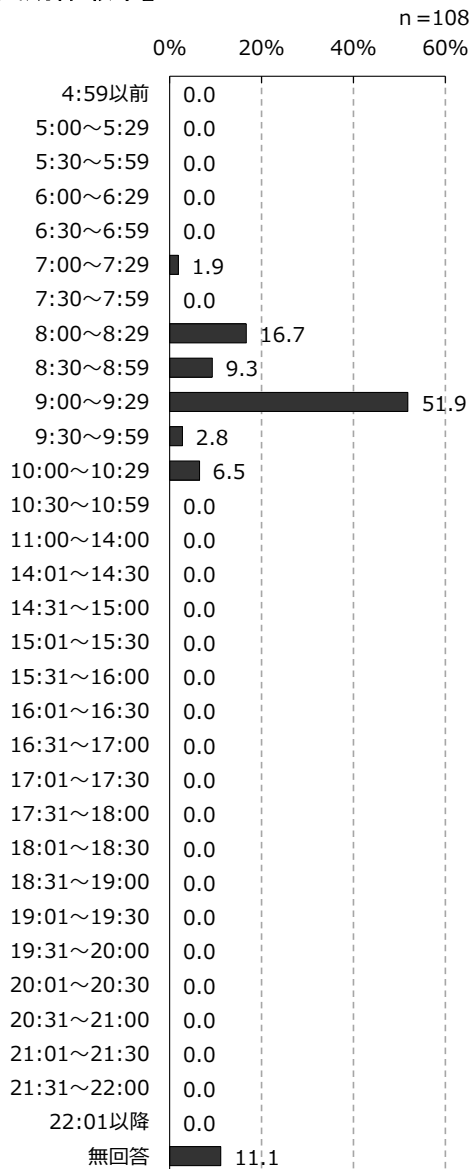
たまに利用したい理由について、「毎日家にいると子どもが退屈するので、いきいき遊ばせてやりたいから」が62.1%と最も多く、次いで「リフレッシュのため」が44.8%、「子どもの教育効果があると考えするため」が36.8%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が33.3%、「月に数回仕事が入るため」が32.2%となっています。

就学前児童 問18-1. 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか(複数回答)

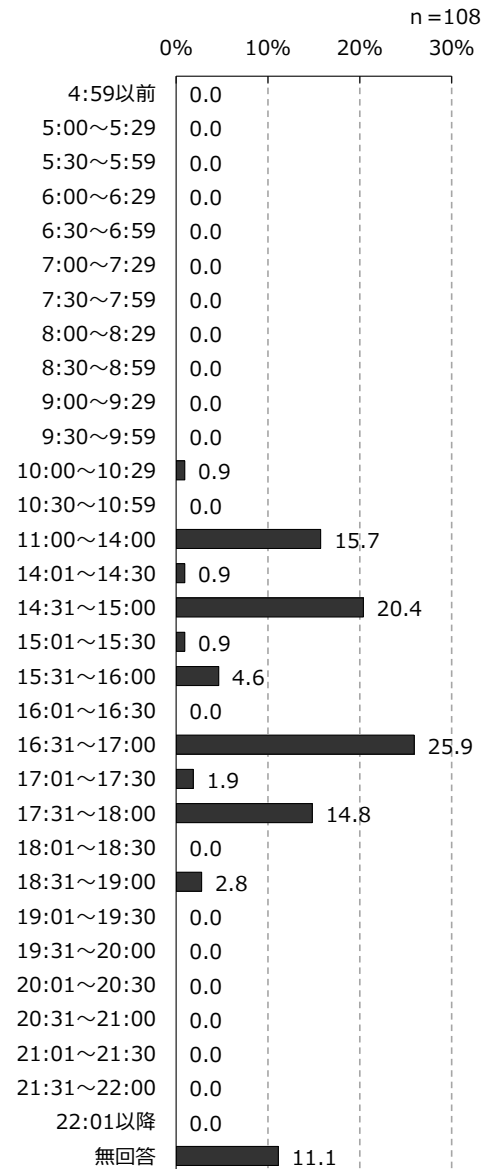


希望開始時刻

【長期休暇中】



希望終了時刻



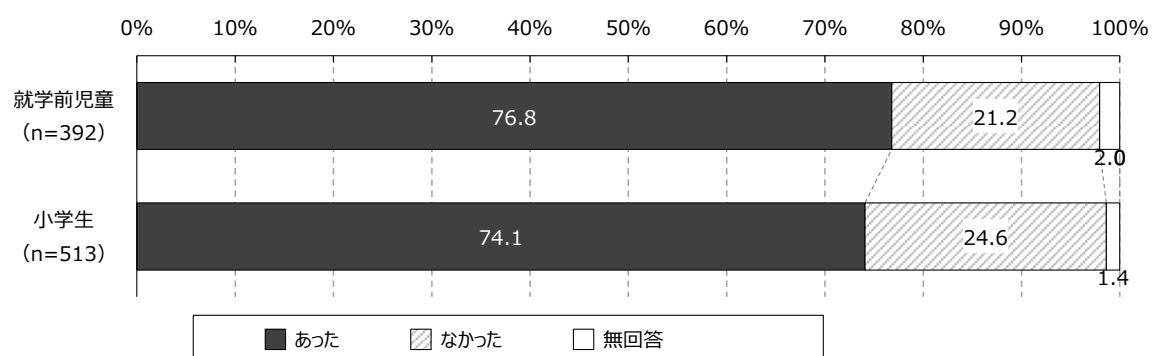
子どもが病気の際の対応について

(1) 教育・保育事業や学校を休んだことの有無

「あった」が、就学前児童 76.8%、小学生 74.1%と多数を占めています。

就学前児童 問19. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガにより、定期的な教育・保育事業が利用できなかったことはありますか

小学生 問15. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、学校を休まなければならなかったことはありますか



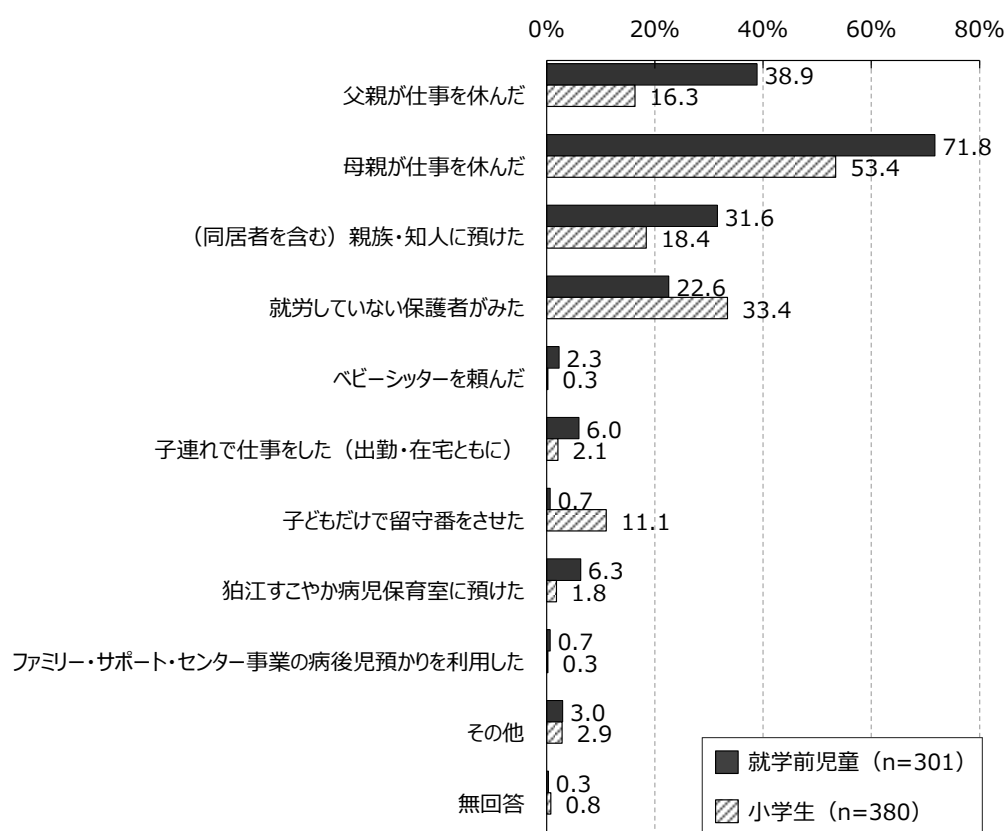
(2) 具体的な対処法

就学前児童、小学生とも「母親が仕事を休んだ」が最も多く、就学前児童 71.8%、小学生 53.4%となっています。次いで、就学前児童では、「父親が仕事を休んだ」が 38.9%、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が 31.6%で多く、小学生では、「就労していない保護者がみた」が 33.4%、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が 18.4%と続きますが、11.1%が「子どもだけで留守番をさせた」と回答しています。

対処方法の1年間の平均日数について、「就労していない保護者がみた」が、就学前児童で 7.7 日/年、小学生で 6.5 日/年と最も多くなっています。

就学前児童 問19-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか(複数回答)

小学生 問15-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか(複数回答)



◆ 1 年間の平均対処日数

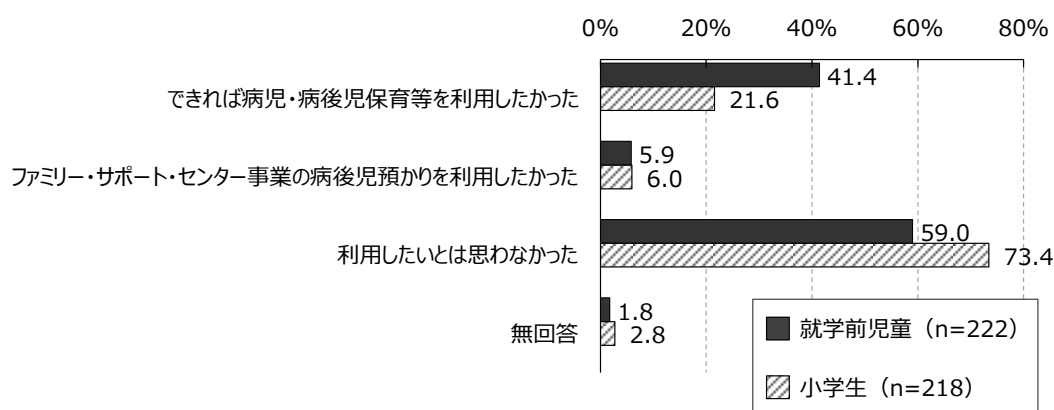
	就学前児童	小学生
父親が仕事を休んだ	4.0 日/年	1.9 日/年
母親が仕事を休んだ	7.0 日/年	3.5 日/年
(同居者を含む)親族・知人に預けた	6.0 日/年	2.6 日/年
就労していない保護者がみた	7.7 日/年	6.5 日/年
ベビーシッターを頼んだ	4.0 日/年	1.0 日/年
子連れで仕事をした(出勤・在宅ともに)	5.4 日/年	2.0 日/年
子どもだけで留守番をさせた	2.0 日/年	2.1 日/年
泊江すこやか病児保育室に預けた	3.3 日/年	1.6 日/年
ファミリー・サポート・センター事業の病後児預かりを利用した	3.0 日/年	1.0 日/年
その他	8.7 日/年	3.8 日/年

（３）病児・病後児保育等の利用意向

「利用したいとは思わなかった」が多数を占めていますが、「できれば病児・病後児保育等を利用したかった」と就学前児童の 41.4%、小学生の 21.6%が回答しています。「ファミリー・サポート・センター事業の病後児預かりを利用したかった」は就学前児童、小学生ともに 6%程度となっています。

就学前児童 問19-2. その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが(複数回答)

小学生 問15-2. その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが(複数回答)



◆利用したい平均日数

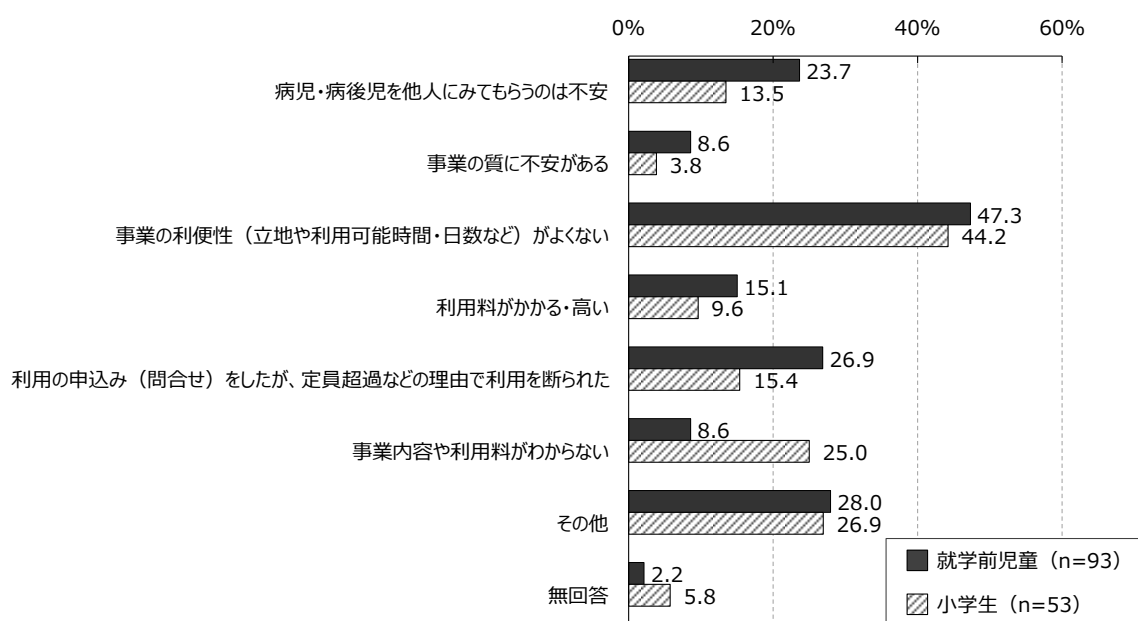
	就学前児童	小学生
病児・病後児保育等	6.2 日	3.4 日
ファミリー・サポート・センター事業の病後児預かり	4.6 日	6.0 日

（４）病児・病後児のための保育サービス等を利用できなかった理由

利用できなかった理由として、「事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」が就学前児童 47.3%、小学生 44.2%と最も多く、「利用の申込み(問合せ)をしたが、定員超過などの理由で利用を断られた」と就学前児童の 26.9%、小学生の 15.4%が回答しています。また、就学前児童の 15.1%が「利用料がかかる・高い」、小学生の 25.0%が「事業内容や利用料がわからない」と回答しています。

就学前児童 問19-3. 病児・病後児のための保育サービス等を利用できなかった理由は何ですか
(複数回答)

小学生 問15-3. 病児・病後児のための保育サービス等を利用できなかった理由は何ですか
(複数回答)

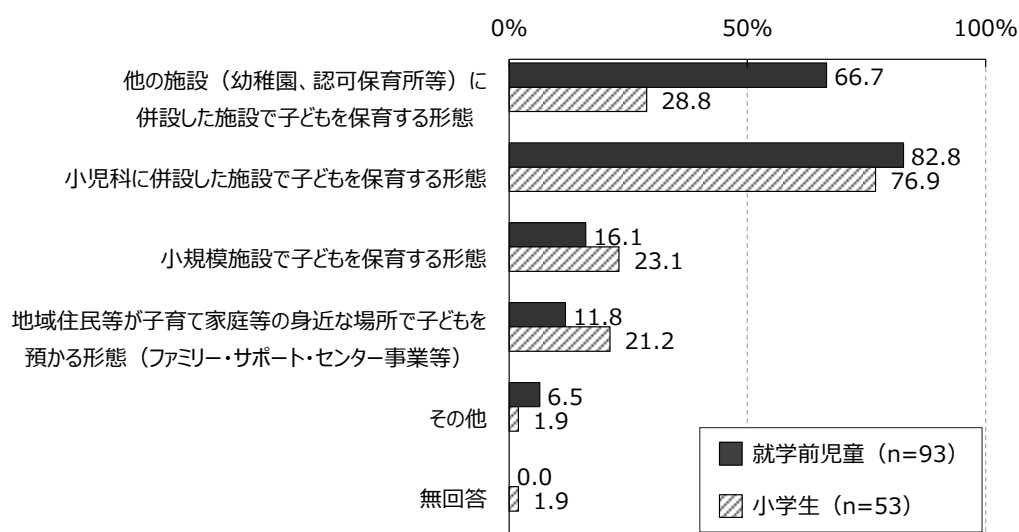


（５）病児・病後児保育サービス等の望ましい事業形態

望ましい事業形態として「小児科に併設した施設で子どもを保育する形態」が就学前児童 82.8%、小学生 76.9%と約８割を占め、就学前児童では、「他の施設(幼稚園、認可保育所等)に併設した施設で子どもを保育する形態」も 66.7%と多くなっています。

就学前児童 問19-4. 病児・病後児のための保育サービス等は、どのような事業形態が望ましいと思いますか(複数回答)

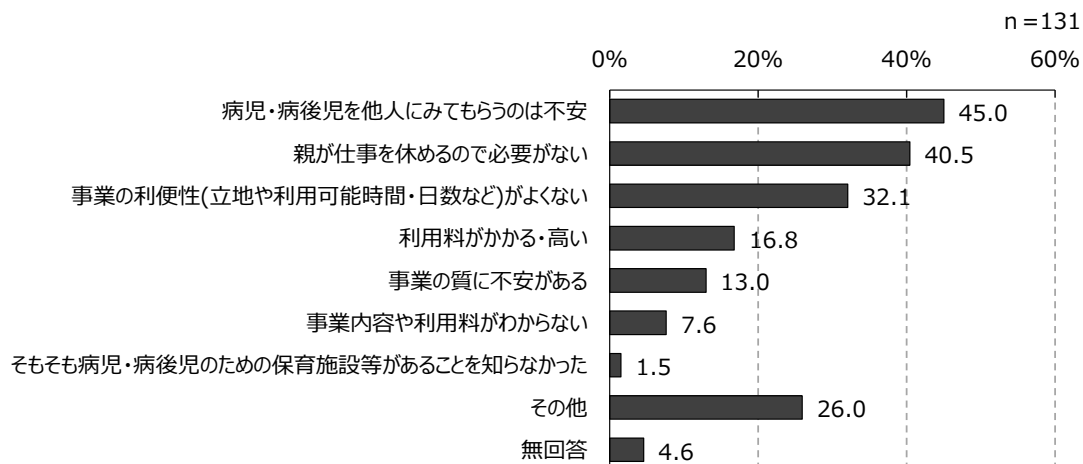
小学生 問15-4. 病児・病後児のための保育施設等は、どのような事業形態が望ましいと思いますか(複数回答)



（６）病児・病後児保育等を利用したいと思わない理由

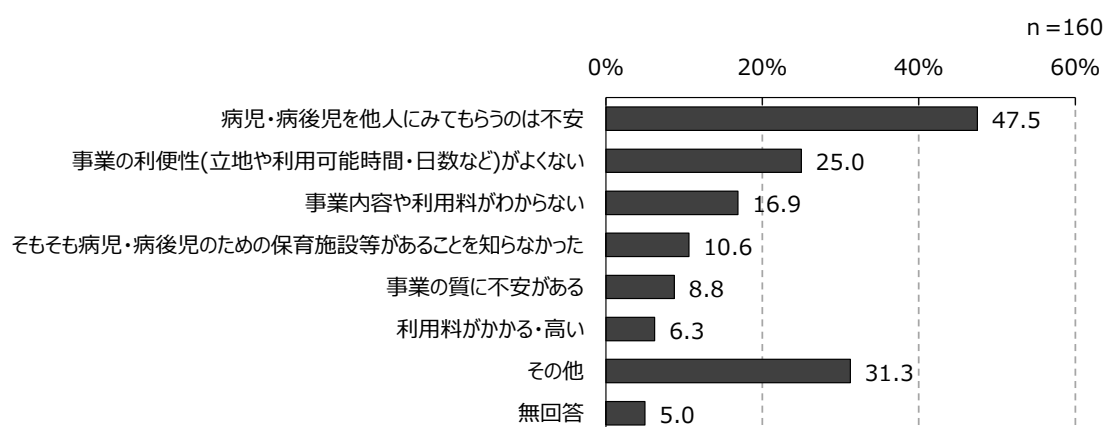
利用したいと思わない理由として就学前児童では、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が45.0%と最も多く、次いで「親が仕事を休めるので必要がない」が40.5%、「事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」が32.1%となっています。

就学前児童 問19-5. (病児・病後児保育等を利用したいと思わなかった人のみ) そう思う理由は何ですか(複数回答)



利用したいと思わない理由として小学生では、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が47.5%と最も多く、「事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」が25.0%、「事業内容や利用料がわからない」が16.9%となっています。

小学生 問15-5. (病児・病後児保育等を利用したいと思わなかった人のみ) そう思う理由は何ですか(複数回答)

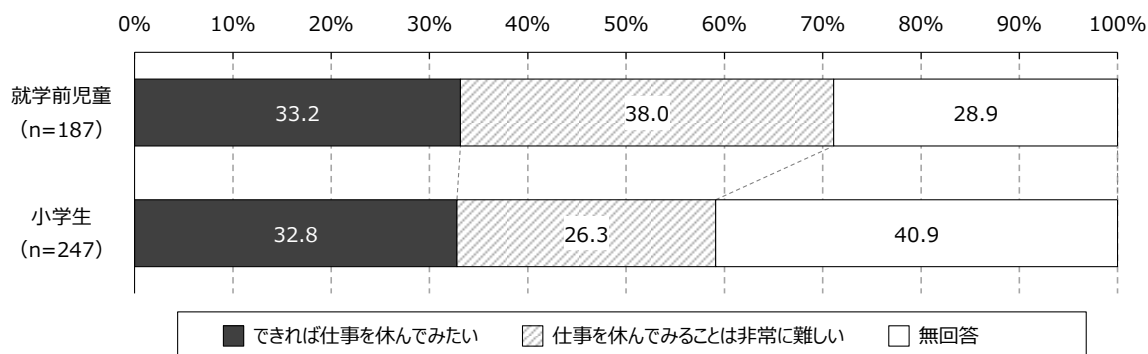


（７）就労している保護者が仕事を休んで対応できなかった状況

「できれば仕事を休んでみたい」が就学前児童で 33.2%、小学生で 32.8%、「仕事を休んでみることは非常に難しい」は小学生の 26.3%に比べ就学前児童で 38.0%と 10 ポイントほど高くなっています。

（父親または母親が仕事を休んで対応できなかった場合）

就学前児童 問19-6. その際、「できれば父母のどちらかが仕事を休んでみたい」と思いましたか
小学生 問15-6. その際、「できれば父母のどちらかが仕事を休んでみたい」と思いましたか



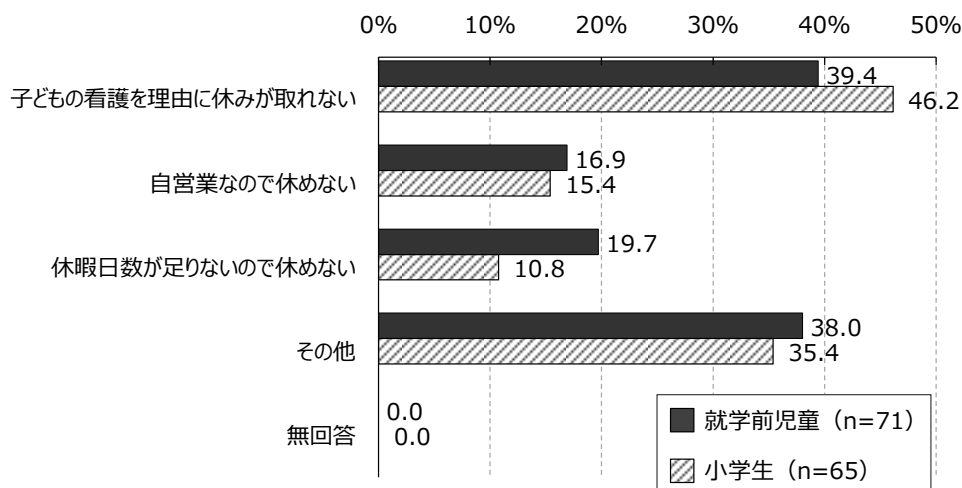
◆仕事を休んでみたいと思った平均日数

就学前児童	小学生
5.4 日	2.5 日

仕事を休んでみることは非常に難しい理由

仕事を休んでみることは非常に難しい理由について、「子どもの看護を理由に休みが取れない」が就学前児童で 39.4%、小学生で 46.2%と約 4 割を占めています。

就学前児童 問19-7. そう思われる理由は何ですか(複数回答)
小学生 問15-7. そう思われる理由は何ですか(複数回答)



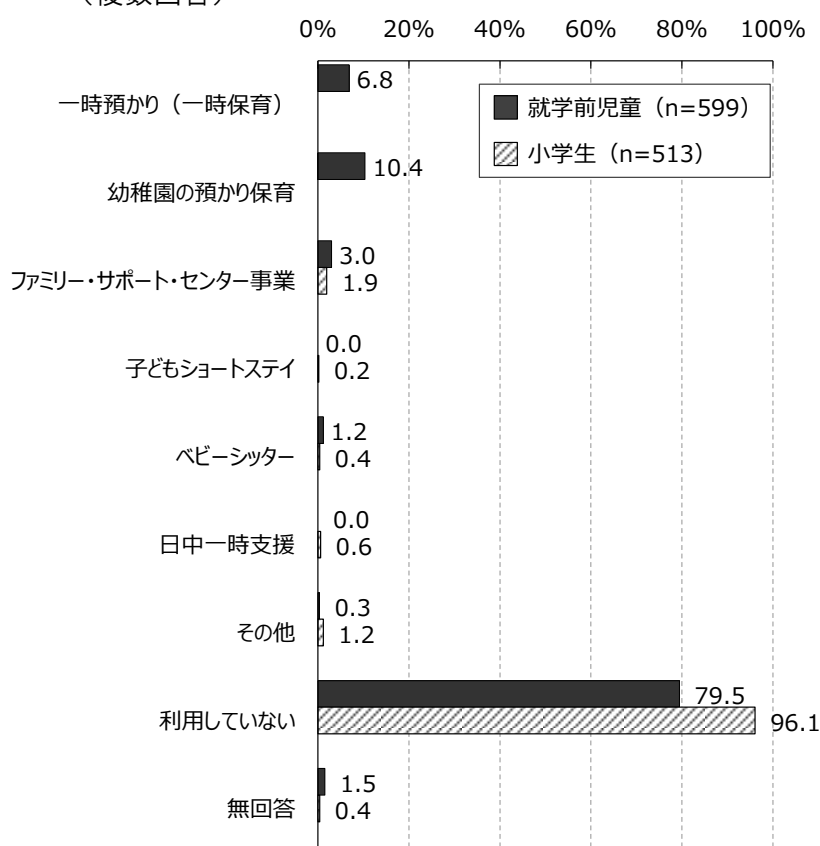
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり(一時保育)等の利用について

(1) 不定期に利用している事業

就学前児童、小学生とも「利用していない」が多数を占めています。利用している事業では、就学前児童で「幼稚園の預かり保育」が10.4%、「一時預かり(一時保育)」が6.8%などの回答がありました。

就学前児童 問20. あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか(複数回答)

小学生 問16. あて名のお子さんについて、保護者の私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や保護者の通院、あるいは就労のため、不定期に利用している事業はありますか(複数回答)



◆不定期に利用している事業の年間平均利用日数

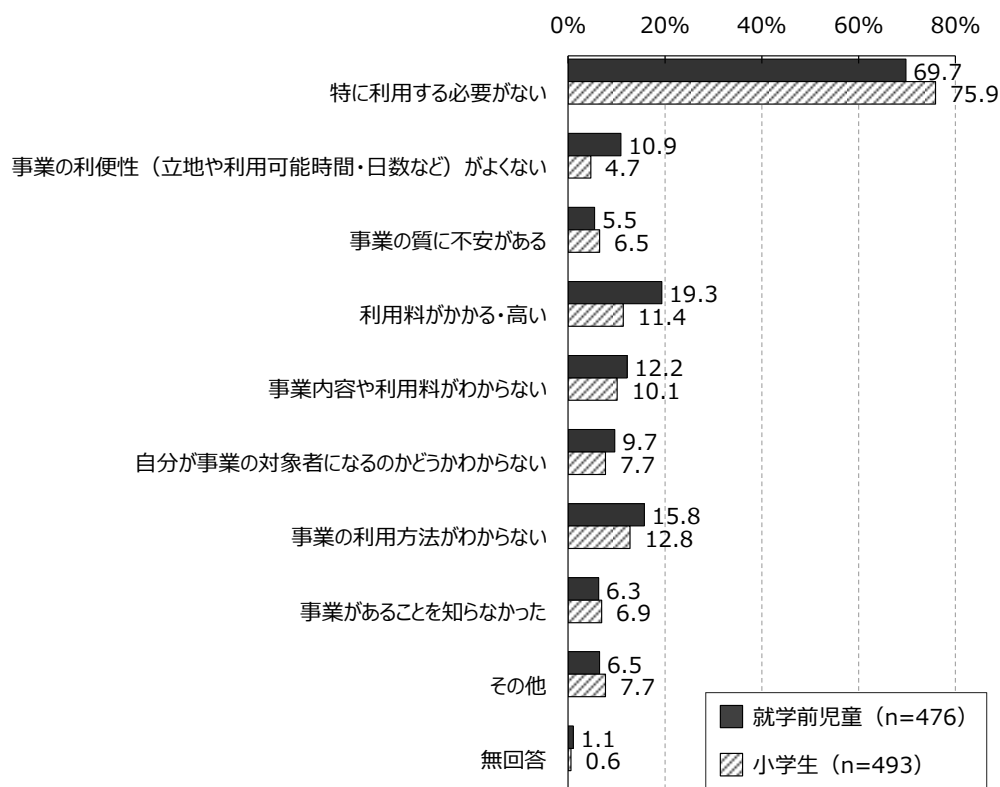
	就学前児童	小学生
一時預かり(一時保育)	6.0 日/年	-
幼稚園の預かり保育	12.0 日/年	-
ファミリー・サポート・センター事業	5.3 日/年	20.0 日/年
子どもショートステイ	-	3.0 日/年
ベビーシッター	19.1 日/年	47.0 日/年
日中一時支援	-	6.0 日/年
その他	6.0 日/年	7.0 日/年

(2) 利用していない理由

利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が就学前児童 69.7%、小学生 75.9%と多数を占めています。

就学前児童 問20-1. 利用していない理由は何ですか(複数回答)

小学生 問16-1. 利用していない理由は何ですか(複数回答)

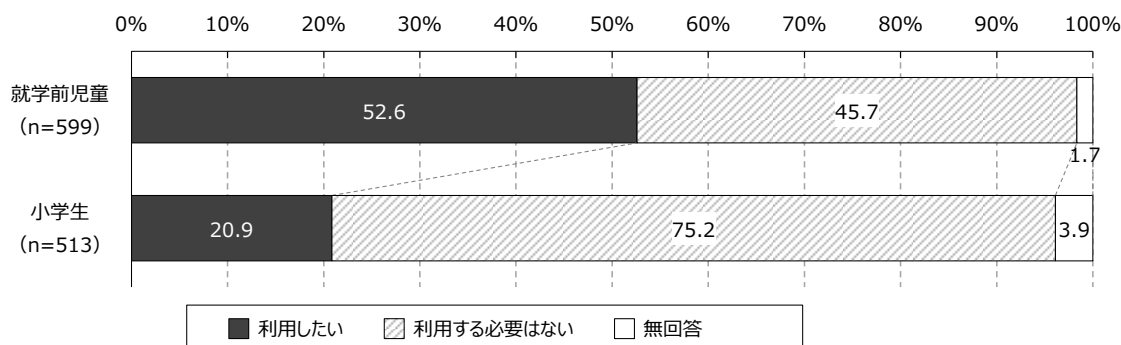


(3) 一時保育等の利用意向

就学前児童の 52.6%、小学生の 20.9%が「利用したい」と回答しています。

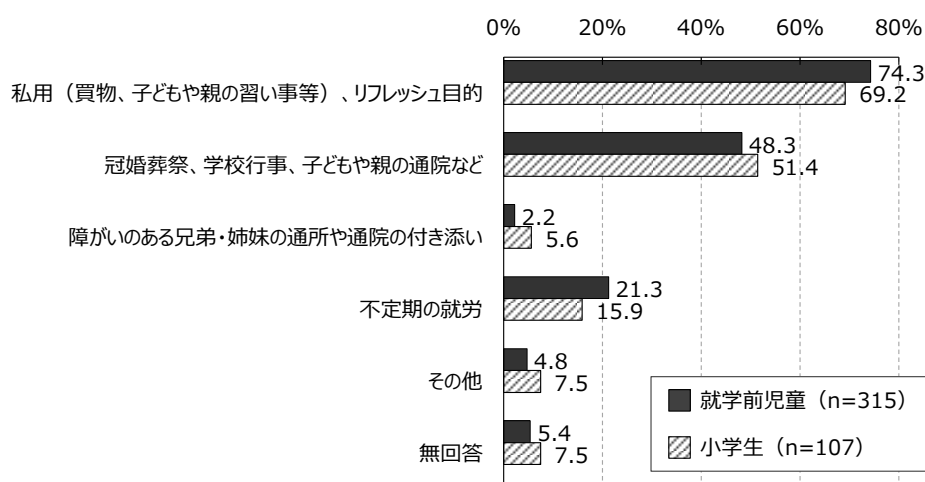
就学前児童 問21. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり(一時保育)等の事業を利用する必要がありますか(利用目的のみ複数回答)

小学生 問17. あて名のお子さんについて、保護者の私用やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や保護者の通院、あるいは就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか(利用目的のみ複数回答)



利用目的

利用目的では、「私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的」が、就学前児童で 74.3%、小学生で 69.2%と多数を占めています。また、1年間の平均希望利用日数の総数は、就学前児童で 17.6 日/年、小学生で 16.4 日/年となっています。



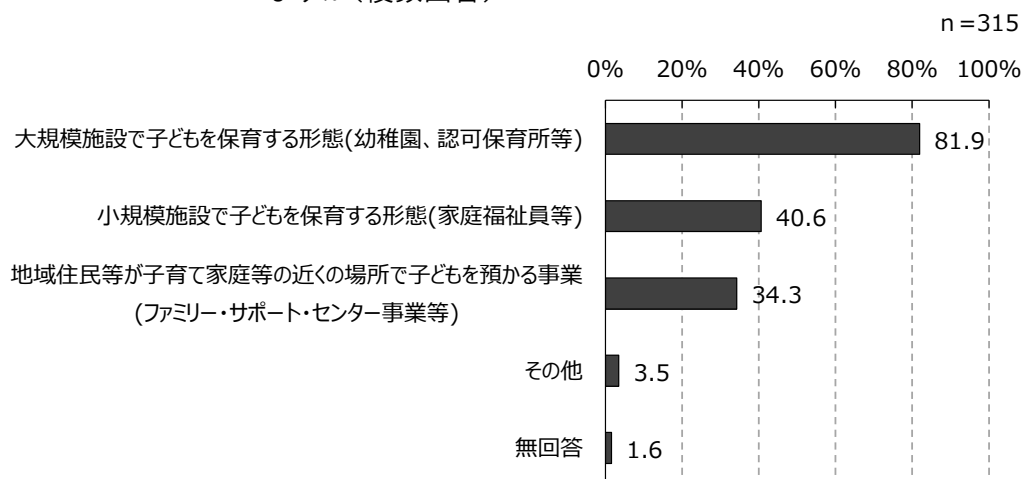
◆一時保育等の平均年間利用希望日数

	就学前児童	小学生
(利用したい総日数)	17.6 日/年	16.4 日/年
私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的	12.0 日/年	11.5 日/年
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	6.1 日/年	6.2 日/年
障がいのある兄弟・姉妹の通所や通院の付き添い	8.8 日/年	16.4 日/年
不定期の就労	18.2 日/年	17.4 日/年
その他	14.5 日/年	8.0 日/年

(4) 子どもを預ける場合に望ましいと思う事業形態

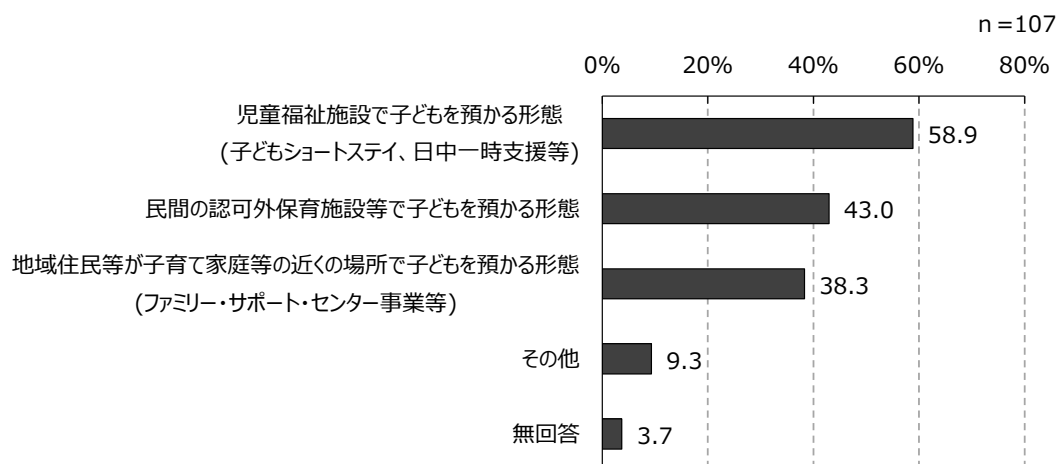
就学前児童では、「大規模施設で子どもを保育する形態(幼稚園、認可保育所等)」が81.9%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する形態(家庭福祉員等)」が40.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で子どもを預かる事業(ファミリー・サポート・センター事業等)」が34.3%となっています。

就学前児童 問21-1. 問21の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか(複数回答)



小学生では「児童福祉施設で子どもを預かる形態(子どもショートステイ、日中一時支援等)」が58.9%と最も多く、次いで「民間の認可外保育施設等で子どもを預かる形態」が43.0%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で子どもを預かる形態(ファミリー・サポート・センター事業等)」が38.3%となっています。

小学生 問17-1. 問17の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか(複数回答)

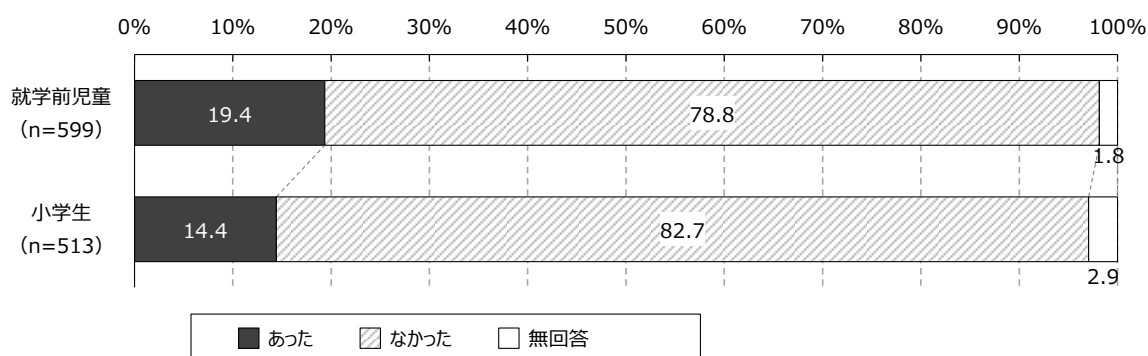


(5) 泊まりがけで家族以外に子どもを預けたこと

就学前児童、小学生とも「なかった」が約8割と多数を占めていますが、就学前児童の19.4%、小学生の14.4%が「あった」と回答しています。

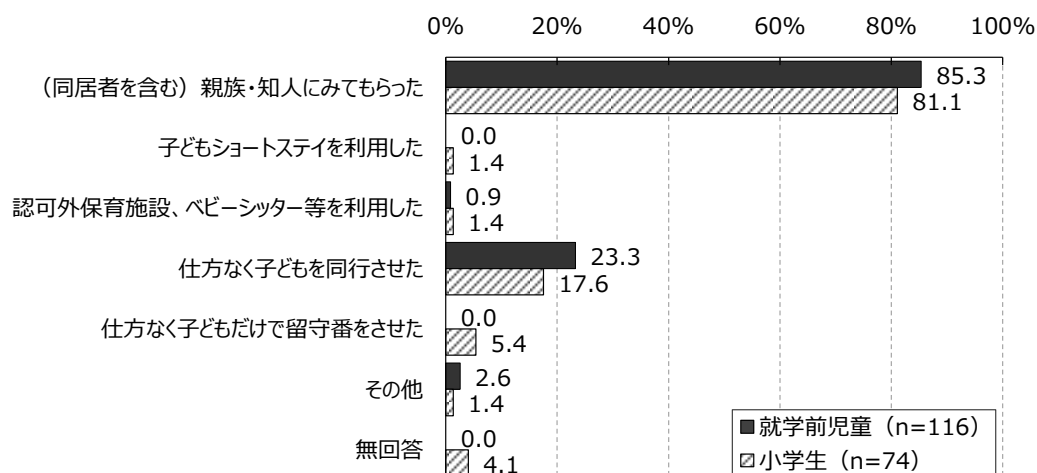
就学前児童 問22. この1年間に、保護者の用事により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(対処方法のみ複数回答)

小学生 問18. この1年間に、保護者の用事により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(対処方法のみ複数回答)



対処方法

みてもらわなければならないことが「あった」場合の対処方法について、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が就学前児童、小学生とも8割を超え多数を占めていますが、就学前児童の23.3%、小学生の17.6%は「仕方なく子どもを同行させた」と回答しています。



◆対処方法ごとの年間平均対処日数

	就学前児童	小学生
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	4.9 日/年	6.8 日/年
子どもショートステイを利用した	-	-
認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	1.0 日/年	-
仕方なく子どもを同行させた	3.3 日/年	3.8 日/年
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-	1.0 日/年
その他	3.0 日/年	-

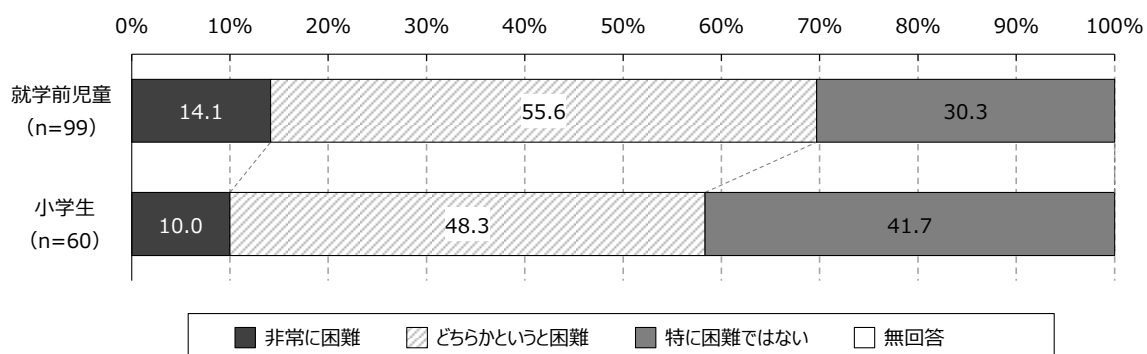
(6) 親族・知人にみてもらった際の困難度

「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせた割合は、就学前児童で 69.7%、小学生で 58.3%となっています。

(同居者を含む親族・知人にみてもらった場合)

就学前児童 問22-1. その場合の困難度はどの程度でしたか

小学生 問18-1. その場合の困難度はどの程度でしたか



小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校入学後希望する放課後の過ごし方

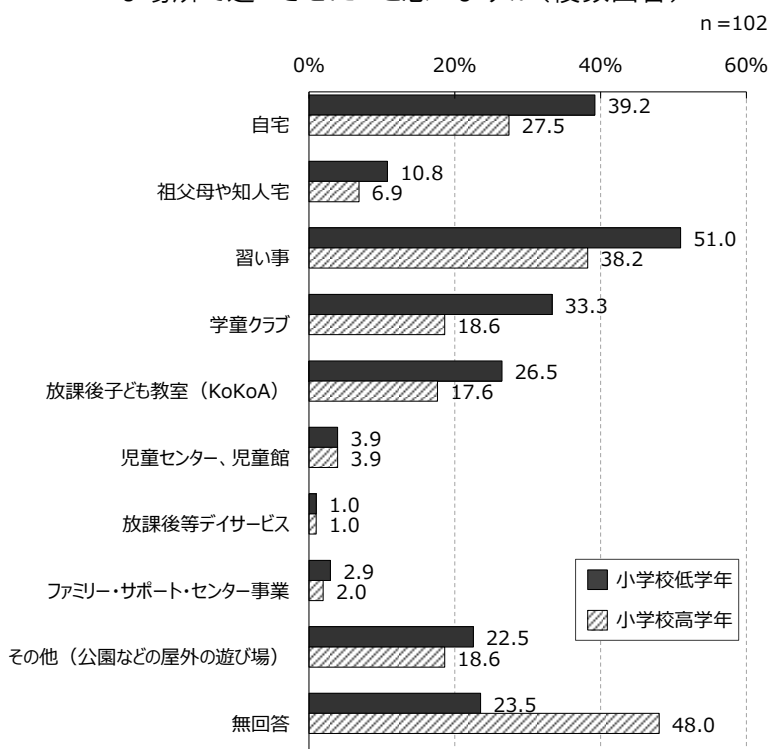
平成 31 年 4 月から小学生になる子どもの小学校低学年の過ごし方について、「習い事」が 51.0%と最も多く、次いで「自宅」が 39.2%、「学童クラブ」が 33.3%となっています。

小学校高学年の過ごし方については、小学校低学年に比べ総じて割合が低くなり、「学童クラブ」は 18.6%と 15 ポイントほど低くなっています。

学童クラブの平均希望日数は 4.2~4.4 日/週、希望終了時間は 18 時と 19 時が多くなっています。

(平成31年4月から小学生になる子どものみ)

就学前児童 問23. あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか(複数回答)



◆週当たりの平均希望日数

	低学年	高学年
自宅	2.8 日/週	2.5 日/週
祖父母や知人宅	1.2 日/週	1.4 日/週
習い事	1.9 日/週	2.9 日/週
学童クラブ	4.4 日/週	4.2 日/週
放課後子ども教室 (KoKoA)	2.3 日/週	2.5 日/週
児童センター、児童館	2.7 日/週	4.7 日/週
放課後等デイサービス	5.0 日/週	3.0 日/週
ファミリー・サポート・センター事業	2.3 日/週	1.5 日/週
その他 (公園などの屋外の遊び場)	2.5 日/週	2.2 日/週

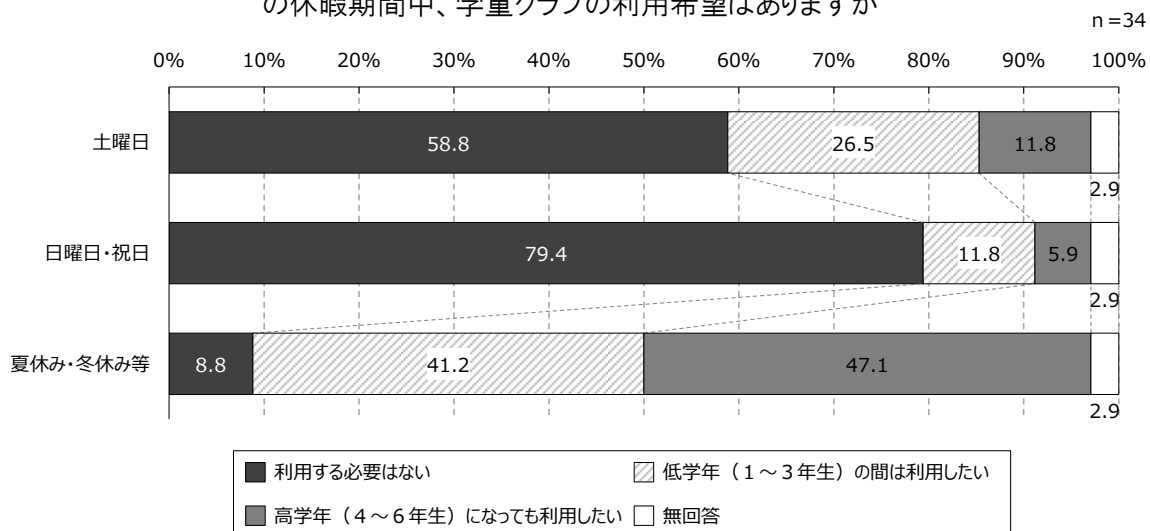
◆学童クラブの希望終了時間

	低学年	高学年
15:31~16:00	1 人	1 人
16:01~16:30	-	-
16:31~17:00	4 人	2 人
17:01~17:30	2 人	-
17:31~18:00	15 人	8 人
18:01~18:30	-	-
18:31~19:00	10 人	6 人

(2) 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の学童クラブの利用希望

小学校入学後の放課後を学童クラブで過ごさせたいと思っている人の、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中の利用希望について、夏休み・冬休み等の長期休暇に利用を希望する割合が高くなっています。夏休み・冬休み等の希望開始時間は7時～8時、終了時間は18時～19時に回答が多くあります。

就学前児童 問24. あて名のお子さんについて土曜日、日曜日・祝日や夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、学童クラブの利用希望はありますか



◆土曜日、日曜日・祝日や夏休み・冬休みなどの学童クラブ希望利用時間帯

	土曜日		日曜日・祝日		夏休み・冬休み等	
	開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
7:30～7:59	4人	-	1人	-	9人	-
8:00～8:29	1人	-	1人	-	11人	-
8:30～8:59	3人	-	1人	-	4人	-
9:00～9:29	3人	-	2人	-	5人	-
9:30～9:59	1人	-	-	-	1人	-
10:00～10:29	-	-	-	-	-	-
10:30～10:59	-	-	-	-	-	-
11:00～14:00	-	1人	-	-	-	1人
14:01～14:30	-	1人	-	-	-	-
14:31～15:00	1人	-	-	-	-	1人
15:01～15:30	4人	-	-	-	-	-
15:31～16:00	-	-	-	-	-	-
16:01～16:30	-	-	-	2人	-	-
16:31～17:00	-	4人	-	1人	-	5人
17:01～17:30	-	1人	-	1人	-	2人
17:31～18:00	-	4人	-	-	-	10人
18:01～18:30	-	1人	-	1人	-	1人
18:31～19:00	-	1人	-	2人	-	9人
19:01～19:30	-	-	-	-	-	-
19:31～20:00	-	-	-	-	-	1人

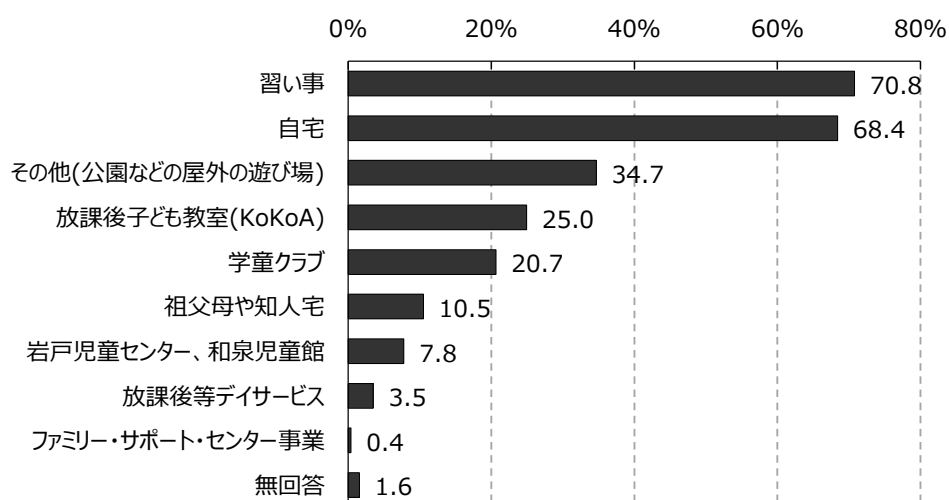
お子さんの放課後の過ごし方について

(1) 小学生の希望する放課後の過ごし方

小学生の放課後の過ごし方について、「習い事」が70.8%と最も多く、次いで「自宅」が68.4%、「その他(公園などの屋外の遊び場)」が34.7%、「放課後子ども教室(KoKoA)」が25.0%、「学童クラブ」が20.7%となっています。

学童クラブの平均希望日数は4.1日/週、終了時間は18時と19時に回答が多くありますが、20時との回答もみられます。

小学生 問12. あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか(複数回答) n=513



◆週当たりの平均希望日数

	小学生
自宅	2.8 日/週
祖父母や知人宅	1.8 日/週
習い事	2.3 日/週
学童クラブ	4.1 日/週
放課後子ども教室 (KoKoA)	2.3 日/週
児童センター、児童館	1.9 日/週
放課後等デイサービス	1.9 日/週
ファミリー・サポート・センター事業	1.0 日/週
その他 (公園などの屋外の遊び場)	2.3 日/週

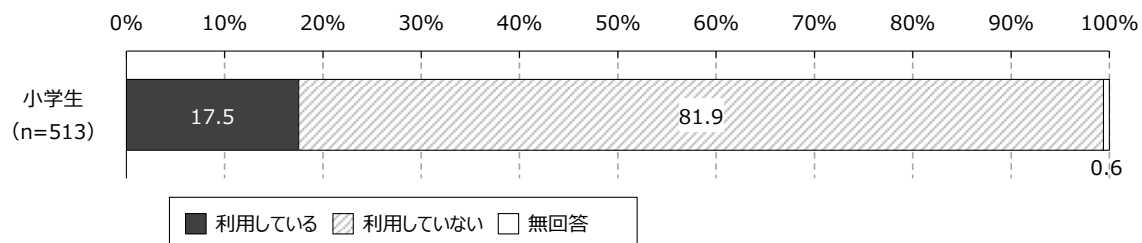
◆学童クラブの希望終了時間

	小学生
15:31~16:00	1 人
16:01~16:30	-
16:31~17:00	4 人
17:01~17:30	2 人
17:31~18:00	15 人
18:01~18:30	-
18:31~19:00	10 人
19:01~19:30	2 人
19:31~20:00	6 人
20:01 以降	1 人

（２）学童クラブの利用状況

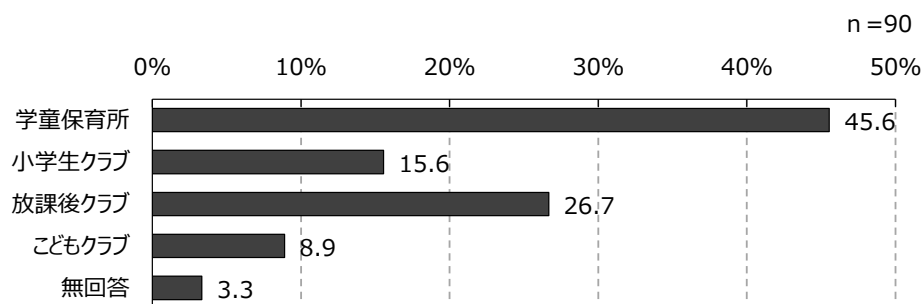
「利用している」が17.5%、「利用していない」が81.9%となっています。

小学生 問13. あて名のお子さんは現在、学童クラブを利用していますか



◆施設の種類

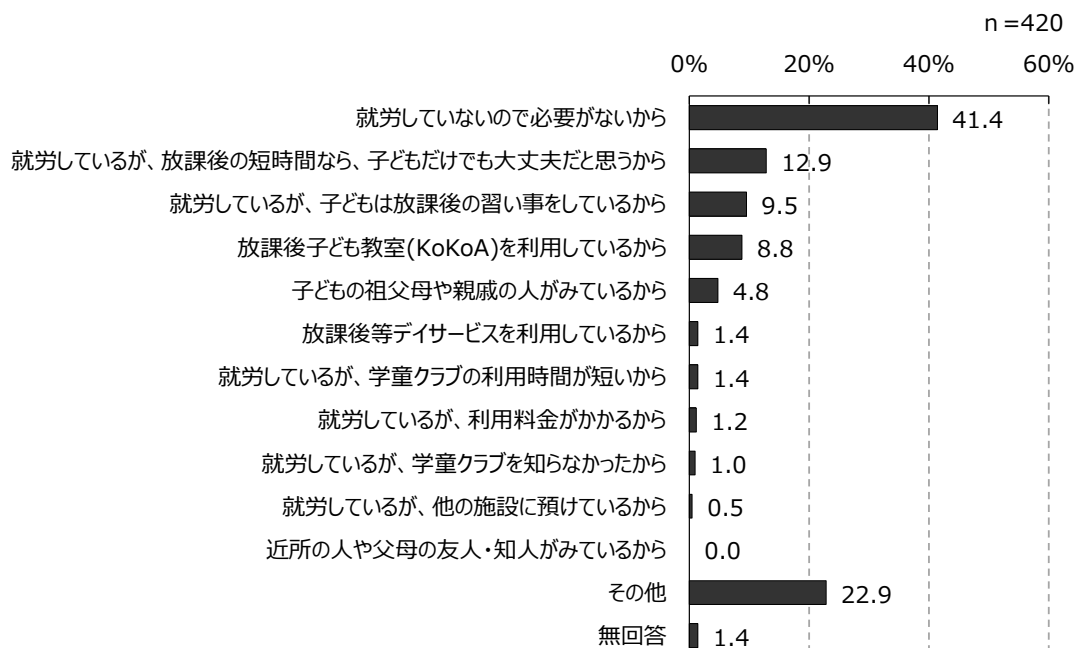
利用している施設の種類の、「学童保育所」が45.6%、次いで「放課後クラブ」が26.7%、「小学生クラブ」が15.6%、「こどもクラブ」が8.9%となっています。



(3) 学童クラブを利用していない理由

学童クラブを利用していない理由として、「就労していないので必要がないから」が41.4%と最も多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間なら、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が12.9%、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから」が9.5%、「放課後子ども教室(KoKoA)を利用しているから」が8.8%となっています。

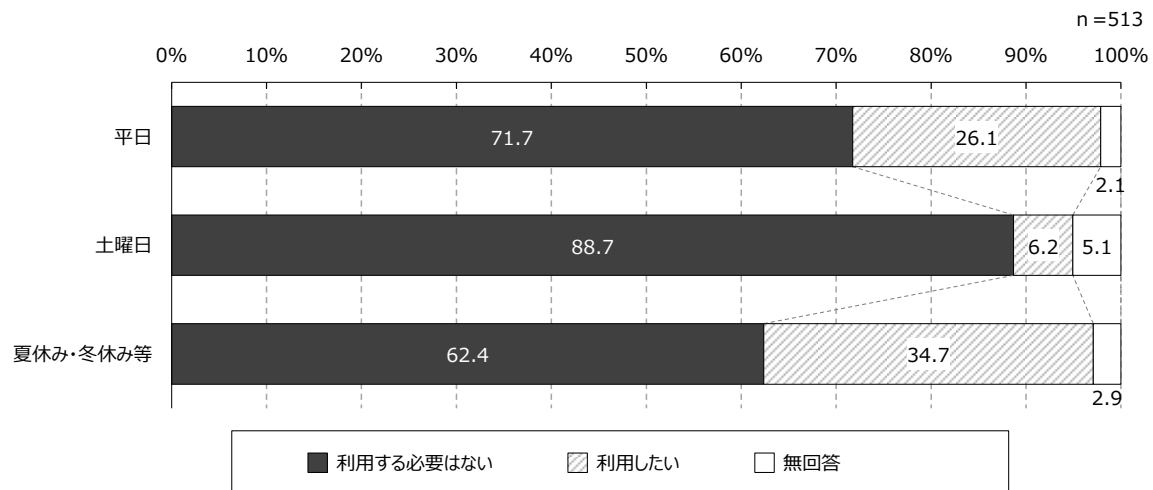
小学生 問13-1. 利用していない理由は何ですか(複数回答)



(4) 今後の学童クラブの利用意向

今後の学童クラブの利用意向について、「利用する必要はない」が多数を占めていますが、平日は 26.1%、夏休み・冬休み等は 34.7%が「利用したい」と回答しています。

小学生 問14. あて名のお子さんについて、今後の学童クラブの利用意向はありますか



◆平均利用希望日数

平日	4.3 日/週
土曜日	4.1 日/月
夏休み・冬休み等	4.3 日/週

◆平日、土曜日、夏休み・冬休みなどの学童クラブ希望利用時間帯

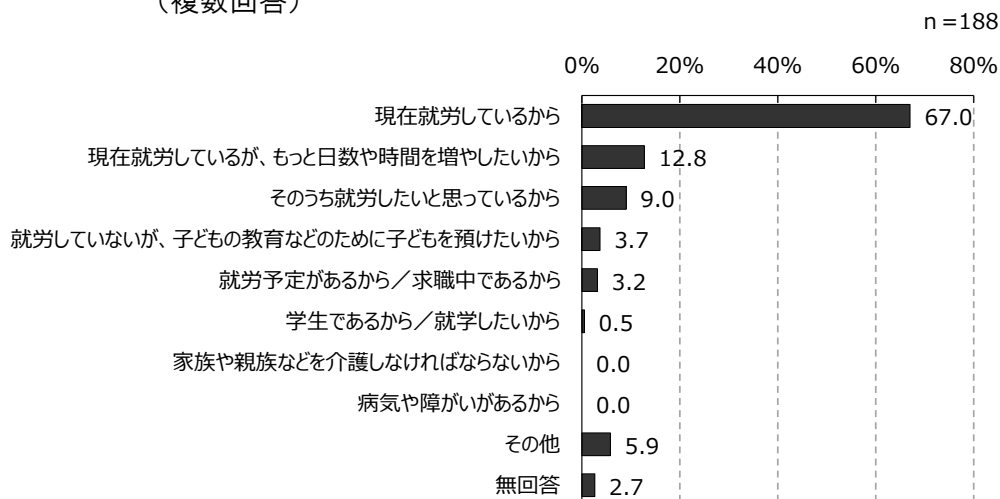
(単位：人)

	平日		土曜日		夏休み・冬休み等	
	開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
7:00～7:29	2	-	-	-	2	-
7:30～7:59	2	-	1	-	10	-
8:00～8:29	5	-	13	-	74	1
8:30～8:59	-	-	3	-	29	-
9:00～9:29	-	-	9	-	51	1
9:30～9:59	-	-	1	-	-	-
10:00～10:29	-	-	-	-	3	-
10:30～10:59	-	-	-	-	-	-
11:00～11:29	0	-	-	2	-	-
11:30～12:00	0	-	-	0	-	2
12:01～12:30	0	-	-	1	-	0
12:31～13:00	5	-	-	0	1	3
13:01～13:30	2	-	-	1	-	1
13:31～14:00	21	-	-	2	-	8
14:01～14:30	15	-	-	-	-	1
14:31～15:00	29	-	-	1	1	11
15:01～15:30	9	-	-	-	-	1
15:31～16:00	4	2	-	1	-	10
16:01～16:30	2	1	-	-	-	-
16:31～17:00	3	31	1	7	1	49
17:01～17:30	-	7	-	-	-	7
17:31～18:00	-	36	-	8	-	38
18:01～18:30	-	13	-	1	-	7
18:31～19:00	-	27	-	4	-	23
19:01～19:30	-	5	-	1	-	7
19:31～20:00	-	8	-	3	-	5
20:01以降	-	1	-	-	-	1

（５）今後、学童クラブを利用したい理由

今後、学童クラブを利用したい理由として、「現在就労しているから」が67.0%と最も多く、次いで「現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたいから」が12.8%、「そのうち就労したいと思っているから」が9.0%となっています。

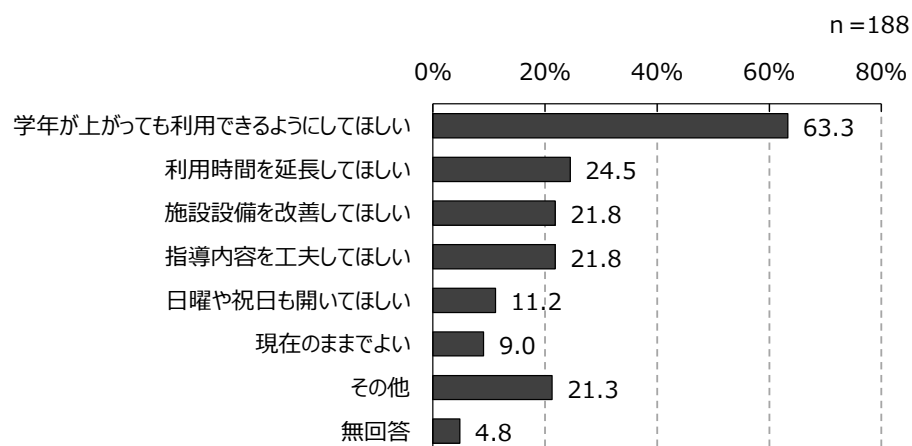
小学生 問14-1. 今後、学童クラブを利用したいと考えている理由はどのようなことですか（複数回答）



（６）学童クラブに対する希望

学童クラブに対する希望について、「学年が上がっても利用できるようにしてほしい」が63.3%と最も多く、次いで「利用時間を延長してほしい」が24.5%、「施設設備を改善してほしい」及び「指導内容を工夫してほしい」が同率で21.8%となっています。

小学生 問14-2. 学童クラブに対してどのようなことを希望しますか（複数回答）

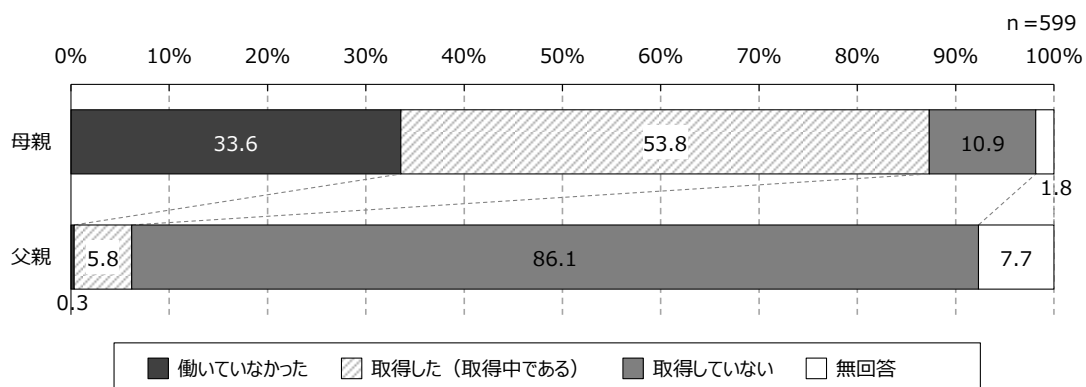


育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

（１）育児休業の取得状況

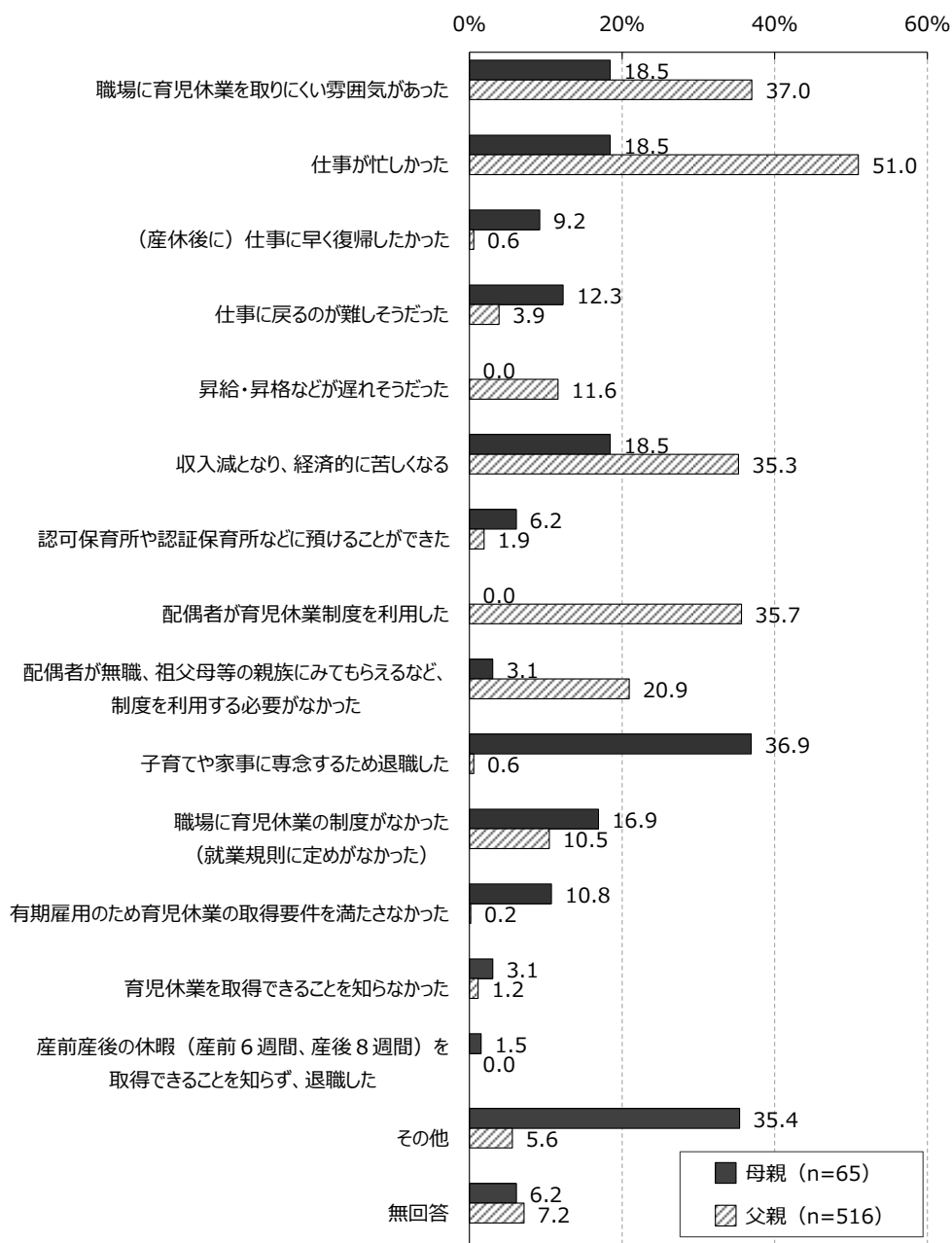
育児休業の取得状況について、「取得した(取得中である)」との回答は、母親が 53.8%、父親が 5.8%となっています。

就学前児童 問25. あて名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか(理由のみ複数回答)



取得していない理由

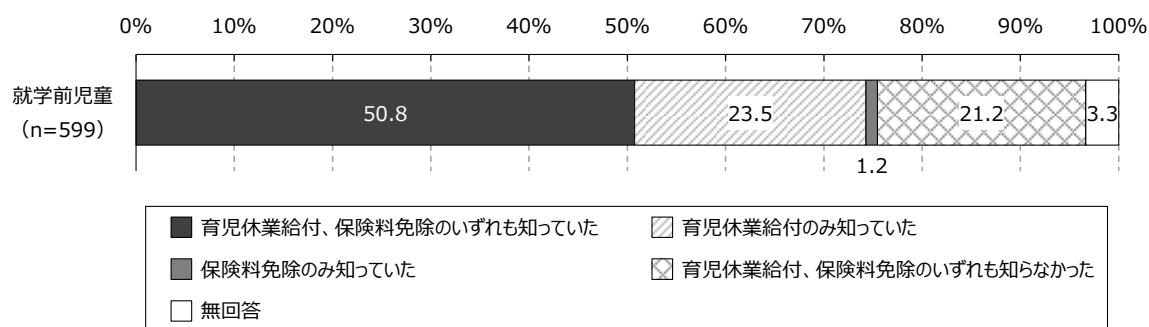
育児休業を取得していない理由として、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」36.9%や「その他」35.4%が多く、父親は「仕事が忙しかった」51.0%「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」37.0%、「配偶者が育児休業制度を利用した」35.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」35.3%が多くなっています。



(2) 育児休業給付の支給や健康保険料等が免除の認知度

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が50.8%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が23.5%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が21.2%、「保険料免除のみ知っていた」が1.2%となっています。

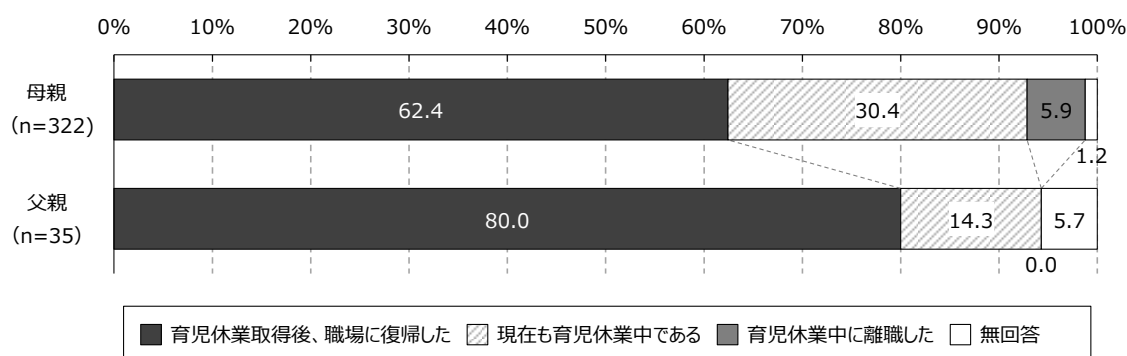
就学前児童 問26. 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか



(3) 育児休業取得後の職場復帰状況

「育児休業取得後、職場に復帰した」が母親62.4%、父親80.0%と多数を占めていますが、母親の5.9%は「育児休業中に離職した」と回答しています。

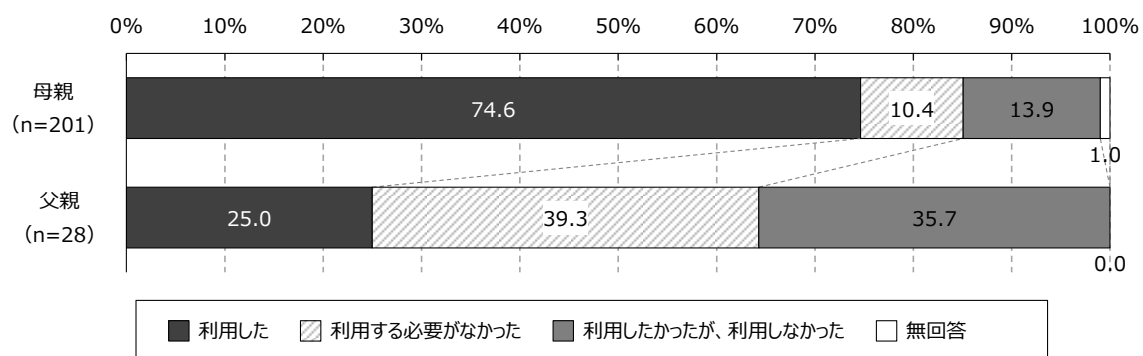
就学前児童 問27. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか



(4) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

母親は「利用した」が74.6%と多数を占め、父親は「利用する必要がなかった」が39.3%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が35.7%、「利用した」が25.0%となっています。

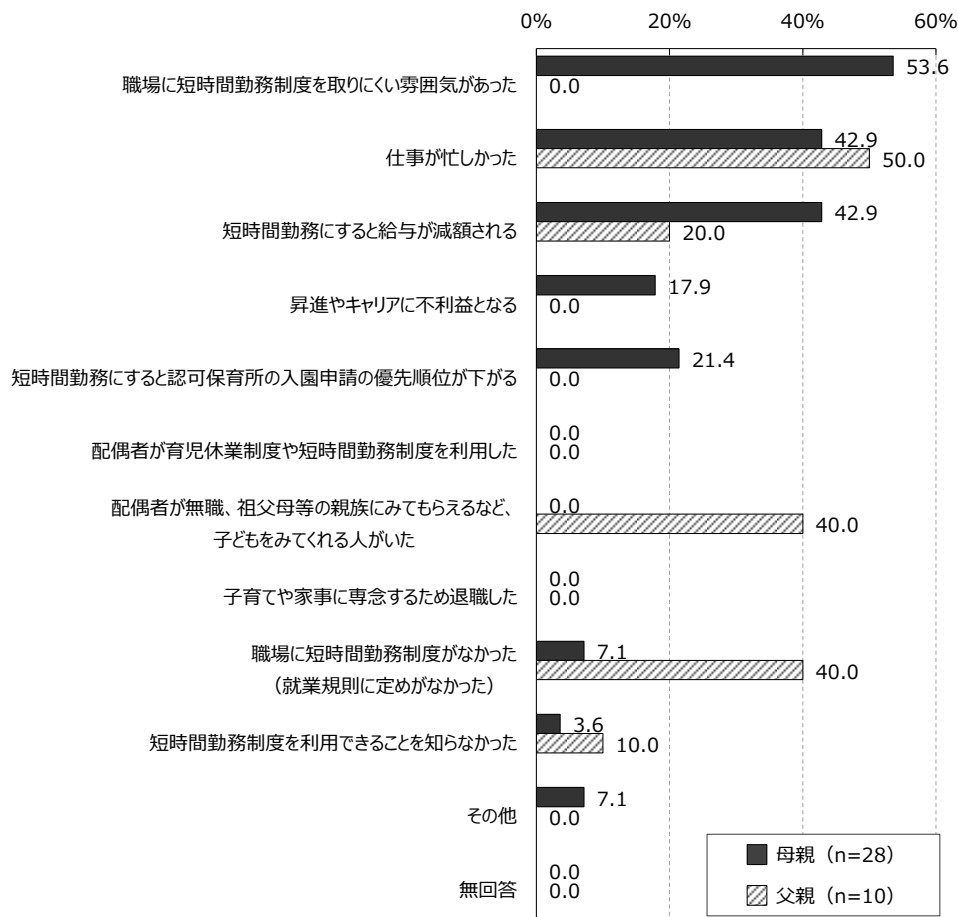
就学前児童 問27-1. 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか



（５）短時間勤務制度を利用しなかった理由

短時間勤務制度を利用しなかった理由について、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が53.6%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」及び「短時間勤務にすると給与が減額される」が同率で42.9%となっています。

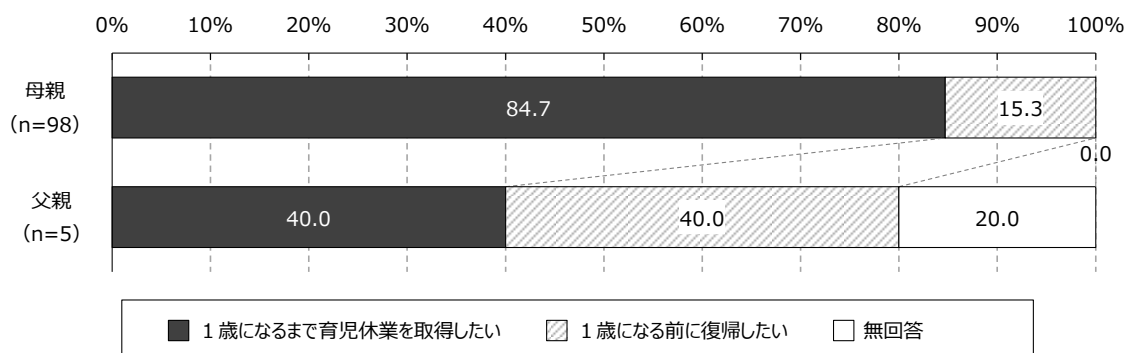
就学前児童 問27-2. 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか（複数回答）



（６）１歳になったとき必ず利用できる事業があった際の育児休業の取得意向

母親では、「１歳になるまで育児休業を取得したい」が84.7%と多数を占めています。

就学前児童 問27-3. あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業（認可保育所や認証保育所など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか

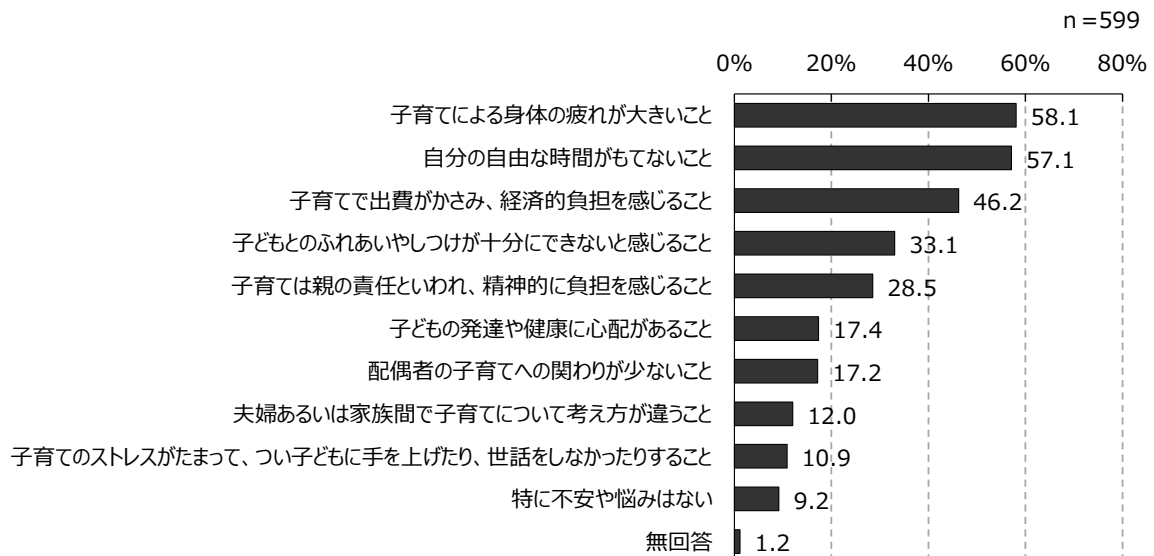


子育て全般について

(1) 子育てをする上での悩み

就学前児童では、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が58.1%と最も多く、次いで「自分の自由な時間がもてないこと」が57.1%、「子育てで出費がかさみ、経済的負担を感じる」ことが46.2%、「子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じること」が33.1%、「子育ては親の責任といわれ、精神的に負担を感じる」ことが28.5%となっています。

就学前児童 問28. 子育てをする上で、どのような不安や悩みをもっていますか(複数回答)



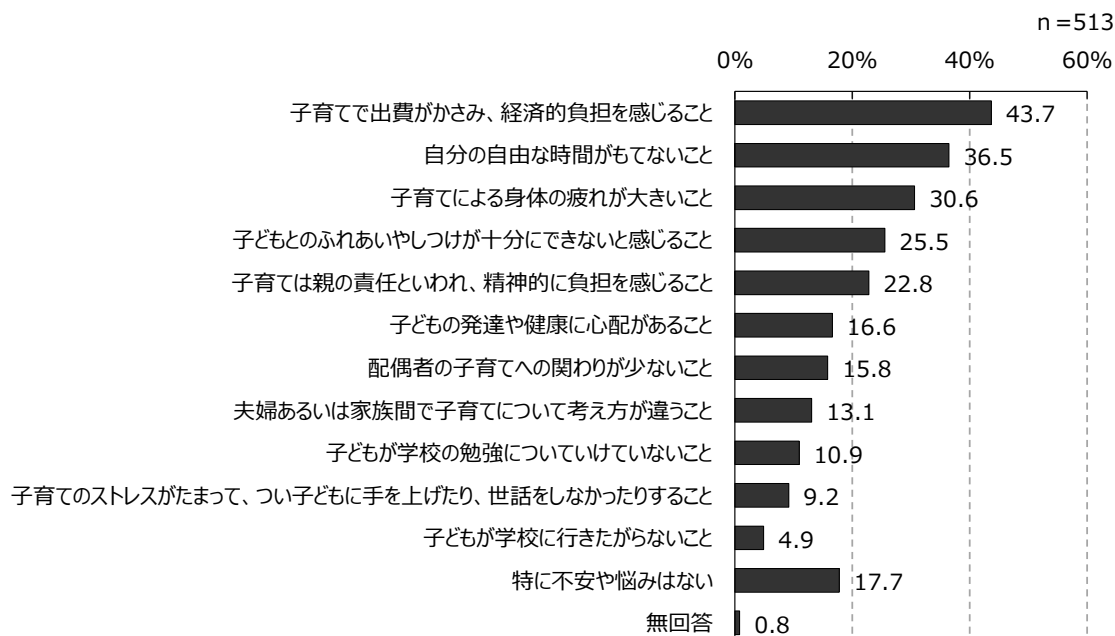
◆母親の就労状況別／就学前児童

問28. 子育てをする上で、どのような不安や悩みをもっていますか

	合計	子育てによる身体の疲れが大きいこと	自分の自由な時間がもてないこと	子育てで出費がかさみ、経済的負担を感じる	子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じること	精神的に負担を感じる	子どもの発達や健康に心配がある	配偶者の子育てへの関わりが少ない	夫婦あるいは家族間で子育てについて考え方が違う	子育てのストレスがたまって、つい子どもに手を上げたり、世話をしなかったりする	特に不安や悩みはない	無回答
全体	599	348	342	277	198	171	104	103	72	65	55	7
	100.0	58.1	57.1	46.2	33.1	28.5	17.4	17.2	12.0	10.9	9.2	1.2
フルタイム	163	98	92	64	66	32	23	24	15	13	18	2
	100.0	60.1	56.4	39.3	40.5	19.6	14.1	14.7	9.2	8.0	11.0	1.2
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	122	70	81	51	48	34	19	21	14	12	9	0
	100.0	57.4	66.4	41.8	39.3	27.9	15.6	17.2	11.5	9.8	7.4	0.0
パート・アルバイト等	83	48	44	52	23	21	9	15	13	10	8	0
	100.0	57.8	53.0	62.7	27.7	25.3	10.8	18.1	15.7	12.0	9.6	0.0
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	7	3	3	1	1	3	2	1	0	0	2	0
	100.0	42.9	42.9	14.3	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0
現在は就労していない	193	117	109	93	49	71	43	39	25	27	14	5
	100.0	60.6	56.5	48.2	25.4	36.8	22.3	20.2	13.0	14.0	7.3	2.6
これまでに就労したことがない	12	4	3	6	2	2	3	1	2	0	2	0
	100.0	33.3	25.0	50.0	16.7	16.7	25.0	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0

小学校では、「子育てで出費がかさみ、経済的負担を感じる」とが43.7%と最も多く、次いで「自分の自由な時間がもてないこと」が36.5%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が30.6%、「子どもとのふれあいやしつけが十分にできないと感じること」が25.5%、「子育ては親の責任といわれ、精神的に負担を感じる」とが22.8%となっています。

小学生 問19. 子育てをする上で、どのような不安や悩みをもっていますか(複数回答)



◆母親の就労状況別／小学生

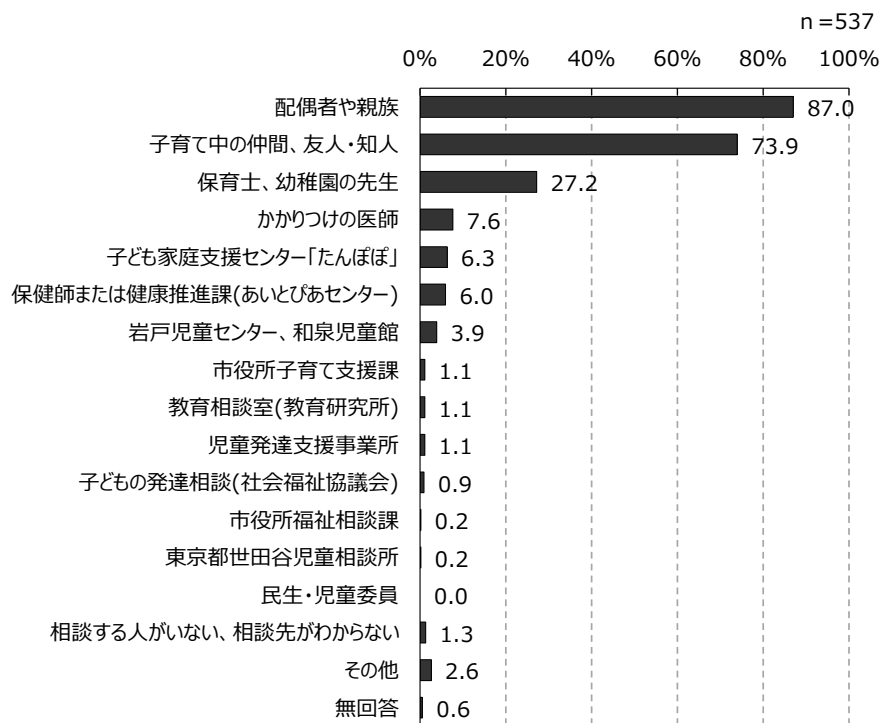
問19. 子育てをする上で、どのような不安や悩みをもっていますか

	合計	経済的負担を感じる	自由な時間がもてないこと	子育てによる身体の疲れ	ふれあいやしつけが十分にできない	精神的に負担を感じる	子どもの発達や健康に心配がある	配偶者の子育てへの関わりが少ない	夫婦・家族間で子育ての考え方が違う	学校の勉強についていけない	ストレスがたまって手を上げたりする	学校に行きたがらない	特に不安や悩みはない	無回答
全体	513	224	187	157	131	117	85	81	67	56	47	25	91	4
	100.0	43.7	36.5	30.6	25.5	22.8	16.6	15.8	13.1	10.9	9.2	4.9	17.7	0.8
フルタイム	140	55	61	52	60	31	21	19	16	18	18	4	20	1
	100.0	39.3	43.6	37.1	42.9	22.1	15.0	13.6	11.4	12.9	12.9	2.9	14.3	0.7
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	6	3	4	3	1	2	0	1	0	1	1	0	0	0
	100.0	50.0	66.7	50.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト等	192	103	59	54	42	43	33	36	28	23	15	11	36	1
	100.0	53.6	30.7	28.1	21.9	22.4	17.2	18.8	14.6	12.0	7.8	5.7	18.8	0.5
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	3	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0
	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
現在は就労していない	141	50	51	40	21	37	26	19	19	12	8	9	27	1
	100.0	35.5	36.2	28.4	14.9	26.2	18.4	13.5	13.5	8.5	5.7	6.4	19.1	0.7
これまでに就労したことがない	14	7	4	2	2	2	3	2	1	0	1	0	4	0
	100.0	50.0	28.6	14.3	14.3	14.3	21.4	14.3	7.1	0.0	7.1	0.0	28.6	0.0

(2) 子育ての不安や悩みの相談先

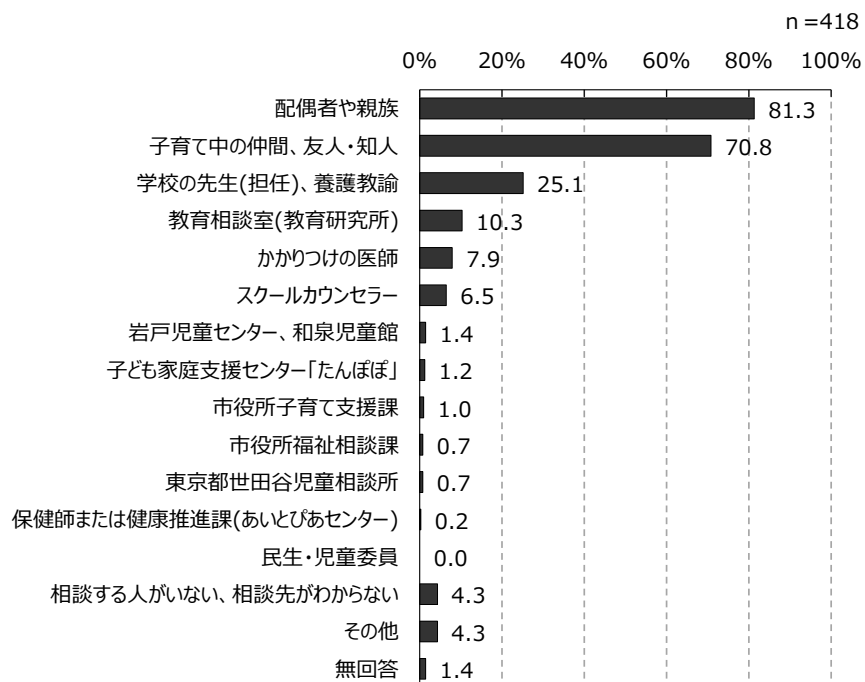
就学前児童の相談先は、「配偶者や親族」の 87.0%、「子育て中の仲間、友人・知人」の 73.9% が多数を占めています。

就学前児童 問28-1. 子育ての不安や悩みをどこに(誰に)相談していますか(複数回答)



小学生の相談先も就学前児童同様、「配偶者や親族」の 81.3%、「子育て中の仲間、友人・知人」の 70.8% が多数を占めています。

小学生 問19-1. 子育ての不安や悩みをどこに(誰に)相談していますか(複数回答)



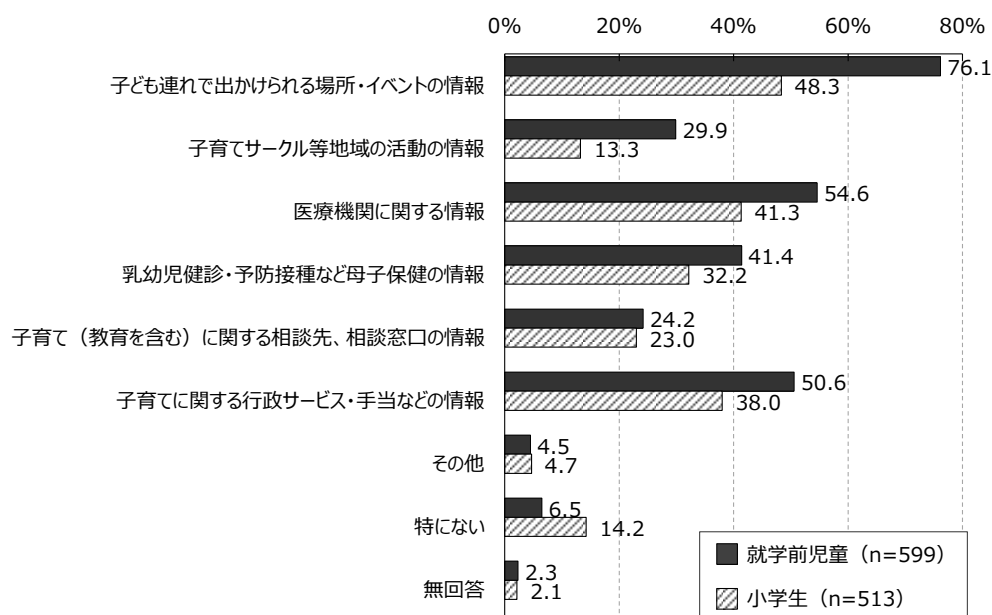
(3) ほしい子育てに関する情報

子育てに関するほしい情報は、就学前児童は「子ども連れで出かけられる場所・イベントの情報」が76.1%と最も多く、次いで「医療機関に関する情報」が54.6%、「子育てに関する行政サービス・手当などの情報」が50.6%となっています。

小学生では、「子ども連れで出かけられる場所・イベントの情報」が48.3%と最も多く、次いで「医療機関に関する情報」が41.3%、「子育てに関する行政サービス・手当などの情報」が38.0%などとなっています。

就学前児童 問29. 子育てに関するどのような情報がほしいですか(複数回答)

小学生 問20. 子育てに関するどのような情報がほしいですか(複数回答)



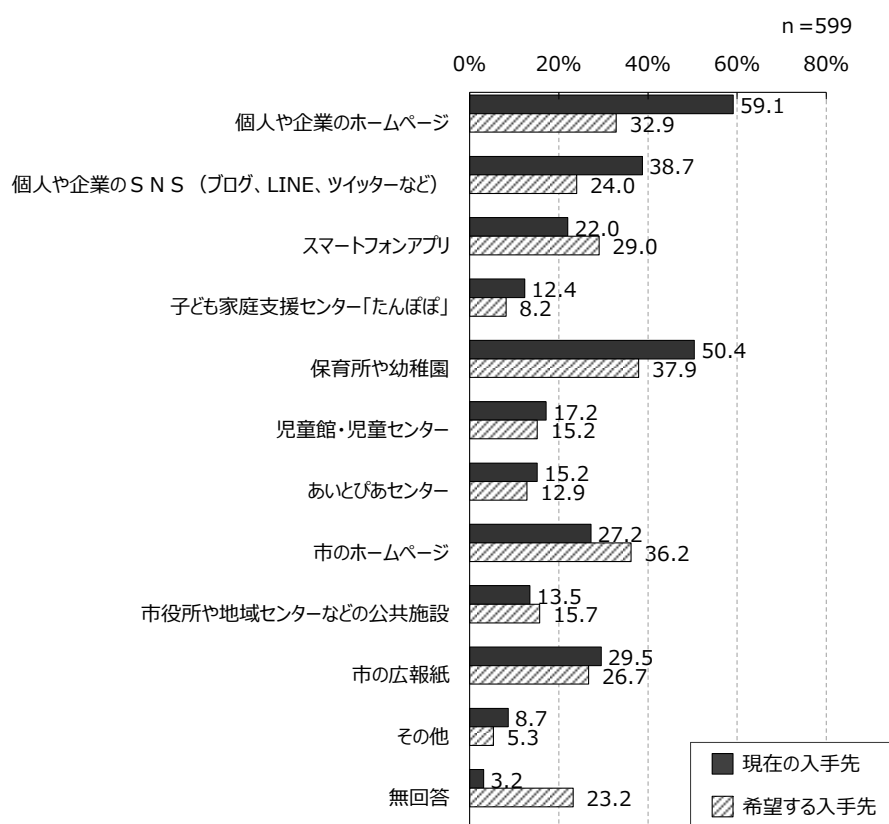
（４）子育てに関する情報の入手先

就学前児童の子育て情報の現在の入手先は、「個人や企業のホームページ」が 59.1%、「保育所や幼稚園」が 50.4%、「個人や企業の SNS（ブログ、LINE、ツイッターなど）」が 38.7%、「市の広報紙」が 29.5%となっています。

希望の入手先は、「保育所や幼稚園」が 37.9%、「市のホームページ」が 36.2%、「個人や企業のホームページ」が 32.9%、「スマートフォンアプリ」が 29.0%となっています。

「スマートフォンアプリ」、「市のホームページ」での入手を希望する割合が、現在入手している割合よりも高くなっています。

就学前児童 問30. 子育てに関する情報はどこから入手していますか。また、どこから入手できるとよいと思いますか（複数回答）

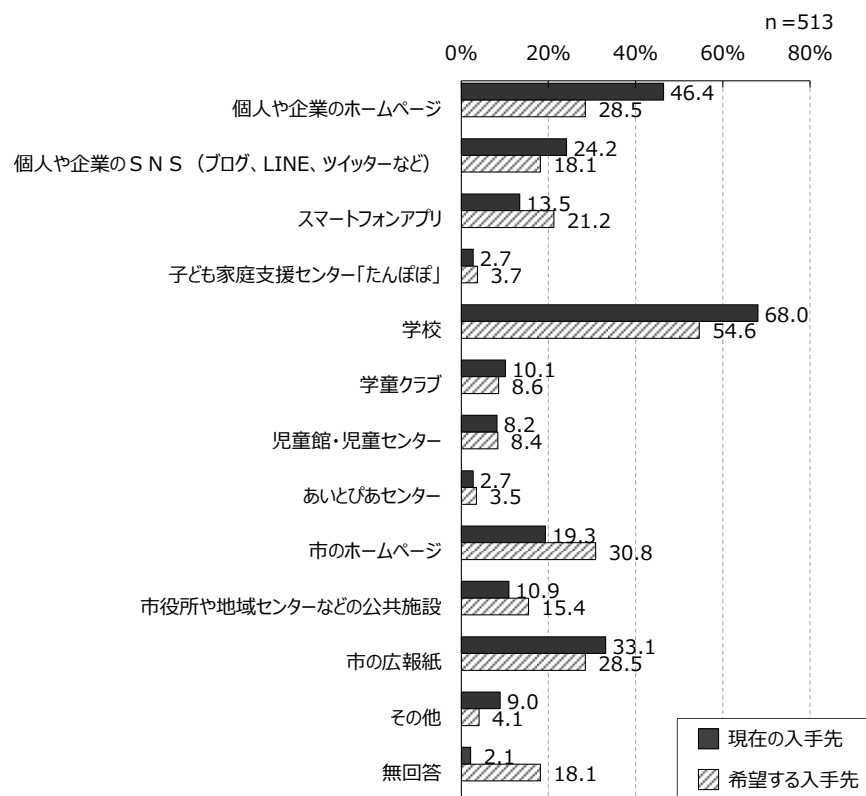


小学生の子育て情報の現在の入手先は、「学校」が68.0%と最も多く、次いで「個人や企業のホームページ」が46.4%、「市の広報紙」が33.1%、「個人や企業のSNS(ブログ、LINE、ツイッターなど)」が24.2%となっています。

希望の入手先は、「学校」が54.6%と最も多く、次いで「市のホームページ」が30.8%、「個人や企業のホームページ」及び「市の広報紙」が28.5%となっています。

就学前児童同様、「スマートフォンアプリ」、「市のホームページ」での入手を希望する割合が、現在入手している割合よりも高くなっています。

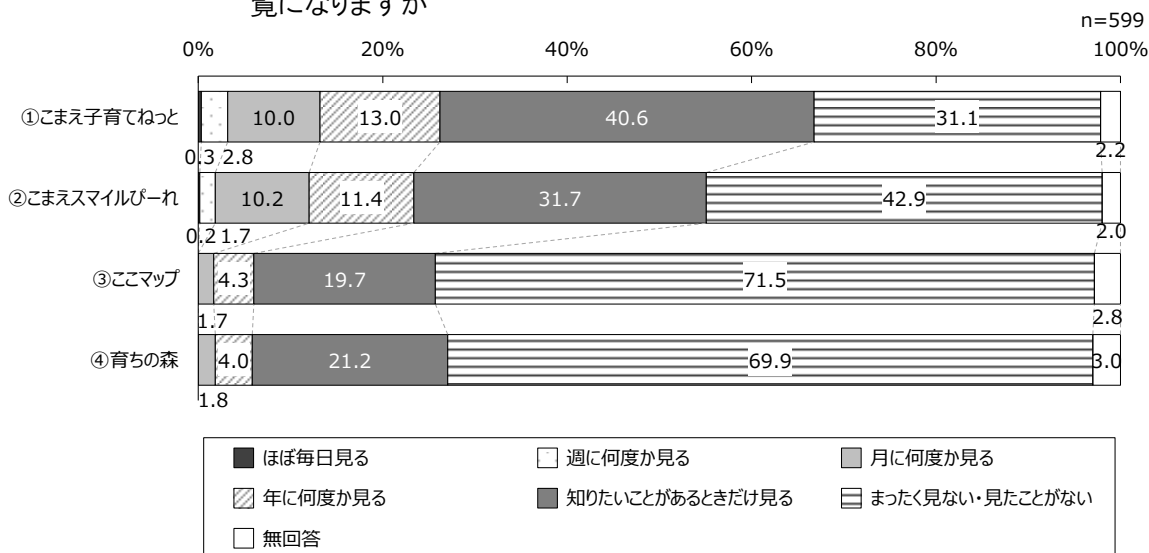
小学生 問21. 子育てに関する情報はどこから入手していますか。また、どこから入手できるとよいと思いますか(複数回答)



(5) 子育てポータルサイトの閲覧頻度

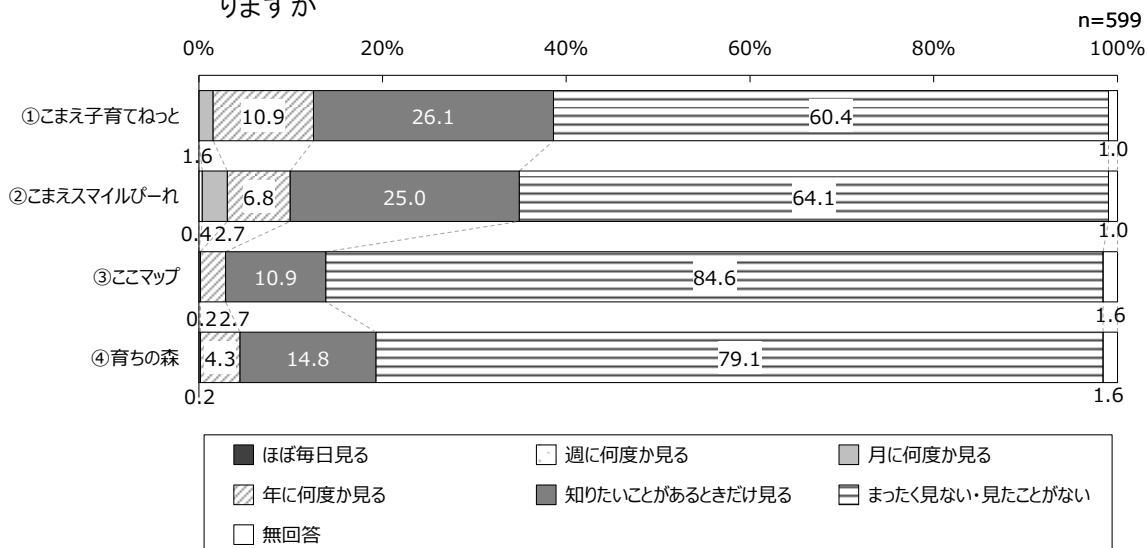
就学前児童の閲覧頻度は、①こまえ子育てねっと及び②こまえスマイルぴーれは頻度に差はあるものの、6割前後の人が“見る”と回答しています。一方③ここマップや④育ちの森は、“見る”と回答した人は3割に満たず、7割前後が「まったく見ない・見たことがない」と回答しています。

就学前児童 問31. 狛江市で開設している子育てに関するポータルサイトはどのくらいの頻度でご覧になりますか



小学生の閲覧頻度は、①こまえ子育てねっと及び②こまえスマイルぴーれは頻度に差はあるものの、4割弱の人が“見る”と回答しています。一方③ここマップや④育ちの森は、“見る”と回答した人は2割に満たず、8割前後が「まったく見ない・見たことがない」と回答しています。

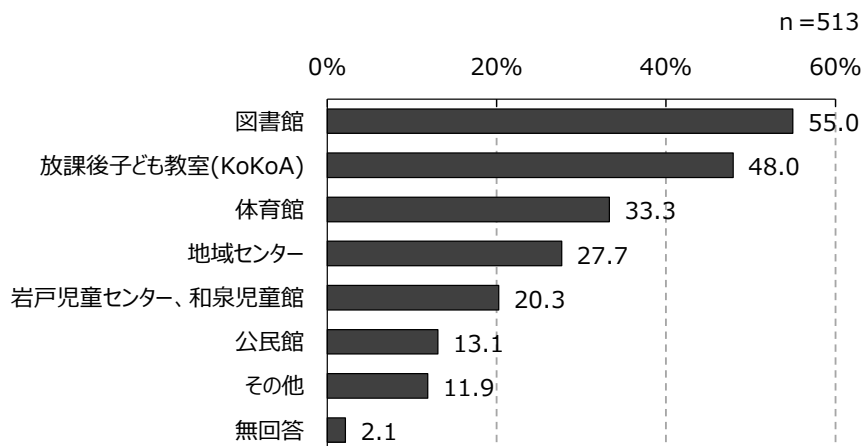
小学生 問22. 狛江市で開設している子育てに関するポータルサイトはどのくらいの頻度でご覧になりますか



（６）今後児童の居場所として充実してほしい公共施設・事業

「図書館」が55.0%と最も多く、次いで「放課後子ども教室(KoKoA)」が48.0%、「体育館」が33.3%、「地域センター」が27.7%、「岩戸児童センター、和泉児童館」が20.3%となっています。

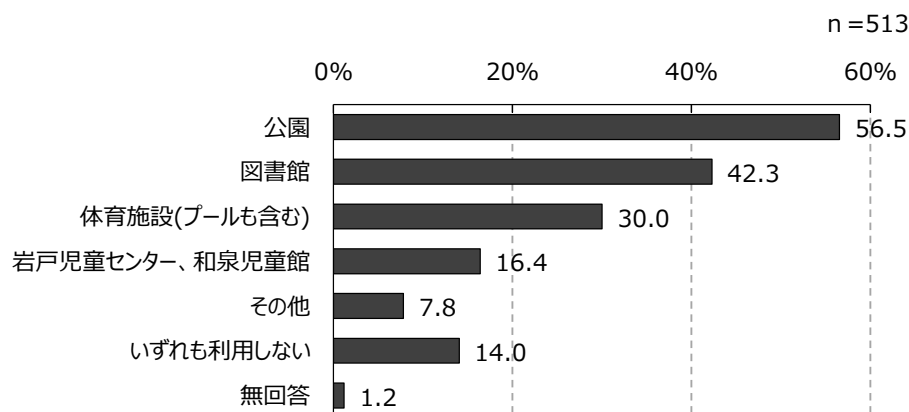
小学生 問23. 今後児童の居場所として充実してほしい公共施設・事業はありますか（複数回答）



（７）子どもがよく利用する公共施設

「公園」が56.5%と最も多く、次いで「図書館」が42.3%、「体育施設(プールも含む)」が30.0%、「岩戸児童センター、和泉児童館」が16.4%となっている一方、「いずれも利用しない」が14.0%となっています。

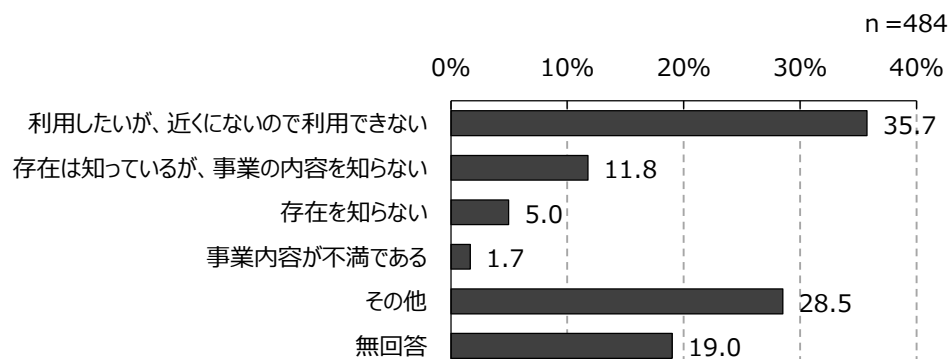
小学生 問24. あて名のお子さんがよく利用する公共施設は何ですか（複数回答）



岩戸児童センター、和泉児童館を利用しない理由

「利用したいが、近くにないので利用できない」が35.7%と最も多く、次いで「その他」が28.5%、「存在は知っているが、事業の内容を知らない」が11.8%、「存在を知らない」が5.0%、「事業内容が不満である」が1.7%となっています。

小学生 問24-1. 岩戸児童センター、和泉児童館を利用しない理由は何ですか(複数回答)

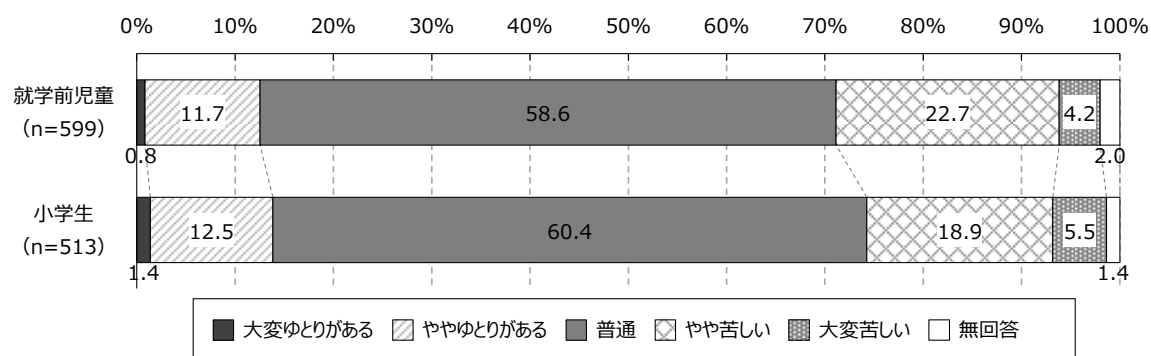


(8) 世帯の暮らし向き

就学前児童、小学生とも「普通」が約6割で最も多く、次いで「やや苦しい」が2割程度、「ややゆとりがある」が1割程度となっています。

就学前児童 問32. あなたの世帯の現在の暮らし向きについておたずねします

小学生 問26. あなたの世帯の現在の暮らし向きについておたずねします



◆母親の就労状況別／就学前児童

問32. あなたの世帯の現在の暮らし向きについておたずねします

	合計	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	無回答
全体	599	5	70	351	136	25	12
	100.0	0.8	11.7	58.6	22.7	4.2	2.0
フルタイム	163	2	11	105	37	5	3
	100.0	1.2	6.7	64.4	22.7	3.1	1.8
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	122	2	22	75	23	0	0
	100.0	1.6	18.0	61.5	18.9	0.0	0.0
パート・アルバイト等	83	0	10	43	20	9	1
	100.0	0.0	12.0	51.8	24.1	10.8	1.2
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	7	0	1	5	1	0	0
	100.0	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0
現在は就労していない	193	1	23	104	49	8	8
	100.0	0.5	11.9	53.9	25.4	4.1	4.1
これまでに就労したことがない	12	0	1	9	1	1	0
	100.0	0.0	8.3	75.0	8.3	8.3	0.0

◆母親の就労状況別／小学生

問26. あなたの世帯の現在の暮らし向きについておたずねします

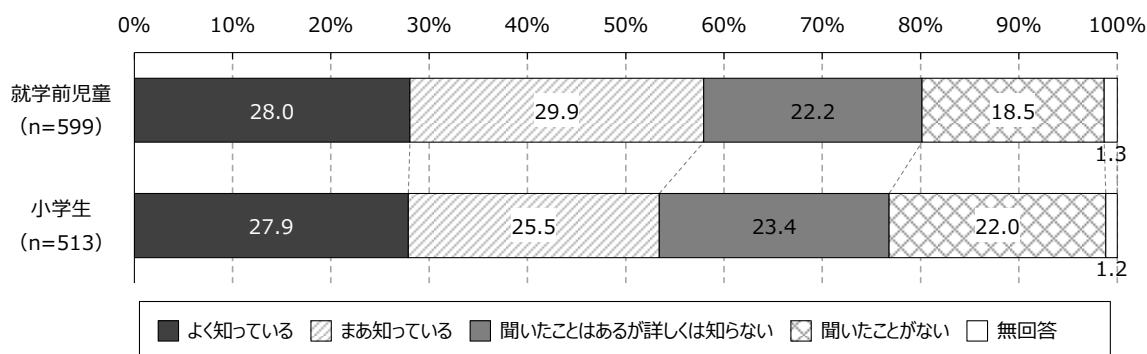
	合計	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	無回答
全体	513	7	64	310	97	28	7
	100.0	1.4	12.5	60.4	18.9	5.5	1.4
フルタイム	140	1	18	83	26	11	1
	100.0	0.7	12.9	59.3	18.6	7.9	0.7
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	6	1	0	5	0	0	0
	100.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト等	192	2	26	104	45	12	3
	100.0	1.0	13.5	54.2	23.4	6.3	1.6
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	3	0	0	2	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
現在は就労していない	141	2	16	95	23	2	3
	100.0	1.4	11.3	67.4	16.3	1.4	2.1
これまでに就労したことがない	14	1	4	8	1	0	0
	100.0	7.1	28.6	57.1	7.1	0.0	0.0

(9) ワーク・ライフ・バランスの認知状況

就学前児童、小学生ともに「よく知っている」、「まあ知っている」がそれぞれ約3割となっています。

就学前児童 問33. 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか

小学生 問27. 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか

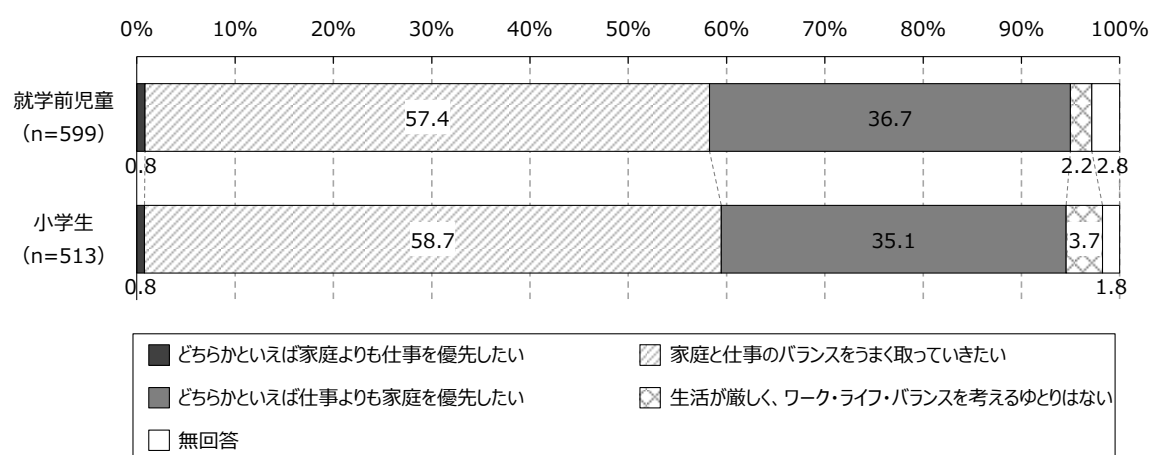


(10) 仕事と家庭のバランスについて

仕事と家庭のバランスについて、就学前児童、小学生ともに「家庭と仕事のバランスをうまく取っていききたい」が約6割、「どちらかといえば仕事よりも家庭を優先したい」が3割強となっています。

就学前児童 問34. 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか

小学生 問28. 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか



◆母親の就労状況別／就学前児童

問34. 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか

	合計	どちらかといえば家庭よりも仕事を優先したい	家庭と仕事のバランスをうまく取っていきたい	どちらかといえば仕事よりも家庭を優先したい	生活が厳しく、ワーク・ライフ・バランスを考えるゆとりはない	無回答
全体	599	5	344	220	13	17
	100.0	0.8	57.4	36.7	2.2	2.8
フルタイム	163	3	110	45	1	4
	100.0	1.8	67.5	27.6	0.6	2.5
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	122	1	68	52	1	0
	100.0	0.8	55.7	42.6	0.8	0.0
パート・アルバイト等	83	0	49	29	2	3
	100.0	0.0	59.0	34.9	2.4	3.6
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	7	0	6	1	0	0
	100.0	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0
現在は就労していない	193	1	94	82	8	8
	100.0	0.5	48.7	42.5	4.1	4.1
これまでに就労したことがない	12	0	8	3	0	1
	100.0	0.0	66.7	25.0	0.0	8.3

◆母親の就労状況別／小学生

問28. 仕事と家庭のバランスについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか

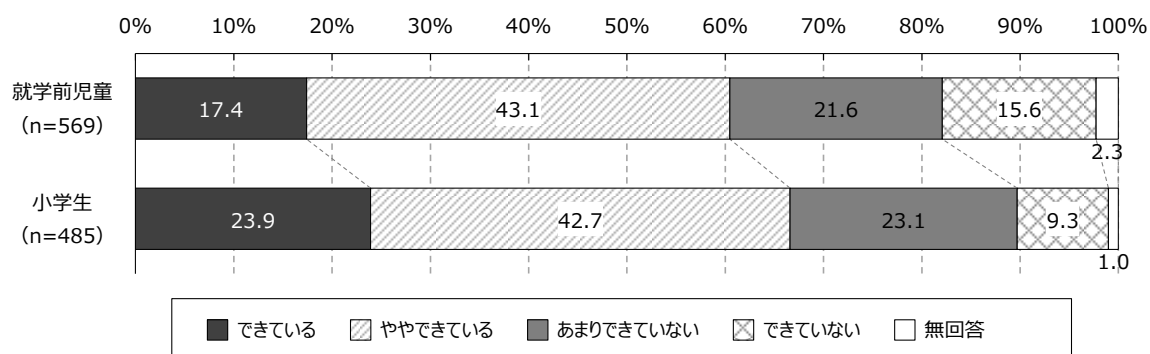
	合計	どちらかといえば家庭よりも仕事を優先したい	家庭と仕事のバランスをうまく取っていきたい	どちらかといえば仕事よりも家庭を優先したい	生活が厳しく、ワーク・ライフ・バランスを考えるゆとりはない	無回答
全体	513	4	301	180	19	9
	100.0	0.8	58.7	35.1	3.7	1.8
フルタイム	140	1	96	34	8	1
	100.0	0.7	68.6	24.3	5.7	0.7
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	6	0	3	3	0	0
	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
パート・アルバイト等	192	1	114	67	7	3
	100.0	0.5	59.4	34.9	3.6	1.6
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	3	0	2	1	0	0
	100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
現在は就労していない	141	2	69	63	3	4
	100.0	1.4	48.9	44.7	2.1	2.8
これまでに就労したことがない	14	0	6	8	0	0
	100.0	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0

(11) 現在の生活の中で考えのとおり仕事と家庭のバランスが取れているか

就学前児童、小学生ともに「ややできている」が4割を超えていますが、就学前児童の15.6%、小学生の9.3%が「できていない」と回答しています。

就学前児童 問34-1. あなた自身として、現在の生活の中で、上記の考えのとおりに行っていると思いますか

小学生 問28-1. あなた自身として、現在の生活の中で、上記の考えのとおりに行っていると思いますか



◆母親の就労状況別／就学前児童

問34-1. あなた自身として、現在の生活の中で、上記の考えのとおりに行っていると思いますか

	合計	できている	ややできている	あまりできていない	できていない	無回答
全体	569	99	245	123	89	13
	100.0	17.4	43.1	21.6	15.6	2.3
フルタイム	158	17	77	46	16	2
	100.0	10.8	48.7	29.1	10.1	1.3
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	121	20	55	23	17	6
	100.0	16.5	45.5	19.0	14.0	5.0
パート・アルバイト等	78	14	39	18	7	0
	100.0	17.9	50.0	23.1	9.0	0.0
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	7	1	2	1	3	0
	100.0	14.3	28.6	14.3	42.9	0.0
現在は就労していない	177	44	60	29	39	5
	100.0	24.9	33.9	16.4	22.0	2.8
これまでに就労したことがない	11	1	5	3	2	0
	100.0	9.1	45.5	27.3	18.2	0.0

◆母親の就労状況別／小学生

問28-1. あなた自身として、現在の生活の中で、上記の考えのとおりに行っていると思いますか

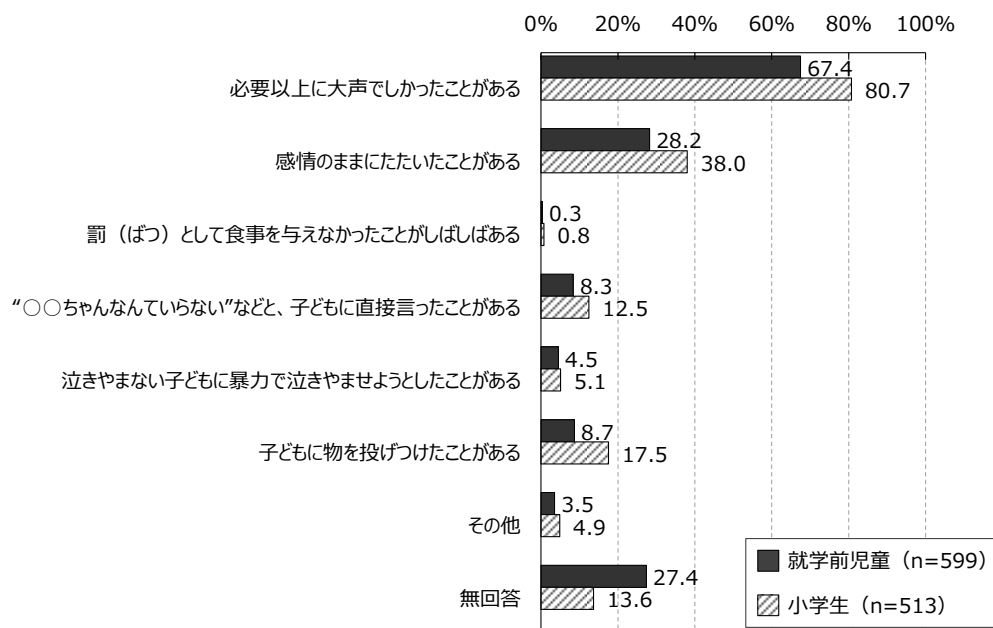
	合計	できている	ややできている	あまりできていない	できていない	無回答
全体	485	116	207	112	45	5
	100.0	23.9	42.7	23.1	9.3	1.0
フルタイム	131	14	56	48	12	1
	100.0	10.7	42.7	36.6	9.2	0.8
フルタイム (産休・育休・介護休業中)	6	1	1	4	0	0
	100.0	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0
パート・アルバイト等	182	56	77	39	10	0
	100.0	30.8	42.3	21.4	5.5	0.0
パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)	3	0	1	1	1	0
	100.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
現在は就労していない	134	36	58	18	18	4
	100.0	26.9	43.3	13.4	13.4	3.0
これまでに就労したことがない	14	4	7	1	2	0
	100.0	28.6	50.0	7.1	14.3	0.0

(12) 子どもへの接し方について

就学前児童、小学生ともに「必要以上に大声でしかったことがある」が最も多く、また、「感情のままにたたいたことがある」との回答も3割前後ありました。

就学前児童 問35. あなたは今までに、自分の子どもに対し、下記のようなことをしたことやしたいと感じたことがありますか(複数回答)

小学生 問29. あなたは今までに、自分の子どもに対し、下記のようなことをしたことやしたいと感じたことがありますか(複数回答)

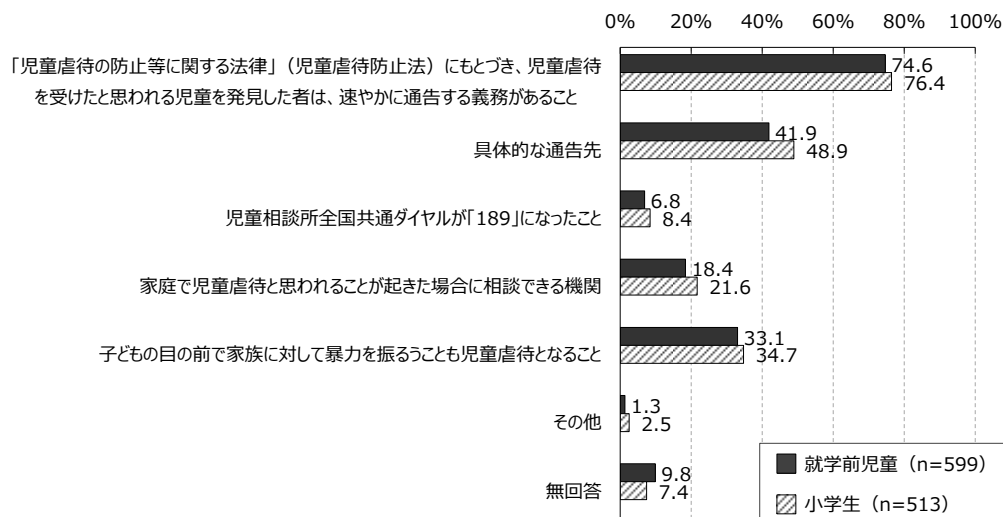


(13) 児童虐待に関する認識状況

就学前児童、小学生ともに「児童虐待防止法にもとづき、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに通告する義務があること」が7割を超えて最も多くなっています。「具体的な通告先」が4割強、「子どもの目の前で家族に対して暴力を振るうことも児童虐待となること」が3割強となっています。また、「児童相談所全国共通ダイヤルが「189」になったこと」が1割に満たない状況となっています。

就学前児童 問36. 児童虐待について知っていることは何ですか(複数回答)

小学生 問30. 児童虐待について知っていることは何ですか(複数回答)

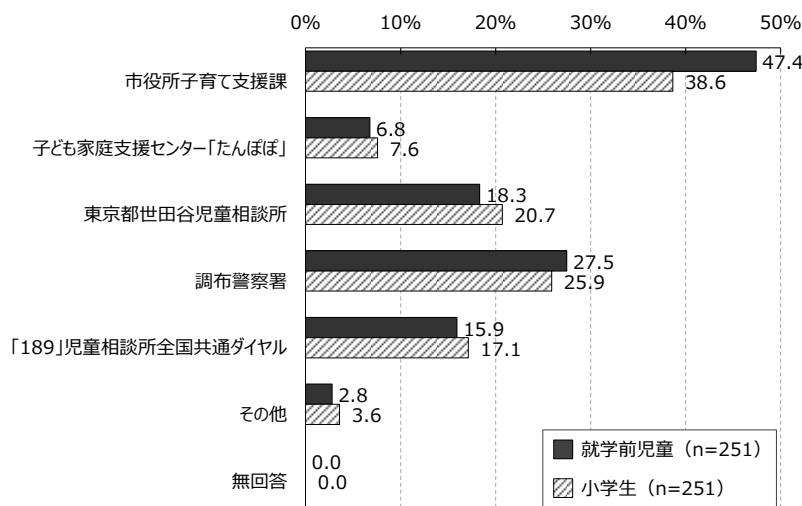


児童虐待を見聞きした場合の通告先

通告先について、「市役所子育て支援課」が4割前後、「調布警察署」が3割弱、「東京都世田谷児童相談所」が2割前後、「189」児童相談所全国共通ダイヤル」が2割弱となっています。

就学前児童 問36-1. もし、あなたが児童虐待を見たり聞いたりした場合には、どこに通告しようと思いますか(複数回答)

小学生 問30-1. もし、あなたが児童虐待を見たり聞いたりした場合には、どこに通告しようと思いますか(複数回答)

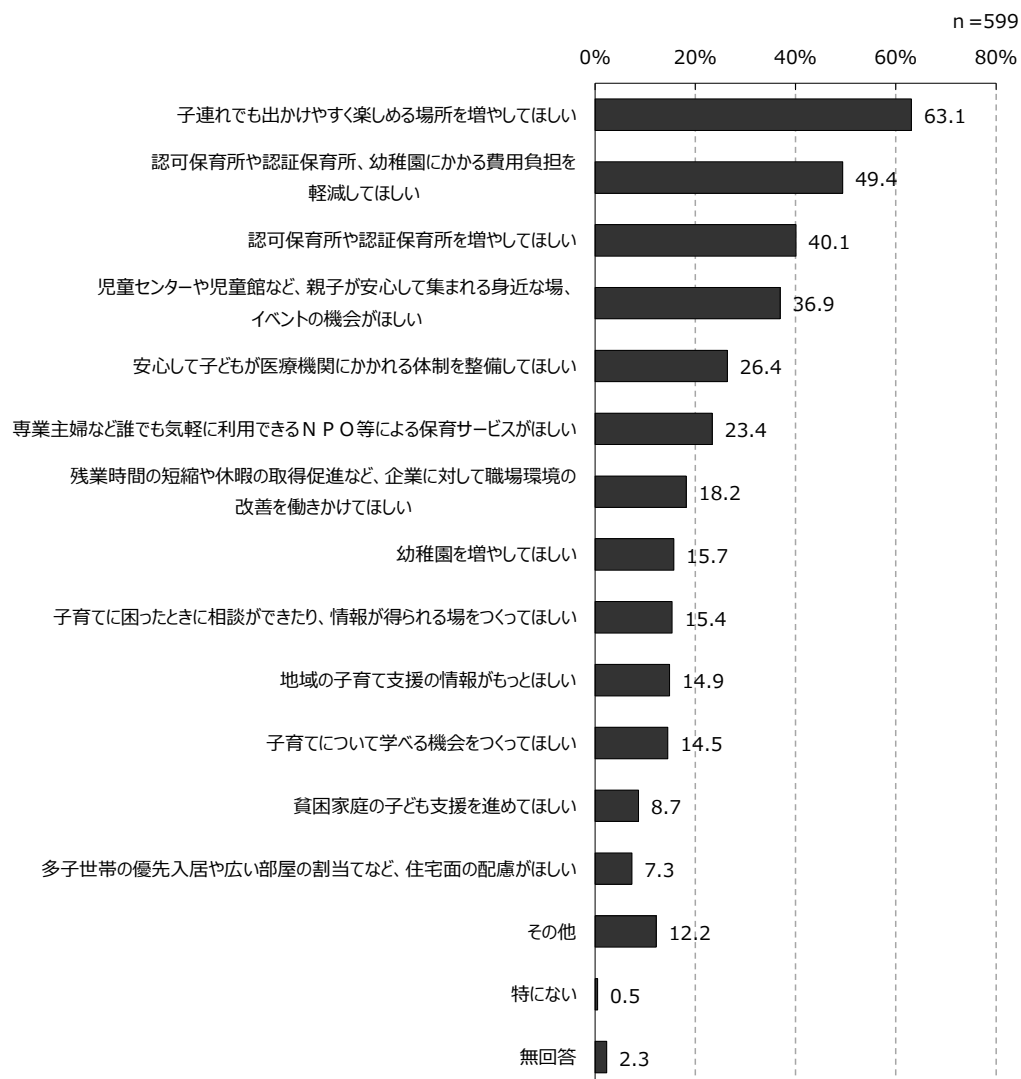


行政サービスへの要望について

（１）市に期待する子育て支援の充実

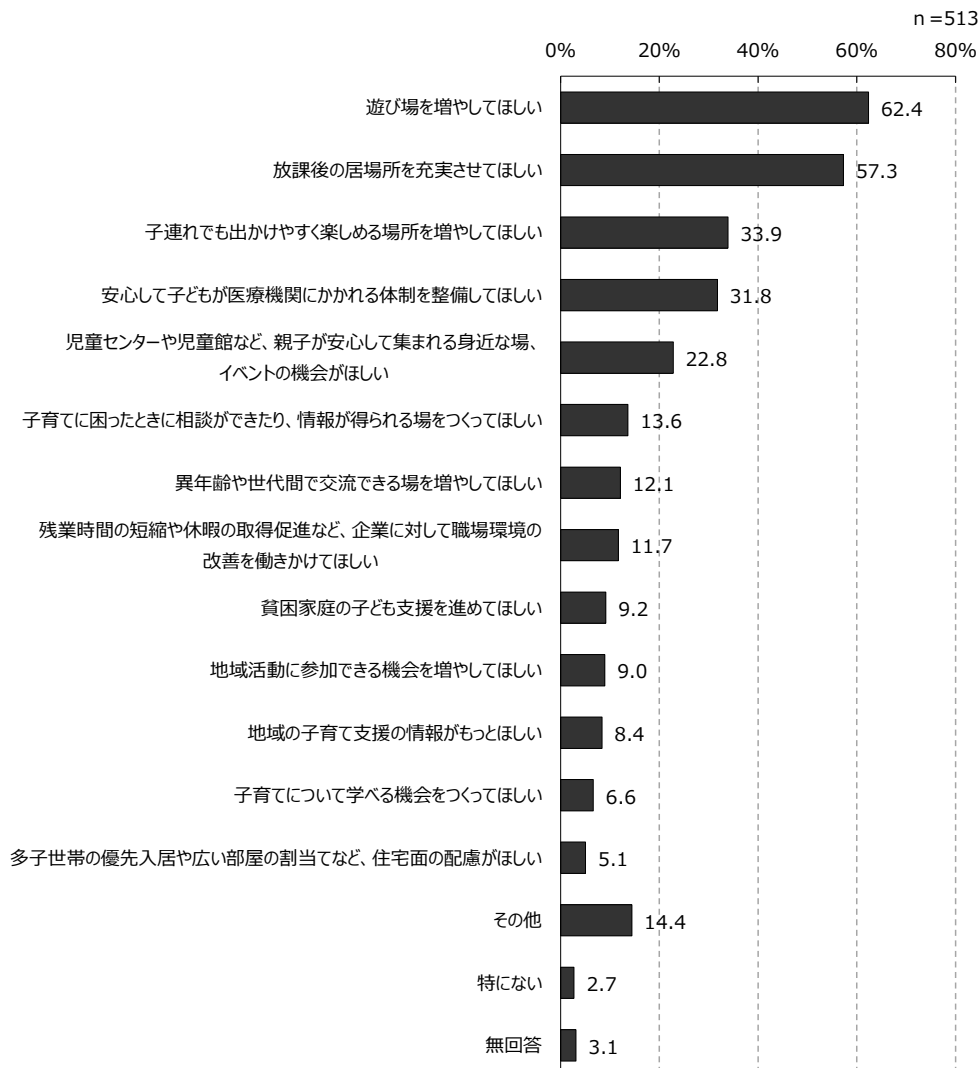
就学前児童では、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が63.1%と最も多く、次いで「認可保育所や認証保育所、幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」が49.4%、「認可保育所や認証保育所を増やしてほしい」が40.1%、「児童センターや児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」が36.9%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が26.4%となっています。

就学前児童 問37. あなたは、狛江市に対してどのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか(複数回答)



小学生では、「遊び場を増やしてほしい」が62.4%と最も多く、次いで「放課後の居場所を充実させてほしい」が57.3%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が33.9%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が31.8%、「児童センターや児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」が22.8%となっています。

小学生 問31. あなたは、狛江市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか(複数回答)



前回調査比較

平成 25 年度に子ども・子育て支援に関するニーズ調査を実施してから 5 年が経過しました。その間、子育て世帯を取り巻く状況も変化しています。

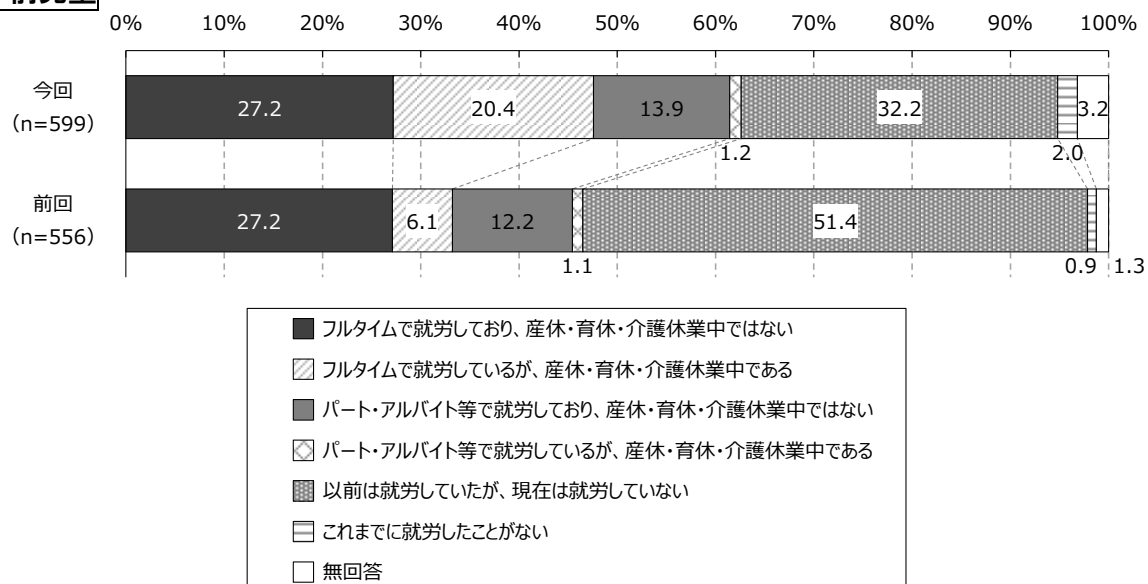
平成 25 年度、平成 30 年度に実施した調査結果から、母親の就労状況、教育・保育事業や子どもの居場所についての要望、子育ての悩み、市への要望など子育て世帯を取り巻く状況やニーズなどの項目を比較しました。

(1) 母親の就労状況

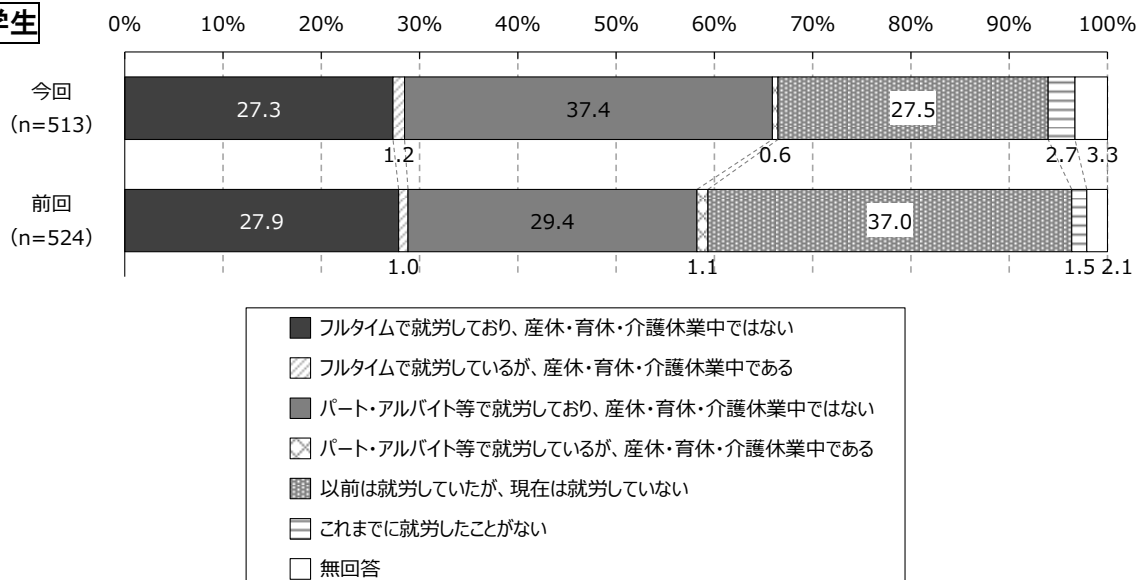
母親の就労状況を前回調査と比べると、就学前児童では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」割合が 19 ポイントほど減り、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」割合が 14 ポイントほど増えています。

小学生では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」割合が 10 ポイントほど減り、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」割合が 8 ポイント増えています。

就学前児童



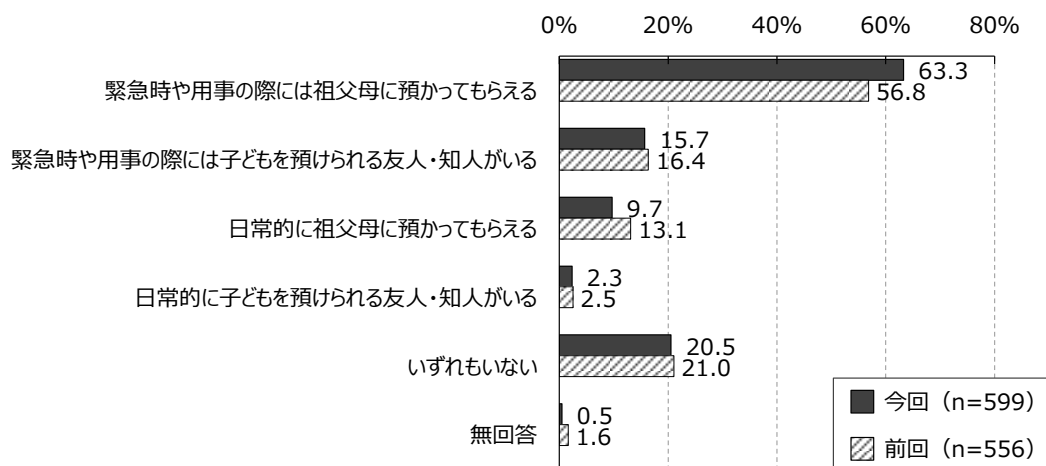
小学生



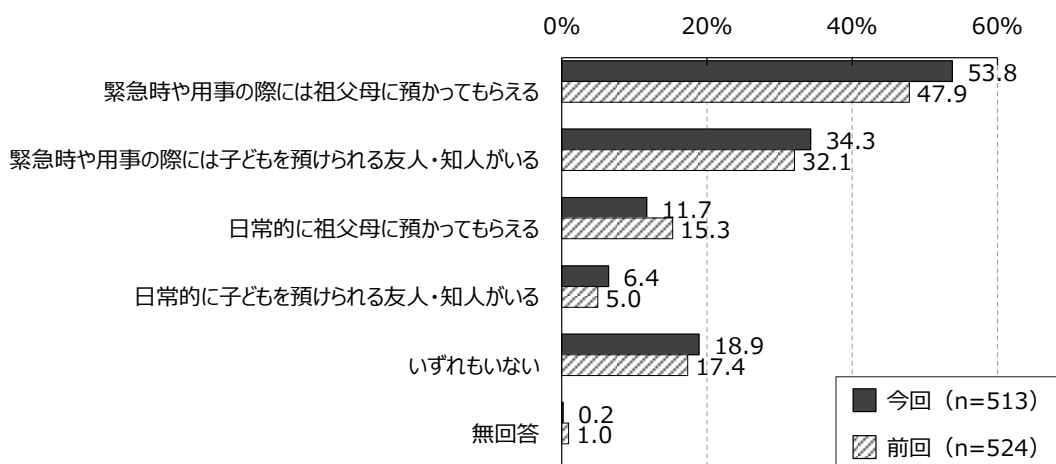
(2) 日頃、子どもを預かってもらえる人の有無

日頃、子どもを預かってもらえる人の有無を前回調査と比べると、就学前児童、小学生ともに「日常的に祖父母に預かってもらえる」割合は減っていますが、「緊急時や用事の際には祖父母に預かってもらえる」割合が増えています。

就学前児童



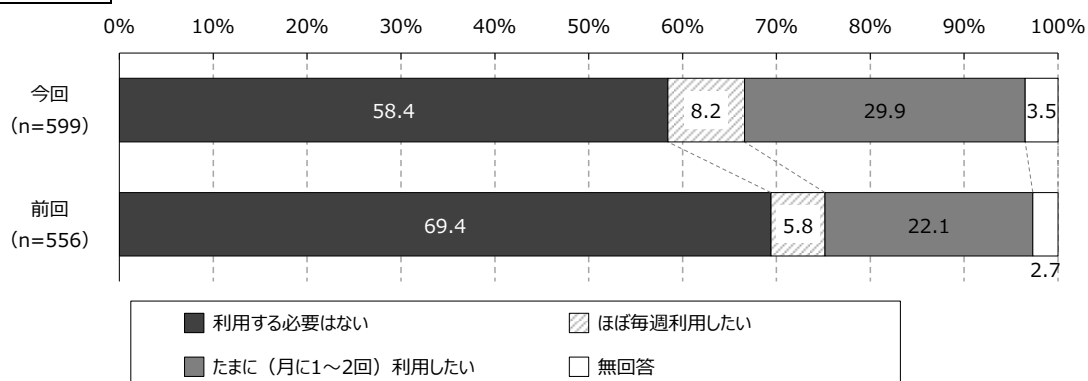
小学生



（３）土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望を前回調査と比べると「ほぼ毎週利用したい」、「たまに（月に１～２回）利用したい」割合が増えています。

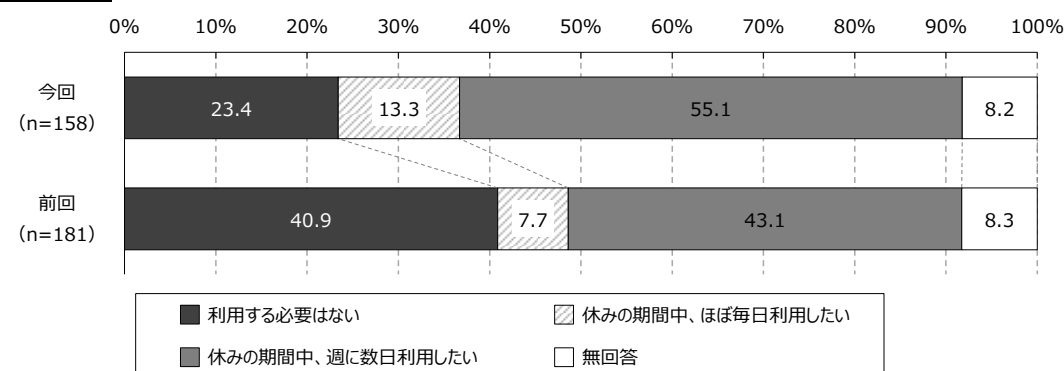
就学前児童



（４）長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

長期の休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望を前回調査と比べると「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」、「休みの期間中、週に数日利用したい」割合が増えています。

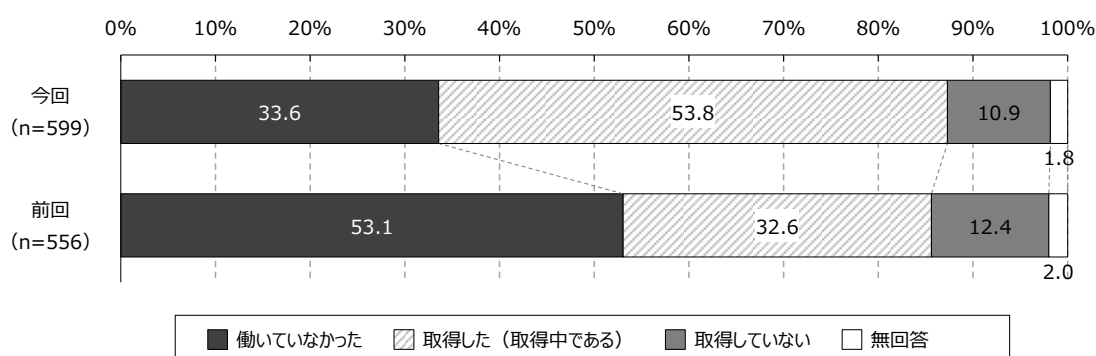
就学前児童



（５）母親の育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況を前回調査と比べると「取得した（取得中である）」が 20 ポイント以上増加しています。

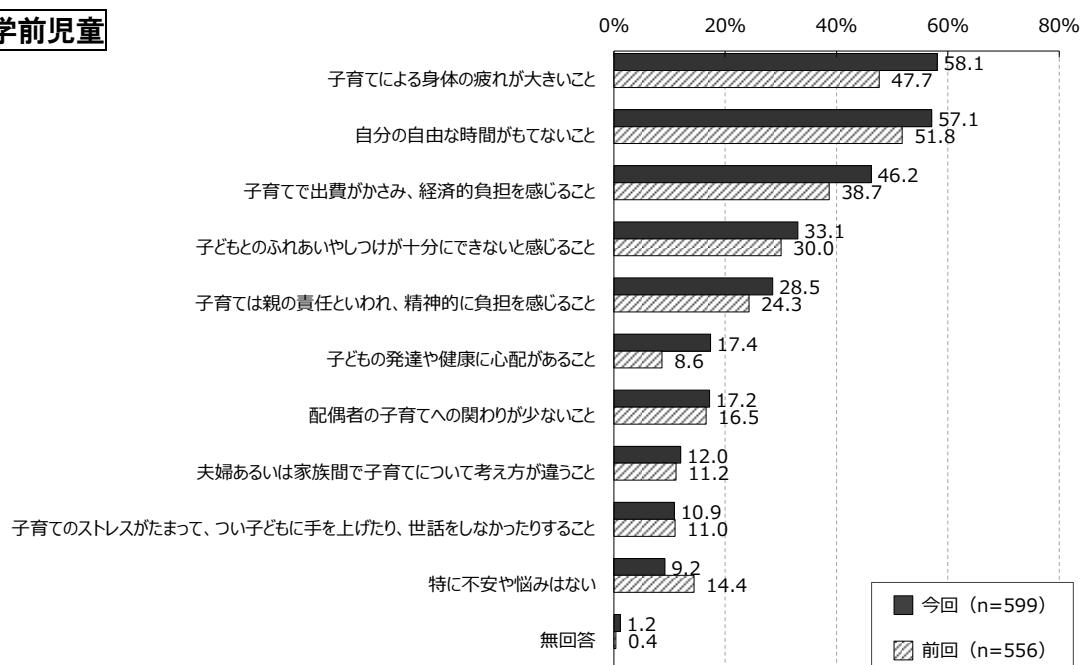
就学前児童



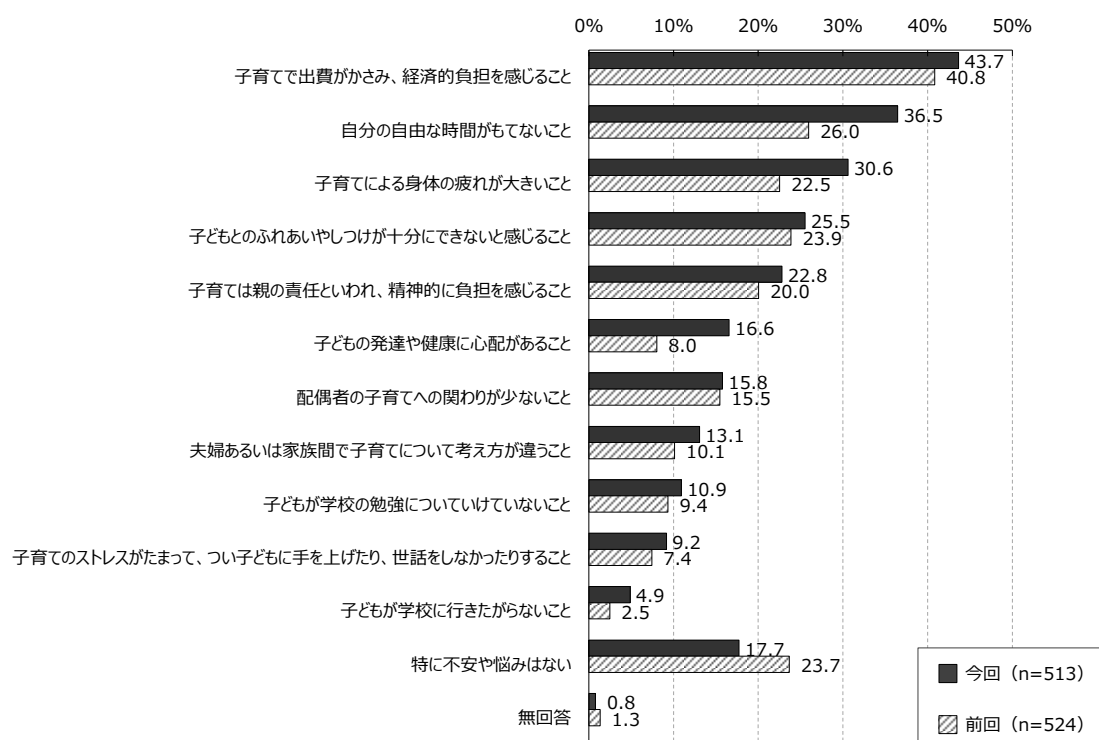
(6) 子育てをする上での悩み

子育てをする上での悩みを前回調査と比べると総じて増加していますが、特に、就学前児童では「子育てによる身体の疲れが大きいこと」や「子どもの発達や健康に心配があること」、小学生では「自分の自由な時間がもてないこと」や「子育てによる身体の疲れが大きいこと」、「子どもの発達や健康に心配があること」で増加の幅が大きくなっています。

就学前児童



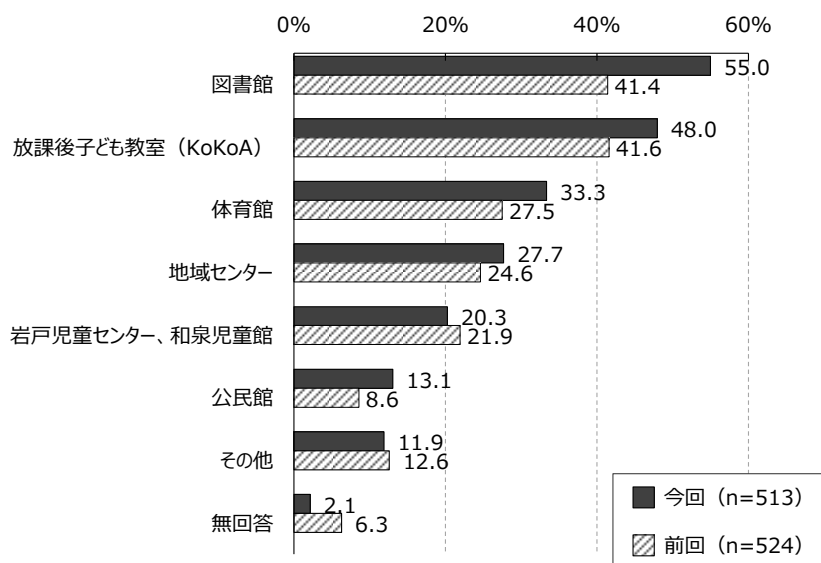
小学生



(7) 今後児童の居場所として充実してほしい公共施設・事業

児童の居場所として充実してほしい公共施設・事業を前回調査と比べると、「岩戸児童センター、和泉児童館」を除き増加しており、特に「図書館」が大きく増加しています。

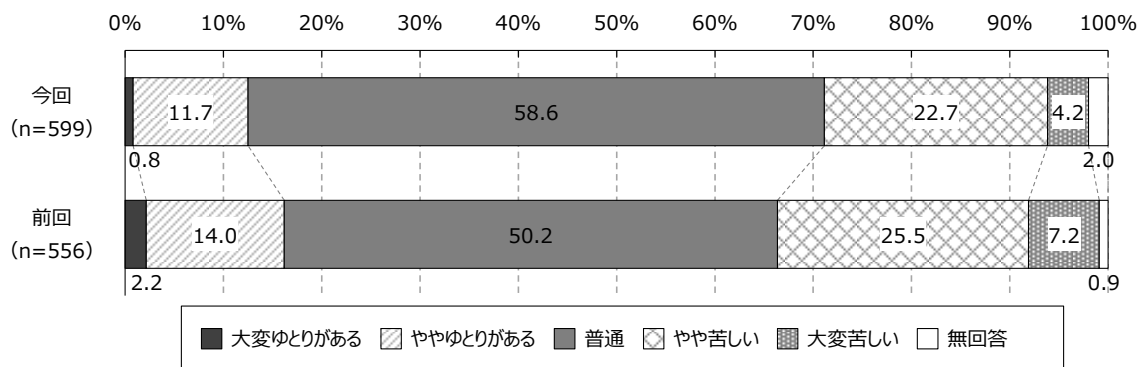
小学生



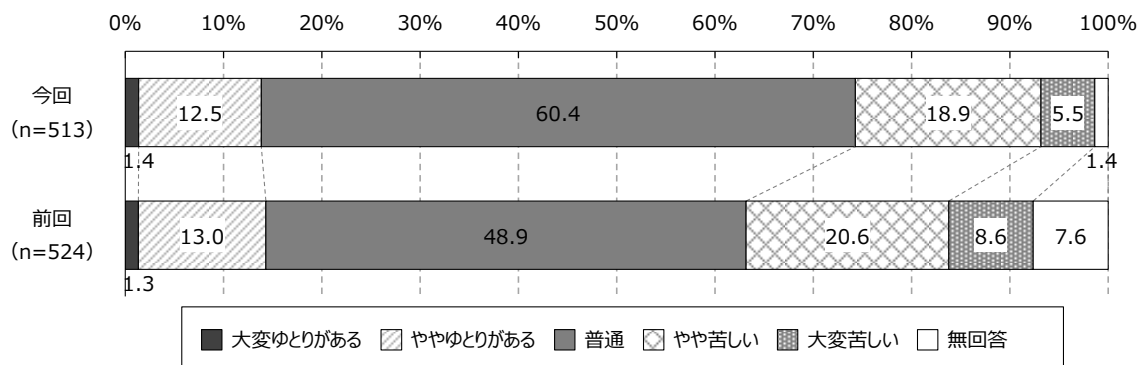
(8) 世帯の暮らし向き

世帯の暮らし向きを前回調査と比べると、就学前児童、小学生ともに「やや苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合が約5ポイント減少しています。

就学前児童



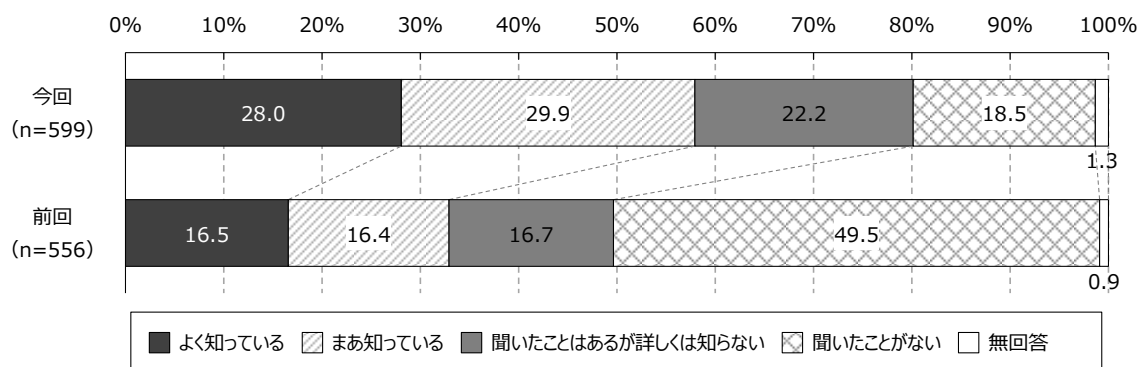
小学生



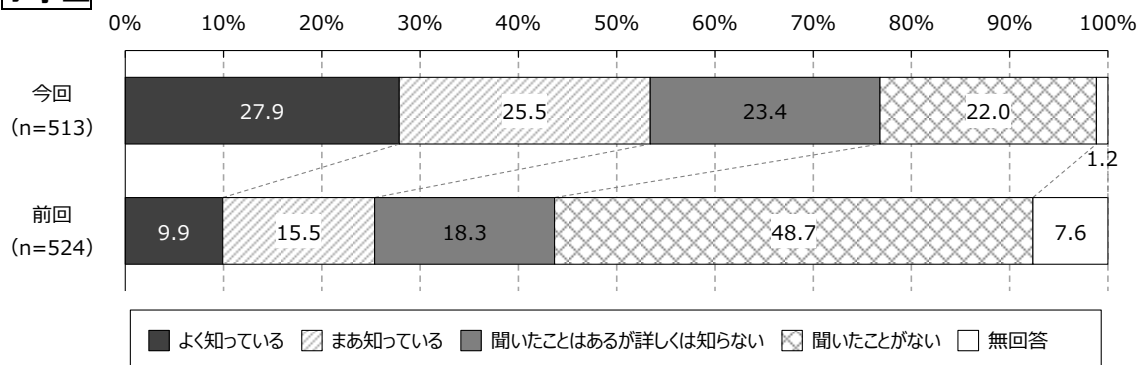
（９）ワーク・ライフ・バランスの認知状況

ワーク・ライフ・バランスの認知状況を前回調査と比べると、就学前児童、小学生ともに「よく知っている」「まあ知っている」の割合が増加し、「聞いたことがない」の割合が大幅に減少しています。

就学前児童



小学生

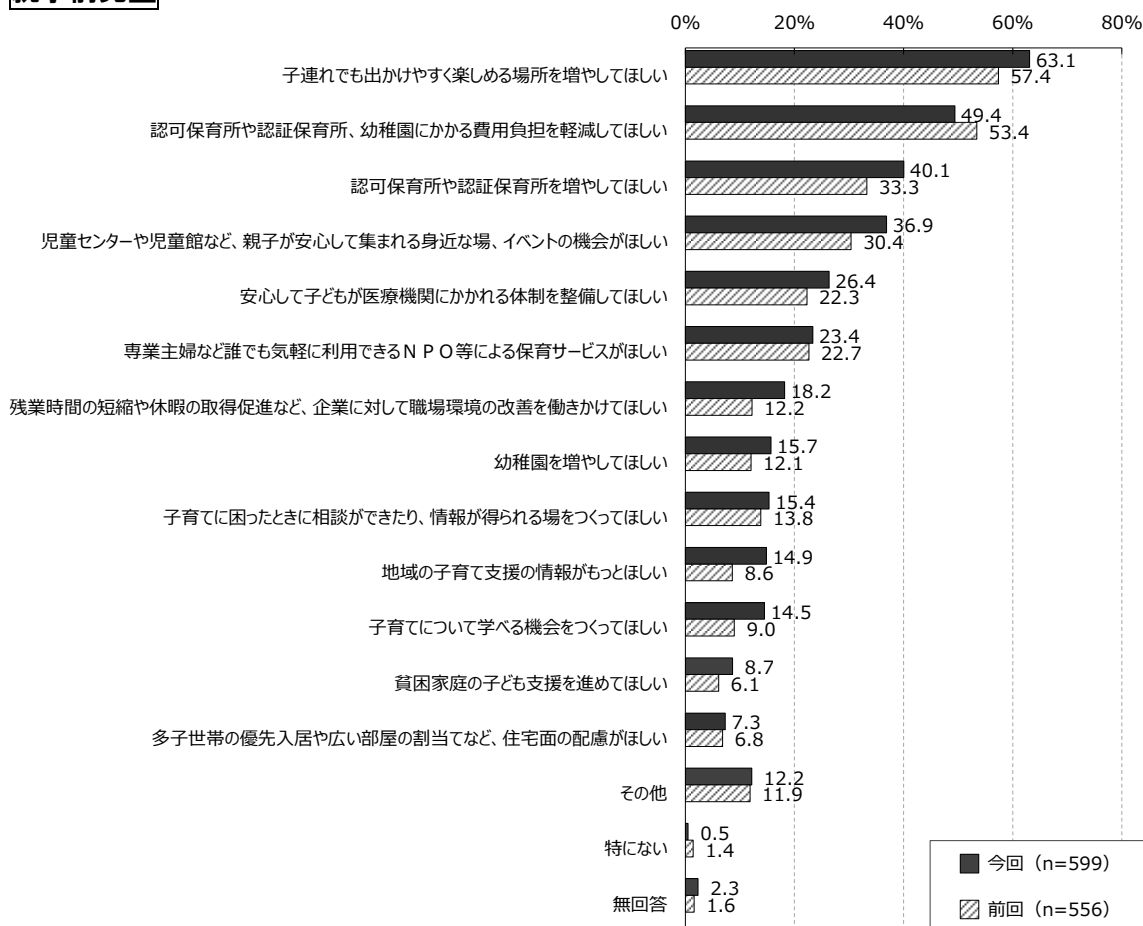


(10) 市に期待する子育て支援の充実

市に期待する子育て支援の充実を前回調査と比べると、就学前児童では「認可保育所や認証保育所、幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」が減少している以外は増加しています。

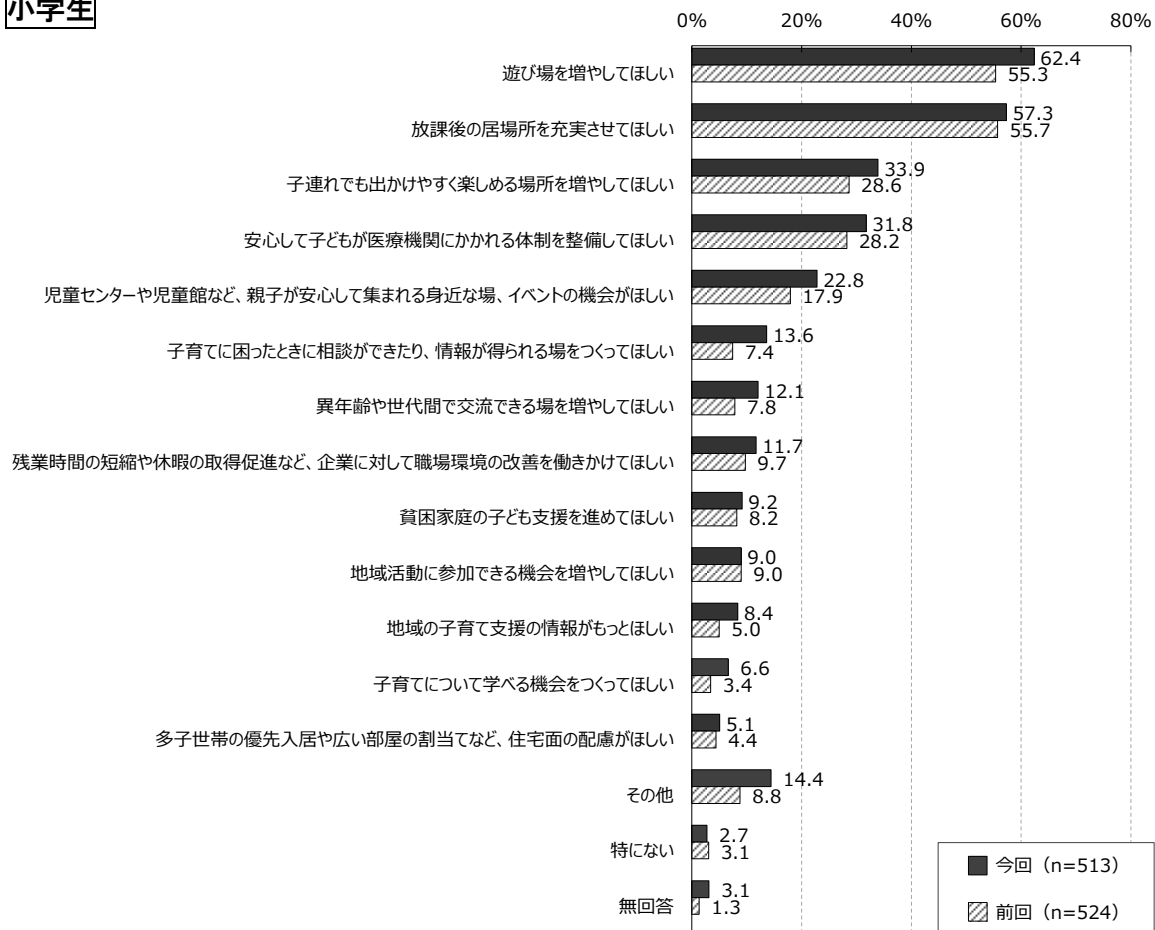
「認可保育所や認証保育所を増やしてほしい」、「児童センターや児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」、「地域の子育て支援の情報がもっとほしい」などで6ポイントほど増えています。

就学前児童



小学生では総じて増加していますが、「遊び場を増やしてほしい」、「子育てに困ったときに相談ができたり、情報が得られる場をつくってほしい」「異年齢や世代間で交流できる場を増やしてほしい」など、場所に対する要望が大きくなっています。

小学生



自由記入設問 記述

自由記入設問 記述

※自由記述については、記述の主旨が変わらないように、要望部分のみを抽出し、表現を整理しています。

▼就学前児童保護者アンケート

問38 子育ての不安や困りごと、狛江市の子育て支援に関するご要望などをご自由にお書きください

幼稚園・学校のことについて

- 「預かり保育」を活用したいものの、保育園のように夏季、冬季、また3～4月の入園前の時期は、ほぼ休みのため「預かり保育」がなく、皆さん困っている。幼稚園の預かり保育の充実を切に願いたいです。
- 公立の幼稚園に通わせたい。無償化になるとはいえ、負担は多い。保育園ばかり負担減な感じがあり納得できない。
- 新規マンション受け入れの際には、保育園や小学校の受け皿を増やしてほしい。
- 気軽に幼稚園時間外の保育をしてくれるところがほしい。その際、お迎えも。
- PTAやりたくない人はお金を払う。やる人はバイト代もらえるようになったらいいです。
- 市内に公立の幼稚園はなく、どこも保育料が高く、困っています。ぜひ幼稚園児への支援をお願いします。
- 幼稚園の増設、小学校のPTAの廃止をお願いします。子どもに対する政策が全然進んでいない気がする。
- 幼稚園の入園補助金や保護者補助金などももう少し増やしてほしい。市立の幼稚園を作してほしい。
- 個人的には働いていても子どもは幼稚園やその要素を持つ施設で育てたいが、狛江市には親の就労時間を網羅する預かり保育をする園がない。運営企業を誘致する等、検討していただけたらと思います
- 幼稚園の無償化を早急にすすめてほしいです。
- 現在は保育園にお世話になっていますが、できれば幼稚園に通わせたいと思っています。父母ともに就労しているため、幼稚園の増設、預かり保育の拡充をぜひお願いいたします。
- どの小学校に入ることになるか知りたい。(小学校までの道のりや小学校付近に慣れた上で入学できればと思っているため)。
- 幼稚園をもっと増やしてほしいです。
- 幼稚園の預かり保育に対して、もう少し寛容になってほしい。幼稚園に入りたいから仕事を辞めるという選択肢を選ばざるを得ない、もしくは仕事しているから幼稚園に入園できないというのは違和感があります。
- 幼稚園が充実していない。保育園ではなく、幼稚園に入れたいと思う働く女性は増えているし、延長保育などもっと考えた方がいいと思う。

- フルタイムではなく週1～2回働きつつ、子どもを幼稚園に預けながら安心して働けるように、預かり保育の充実した幼稚園をぜひ増やしていただきたいと希望します。
- 幼稚園に預けたいが、預かり保育が保育園と同等レベルにないのでかなわない。拡大・充実を希望する。
- 私立幼稚園入園に対する補助金がもう少しあれば助かるのになと思います。市立幼稚園なども今後できればよいなと思います。
- 幼児教育無償化になるなら保育園同様どんな子でも受け入れを義務づけてください。発達の度合いや個性でふりにかけるような事業所が適正な「教育」をしているとは思いません。
- 学校によっては発達障がいの子どもを受け入れる教室がないそうなので、将来どうしようか悩んでいる。また、市内には私立の幼稚園しかなく、発達障がいの子どもが通える公立の幼稚園を作してほしい。
- 幼稚園の補助金を増やしてほしい。

保育園・保育支援

- 本当に保育が必要な人が保育園に入っていないと思います。入園の審査の際の就労証明書を不正できないようにしていただきたいです。
- 木下、ひまわり、たんぽぽが閉園するということで、認証を増やしてほしい。認可保育園を増やしてほしい。
- 現状、保育園の待機児童が粕江はととても多いと聞き、やはり産休中の方や複数お子さんのいる方が優先されるだろうからと、半ば諦めている。今まで住んでいた街と比べてもとても子連れの方を見かけるので、子育てに優しく頼れる市であってほしい。
- 短時間での預かりサービスがあればいいのに、と考える。
- 費用負担の軽減は嬉しいですが、保育士の給料を上げる。保育士の数を増やすなど保育の質へつながるようなことにお金を使ってほしいです。
- 育休中はなるべく自分たちで子育てしたいので、年度途中でも1歳で入園できるように保育園を増やしてほしいです。
- 待機児童を減らす取り組みをもっと推進してほしいです。保育園の数を増やしても解決するものではないと思います。粕江市は、まだまだ子育てしにくい市として認識されているようなので、なんとか改善してほしいです。働きたいママが働ける市にしてください。
- 不妊治療もあり、退職したが、再就職したくても、保育所に入れる気がしないので、引っ越しをしないといけないかと金銭的不安などがつきません。保育所を増やしてほしい。
- 本当に入所すべき人が優先で入れているのか疑問です。認証保育所も、補助金を出すなら、審査ももう少しきちんとされるよう指導されたらどうでしょうか。単に保育所の数を増やせばよいというわけではないと思います。
- いつもありがとうございます。認可保育園は毎年増えていて、力を入れていただいていると感じていますが、”本当に入りたいところに入ることができる”、”兄弟同園は絶対”など、最低限から”プラス”までに拡充すると嬉しいなと思います。
- 3歳以下の保育園の定員拡充を切実にお願いします。

- 保育所に入園したく相談しに行った事があるが、入園できないなら、幼稚園に行くしかなく、仕事もできないと諦めています。今の状態は理解していますが保育所を増やしてほしいです。
- 認可外の保育をしている人、待機児童に対して、保育（認可に入っている人）を利用している人が、幸せと思わせる程、差が大きいと思う。
- 狛江市はコンパクトな市なので、保育園送迎バスを運行し、狛江駅で子どもを預けられたら働く親は助かると思います。
- 木下の保育園が32年度に認可になると伺いました。認可園になることは嬉しいですが、在園児が認可園に移行したあとは、一旦ゼロクリアされて一から市の認可選考に入るのはどうなのでしょう？一定の基準を満たしていれば在園児もそのまま認可移行後も残れるなど配慮が必要なのでは。
- 保育の必要性のある者と認定された者全てが保育園に入れるようになってほしいです（週3日以上勤務でも）。また、幼稚園を希望していますが、働いている親でも自信を持って幼稚園に通わせられるように延長保育の充実を実現させてください。延長保育を夏期、冬期、春期の休みの間も利用したいです。
- 病児保育を増やしたり、急に預けられなくなったときの対策がほしい。土曜・日曜に保育できるところを増やしてほしい。（父・母仕事のため）
- 子育てしている親に心のゆとりが持てるような支援を充実してほしいです。目の前のサービスも大切ですが、一番は心を支えてくれること。子どもから距離を置くことができる（一時的）サービスを無料で利用できたら嬉しいです。
- 一時保育などもっと気軽に利用できる体制があれば、これまでの子育てはもっと楽だった。特に、下の子が産まれた後、習い事のときに下の子を数時間預ける等、とにかく簡単に預ける先があればありがたかったです。就学するに当たり、子どもが一人でも安心して遊びに行かれる場所が一つでも多く増えてほしいと願っています。
- 土曜、日曜に仕事の理由以外でも子どもを預かってもらえるサービスがあると本当に助かります。子どものことは大事に思っていますが、親の体調を整えるための保育の利用も認めていただきたいです。
- 保育料や補助金の額が年収により異なることは当然だが、もう少し制度を見直してほしい。木下の保育園が認可園となるが、在園児で行き場のない子どもが出る可能性があることを考慮してほしい。
- 気軽に幼稚園時間外の保育をしてくれるところがほしい。その際、お迎えも。
- 現在、一時保育の利用をたまにする程度で、ほぼ母親が育児の大半をしています。一時保育も予約がすぐにうまってしまうので、もう少し利用しやすくなると助かります。
- 保育園に入れず仕事ができない。待たすこともできない。
- 認証でよいので0歳児の保育所を増やしてほしい。
- 保育所に通っていない、幼稚園に入園する前の年齢の子どもを預ける一時保育の料金が高いので、もっと利用しやすく料金を下げてほしいです。
- 保育園が増えないなら、育休を小学校入学まで延ばせるように、働きかけをしてほしい。
- 待機児が多いことが課題なのはよくわかりますが、保育園を次々に作るのもどうかと思います。保育士さんの質や経験、人柄など、子どもたちにちゃんと返さなければならないということを考えて人集めをしなくては、子どもたちにとってつらい思いをさ

せてしまうのではと思います。

- 重い障がいのある子も週5で通える施設があればと思います。
- 夏休みなどに気軽に預けられるとよいと思います。
- サービス業のため、日曜・祝日、大型連休のときに預けられる施設があるとよいです。
- 2人目ができた場合、同園にしたいので、兄弟加点はなくさないでほしい。
- 保育園のパンフレットを支援課に置いてほしい。
- 保育園に来年度入れるかとても不安。事業所を各地域にもっと増やしてほしい。今は狛江駅付近にかたまりすぎている。
- 保育園民営化への苦情の聞き入れと改善。民営化するまでは市が関与して、されたら関与を一切しないのはどうかと思います。
- 待機児童ゼロになればよいなと思います。
- 週5仕事、土日は家事、翌週準備、子どもの世話遊びなど休む時間が本当にない。月一日でいいから、土曜預けられるか、もしくは、有給使って休んでいても、保育園に預けられるようにしてほしい。
- 隣の世田谷区との差が激しい。子どもの医療費の補助や幼稚園入園料の補助など。
- 一時保育が利用しづらい。最初に健康診断をしなければいけないし、2歳からしか受け付けていないところもあり、予約も全く取れない。結局、狛江ではなく、世田谷区の保育所の一時利用を利用しています。
- 児童センターや児童館だけでなく、世田谷区の「おでかけひろば」のように空き家などを利用した親子の居場所をもっと増やしてほしい。そこで、一時保育もしてもらえるとより助かる。
- パートで週2～3日希望しても入れる保育園はなく、いきなりフル8時間で働かなければボーダーラインに立てず、時短ができなく、職を希望している人のことも考えてほしい。
- 午後6時30分にお迎えは厳しい。保育時間を長くしてほしい。
- 指数ポイントで、1人目の子どもや収入が高い方の家庭は希望の保育園に入りにくい状況なのは納得がいかないです。
- 働いてほしいはずなのに保育所が不足している。貧困家庭へは金銭的な支援をして、さらに加えて保育所への入所が優先されるのは、話が違うと思う。財政面からも収入があって税金をきちんと納める家庭が優先されてよいと思う。
- 認可保育所へ入れるのか不安なので、施設を増やしていただきたいのと、情報をもっと開示していただきたいです。
- 上の子を保育園に預けており、下の子もいずれ預ける予定。安心して預けられる環境が重要だと考えているので、安全に関して特に徹底してほしいと感じる。
- 子育て支援に関してではないかもしれませんが、認可保育所への入所のポイントに、ぜひ保育士として働いている方の優先ポイントをつけてほしいです。
- 下の子の育休を取った場合、1歳の4月に復職しないと上の子の保育園を退園せざるを得ない仕組みを是正してください。2歳になるまで育休が法律上取れるのに、実際は1歳児4月の復職が強要されてしまいます。兄弟児ポイントがあっても入園できない場合もあります。また兄弟別園になる苦勞を軽く考えすぎだと思います。
- 保育園に入れず毎年困っています。働いていないと点数がもらえないというシステム

なので、どうする事もできません。保育園に入園させてあげる事によって子どもにとっても学ぶ事も増えると思うし、働けばお金も稼ぐ事ができるのでいろいろな療育に通わせてもあげられます。それが不安や困りごとの解決につながると思っています。

- 狛江市の認可保育園及び認証保育園も定員オーバーで、現在、世田谷区の認証に子どもを預けております。どうか認可の定員増加なり園を増やすなりして早急に対応していただきたいです。
- 保育園で毎日祖父母のお迎えの子がいるが、両親以外に保育できる者がいるなら入園の審査点を下げてほしい。
- 保育園の入園申し込みは、郵送でも受け付けてほしい。新設保育園の情報など（今後の計画等も含む。）は、HPなどで、情報の公開をしてほしい。
- 保育園や学童の不足は、少しでも早く解消し、安心して、育児や、仕事に専念できるようにしてほしい。
- 保育園の相談に行ったときなど、子育て支援課の方の対応も、事務的でつめたく感じました。子どもを育てるのは、大変なんですね。
- 働きたいと思うが、保育園、学童に入れるのかどうかを考えると、働き方や子どもの数など悩んでしまう。保育園に入るために1歳前で復帰しなければならない等、子どものことや家庭のことより先に保育園のことを考えないといけない現状に嫌気が差します。
- 保育園を増やしてほしい、しかし、質のよい保育園を希望したい。預けられれば、どこでもいいわけではなく、選べる状態にしてほしい。
- とにかく保育園に入れない。フルタイムで働いても厳しく、市内に認証保育園も少ないため、市外の施設を利用している。また、認可保育園に入らなかったため、現在やむなく認証に通っているが、助成金も少なく、負担になっている。
- 保育園に入りたくても、入れない状態。勤務時間が長ければ入れるのか。でも保育園の前を通ると早い時間に迎えに来ている方もいます。せめて入れなかったとき、通知書に何が原因で入れないのか記入してもらえると、次のことも考えられると思います。
- 保育園へ入所ができず困っている。満2歳になるので、もう少し保育所を増やす等してもらいたい。
- こども園をもう少し増やしてほしい。
- 病気の子どもを預かってくれる施設が増やたらいいなと思います。また、育休を長めに取っても保育園入園がなかなか厳しく、ぜひ公立の保育園も増やしてほしいです。
- 第一子が早生まれで、保育園に入るのが不利とされている月齢です。各家庭、様々な事情があるかと思いますが“有利、不利”で判断されないよう、待機児童が今後減るよう、新設の園が増やたらよいなと願います。
- 就学前まで入れる保育所を増やしてほしい。
- 一時保育などが、リフレッシュ目的では利用しにくい。ひとり親で自分のゆっくりする時間がないのでつらい。ショートステイなどでたまには夜間の外出で遊びに行くなどできたらと思う。できれば安く。ファミサポ等も利用料がきつくてなかなか利用に踏み出せず、外出先で使うお金に加えて利用料と考えると高額になってしまう。
- 家庭と仕事両立をこなさないと生活ができない。しかし、保育園の枠が少なく、復帰できる保証がない。誰でも仕事に戻ることができるよう、子育てを安心して行えるように保育所を増やしてほしい。

- 他の市区に比べると、幼稚園や保育園の数が少ないと感じる。図書館も一つしかない点も子育てする上であまり良いとは思えない。
- 子どもの医療費助成等、23区と比べて劣るので同レベルにしてほしい。また、保育園入園の選考基準に収入を入れるのはおかしいと思う。保育料に差をつけるのは納得できるが、入る段階では収入差は関係なく、一律平等であるべきだと思う。
- 仕事復帰をしたいタイミングで保育園に入れるかどうか心配。4月入園の認可保育園の結果通知が、もう少し早めにわかるとありがたい。もし不承諾だった場合の、職場での育休延長の手続きが、2月だと間に合わない。(1月前半には結果を知りたい。)
- 保育園に入れないこと、入れる可能性が少ないこと、もう少し子連れで行けるようなカフェ等を増やしてほしいです。住みやすいところですが、やはり保育園に入れる可能性が低いことを考えると、市外への引っ越しも視野に考えます。
- とにかく保育園の待機児童を0にしてほしいです。生活にかかってきて、本当に不安です。
- 短時間利用できる保育所を増やしてほしい。
- 登録すれば、前日・当日でも預かり可能な場所を作してほしい。例えば児童センターなど保育園に行く前の児童が気軽に行ける場所に、預かり機能を作してほしい。
- 病児保育室や医療機関と協力して、児童が休みを要する際(特に長期間。)親の企業における給与、及び立場を守ることができるよう企業に働きかけてほしい。
- 保育園が地域によって数にバラつきがあるので散らしてほしい。
- 育休中安心して育児に専念するためにも、一人一人のライフプラン、キャリアプランを実現するためにも、入りたいタイミングで子どもを保育園に預けられるよう、一刻も早い待機児童の解消を最優先に取り組んでいただきたいです。
- 保育ママへの保育料助成や日曜日・祝日の保育園開園(輪番で可)、ファミサポの怠慢運営の是正、ショートステイの2歳以上の利用(1歳と3歳の兄弟は同時に入れない)、公立保育園の全ての私立化(公立は不要)、小クラに高学年でも入れる体制など。
- 2年後に待機児童0になるとの説明でしたが、そもそも待機児童の数字(計算の仕方)にも納得いきません。さらに、今年度は認証保育所の費用負担の軽減も0になりました。フルタイムで両親ともに働き、なんとか生活しているのに所得制限となり、衝撃です。市の職員の方々には、危機感を持って各業務にあたってほしいと願っています。
- 保育園入園や学童利用について、狛江市内や都内近郊に祖父母の住んでいない家庭を優先的に希望するところへ受け入れることを検討していただきたい。(点数加算するなどして)。何かあった際、助けをかけることができる確率が圧倒的に違うと思う。実際に職場復帰し、子育てをする母親同士でも、そう感じるが多々ある。
- 待機児童の定義をもっとわかりやすくしてほしい。安心して子どもを産めるように保育施設を充実させてほしい。
- 保育園見学で、園内を全く見学させてくれない園がありました。また、残業保育園は、15名程度の0~2歳児につき2人しか保育士がついていなかったのが不安です。3~5歳児については20人以上がアスレチックで遊んでいるのに1人しかいませんでした。
- 待機児童をゼロにしてほしいです。働きたいけれど、預ける先がないと就職ができないという負のスパイラルになってしまい、辛い苦しい思いをしている人がたくさんいます。
- 幼稚園に入る前までの子どもで、母親が働いていなくても、定期的に日中預かってもら

らえる場所がほしいです。狛江市の一時保育は激戦で希望した日に預かってもらうのはかなり困難でした。誰でも希望したときに一時保育が受けられる環境を整備してほしいです。

- 二世帯で住んでいますが、その場合はなかなか保育所に入所できません。実際は両親も年を重ねて孫の面倒を長時間見ることは不可能なので、二世帯暮らしだから入所が困難になってる事態を改めてほしいです。
- 保育園には大変お世話になっています。両親ともに感謝しています。
- 保育園が厳しすぎる。入園のために子どもと過ごす時間を諦めて復職しているママがたくさんいます。これは当たり前ではなくとても不幸な状態だと思います。
- 認可保育園に入所しています。民営化された園ですが、公立時から入所している園児は午後6時15分までが通常保育時間で、民営化されてから入所した園児は午後6時から延長保育となり、延長料金が発生するのは不公平ではないでしょうか。また、月極の延長保育料も引き落としにしてほしいです。
- 認可保育園の倍率が高く、いろいろと見学等しても結局希望の園に入れるというよりも空き状況によって決められてしまい、選ぶ権利は実質ないものと感じます。本当に入りたいと思えるところに入りたいタイミングで極力入れるような環境にしてほしい。
- 年度途中からでも保育園に入れる仕組みを整備してほしい。
- 保育所の3歳以降の定員について拡大してほしい。(十分な定員を確保してほしい)
- 保育の質を高めてほしい(保育にお金を使ってほしい)。
- 仕事が決まらないというよりも仕事を決める事ができません。仕事をしたいと考えていても保育園に入園できないと仕事も決まらないので、状況が変わりません。子どもの多い世帯に対しての支援などあれば、子どもを2人、3人と考える方もいると思う。例えば、子どもが3人以上いる世帯を保育園入園の加点にするなど考えてほしい。
- 疲れたり、一人になりたいと思ったときに利用できる一時保育がほしい。
- 保育所が増えてほしいです。入ることが難しいので、選ぶ権利がなく「入れたところに入る」ということになるので実際入ったときに合わなかったらどうしよう等の不安があります。
- 日曜・祝日・年末年始に働くサービス業家庭が預けやすい環境を充実させてほしい。西野川地域にも、もっと子育て支援、場所を充実させてほしい。
- 保育の質、保育士の資質の問題。小学校入学について、学童保育、学区について、など不安もあります。働かなければならない生活のため、先を考えると子どもの成長に合わせた悩みが出ます。早めの情報提供をお願いします。
- 一時保育の予約が取れない。
- 育休中ですが、長男の認可保育園の途中入園の内定連絡が来たとき、「育休を切り上げないと入園できない」と言われた。市内の認証保育園の空きがないのに、優しくない街だと感じている。
- 保育園の一時預かり保育について→利用の際に、初めて利用時は慣らしのため、半日でと。仕事で、1日お願いしたかったが、1日お願いするためにはその前に半日、利用の理由もないのに利用しなければならないのか。利用当日から1日預けられるようにしてほしい。

支援事業・サービスについて

- 狛江市に引っ越してきて、まずこまえ子育てねっとやこまえスマイルぴーれここマップや育ちの森等をのぞきに行きましたが、似たような情報でよくわからないというのが正直な感想です。せっかく情報を集めているのにもったいないという思いがありました。行事（イベント）などの告知もあまり上手ではないと感じています。児童館の子育てひろばの乳幼児のクラスの充実を行ってほしいです。
- 未就園児が遊べたり、学べたりする場を作ってほしい。むいから古民家園やエコルマホールなどを使用して、子ども向けのお話し会や、映画、コンサートや人形劇など開催したらよい。
- 親子で参加できる回数制の教室（運動や音楽など）を開催してほしい。
- 地域のサービスを利用したいと思っはいますが、子どもを連れ、大きな荷物を持つての移動は負担に感じます。公共交通機関も最寄りである喜多見駅周辺は少なく本数も少ないため、移動に時間がかかってしまい、今まで利用することはほとんどありませんでした。また地域の子育て支援の情報をわかりやすくできればこれを見ればOKというようなものが1つあれば助かると思いました。
- 乳幼児医療助成の期間をもう少し長くしてほしい。世田谷区のような、産後ケア事業を充実してほしい。狛江にも産後ケアセンターがあつたいい。
- 市のいろんなサービス・サポートのおかげで日々子育てできていると思います。小さい市だからこその細やかなサービスに感謝します。特にママパパ学級、たんぽぽスタート、赤ちゃんが来た！で、できた人脈が今でも心強い仲間です。
- 和泉児童館が新しくなつてから、利用しづらい。狭くなり、幼稚園生が遊べる場所がない。（屋内に関して）
- 広報こまえ等の市で発行しているものは、各家庭に配布いただけると助かります。市民グラウンド等の施設は空時間は、一般開放していただきたいです。学校のプールも夏場開放いただきたいです。Webで子育て情報が分かれており、必要な情報が探しづらいためにあまり見ていません。全ての地域センターをネットで予約できるようにしてほしい。公共の施設で雨の日に子どもが走り回つて遊べる場所がない。
- あいとぴあセンターが少し遠いので、狛江市役所の中で子育てサークル等の活動を増やしてほしいです。3歳以下の保育園の定員拡充を切実をお願いします。
- 障がい児が利用できる施設「ぱる」「ゆめぽつと」等、キャンセル待ちや定員が満員みたいで利用できない。定員を増やしたり、サポート事業をつくつてほしい。
- 一時保育の敷居が高くて使いづらいです。健診のときに一時保育をすすめられたのですが、登録のために面接をして、予約は半月前というのがなかなか手を出しづらく、結局動けておりません。一時保育をもつと気軽に使えるようになったら嬉しいです。
- 障がいや特別なケアが必要な子を持つ親への支援をもつと充実させてほしい。
- 妊娠が10年以上ぶりであつたが、第2子であつたため、パパママ学級や離乳食教室に参加できませんでした。年の差兄弟のことも考えてもらえたら嬉しいです。
- 幼児に関して。保護者会ときの預け先がなく、出席したくてもできない。上の子の保護者面談のときも困っている。とても困っている。何回も友達に頼みづらい。
- CPSコモセンスペアレントトレーニング研修は興味がありますが、日程の調整が難しく参加したことがありません。土曜・日曜などで設定してもらえると嬉しいです。

- 夫婦ともに土曜・日曜・祝日メインのサービス業のため、日曜と祝日の保育が大きな悩みです。シッターサービスを利用していますが、親の心的負担や経済的な負担が大きく、また、経費としても計上できないので結果、仕事を夫婦どちらかが調整せざるを得ません。日曜・祝も基本同じ場所に（保育園のように）、低額で預けることができ、平日に休みを調整するなどの多様な選択ができればよいと思います。
- 小さいお子さんを連れた、疲れたお母様を見かける事がよくあります。働いていなくても、気軽に子どもを預けられる施設があるとよいなと感じます。
- 岩戸児童館が長い期間利用できなくて困った。
- 何の知識もなく出産・育児をしたので、母親・父親になる前（妊娠期間）に、しっかり勉強してから育児に入った方が、よいと思います。必ず受講父母ともにしなければいけない制度にするなどすれば、少しは虐待が減るような気がします。出産する、した病院で、ファミリーサポートなどを積極的に紹介するとか。虐待がなくなりますように。
- 住まいが狛江市の端にあるため、市の支援サービスを受けにくいです。近隣に幼児連れで気軽に利用できる施設やサービスがあれば嬉しいです。
- フルタイムで働く人にとって「小学校1年生の壁」という言葉があるぐらい保育スタイルが変わることによる不安がかなりあります。登校時間～児童館の時間帯と出勤タイムが合わないため、どのように調整すべきか困っています。企業と行政、協力人、実体に合った時間設定をしていただきたいと思っています。夕食の提供もご検討いただけると助かります。
- オムツ用にごみ袋を支給していただいています、清掃課で、土曜・日曜に受け取れるように改善願いたいです。土曜・日曜であれば他の場所でも構いません。
- ベビー服等まだ使える物を譲り合えるとよいと思うのでバザーみたいなものがあればよいと思います。「たんぽぽ」で行っているようですがもう少し大きな規模で休日に。
- 防災・防犯について、学べる機会を増やしてほしい。
- プランケットの活動が、もっと妊婦さんから、産後ママに伝わると、よいなあと感じました。
- 狛江体育館のベビークラスなども、2人目のママは多いが、1人目のママへの情報が浸透していない感じがする。
- 国領のすこやか調布のaonaや、仙川のカフェアンブッチのような、子連れで行きやすくサークル、講座など、情報ももらえる施設（お店）が、狛江にもほしい。
- 狛江市は子連れで行けるような場所が少ないように思う。カフェなど。児童館なども場所によっては遠く、利用しにくい。狛江駅前の広場も夏は日よけがなく暑い。もう少し木を植えるなどしてほしい。
- 保育園へ預けているときは安心でいられるが、小学校へ進学した後が心配。授業が終わってから親が帰宅するまでの間、安心して預けられる場所や環境をより一層充実したものにしてほしい。
- 小さい子を抱えた母親が、孤立し、孤独になりがちなのが気になります。例えば、離乳食センターのようなものを作って、みんなで少しずつ離乳食を進めていく、毎日そこに行けば誰かに会えるような場所づくりはできませんか。
- 仕事と両立していると、情報を自分から取りにいくという余裕がありません。広報紙なども、ポストに入れてくれたり、「こまえ安心安全情報メール」みたいな、子育ての情報を自動的に発信してもらえるとありがたいです。

- 将来的に子育てをサポートしてくれる身近な施設があればよいと思う。金銭面での不安もあるので、無料の施設があれば皆、利用したいと思うのではないのでしょうか？
- 隣の世田谷区との差が激しい。子どもの医療費の補助や幼稚園入園料の補助など。
- あいとぴあセンターが遠い。岩戸南からだ自転車20分以上。狛江駅の近くなど、狛江の真ん中に作ってほしい。コマバスも時間がかかる。
- ファミサポの説明会にずいぶん前に参加しましたが、利用するまでに手順がかかること、利用制限があることなどで、実際利用したいなと思うことがありましたが面倒で利用していません。当日のお願いでも利用できるような（シルバー人材に頼るとか）、もっと気軽に子どもを一時的に見てもらえる制度があると助かります。保育園の一時預かりも、もっと定員を増やしてほしい。
- 支援員の方のサポートは有り難く助かっています。
- 次男が、好きなことに関する物や環境を見つけると、見入ってそこから動かなくなったり、多動があったりして大変な思いをしています。狛江市の子育て支援は大変充実していると感じます。
- ファミサポが受け身。制度を作っても使える中身になっていないと制度策定の意味はなさないものです。
- 児童館以外の子どもを遊ばせる場所がわからない。
- 高齢者に対する情報はよく目にするが、子育て世代に関する情報は少ないように感じる。今年出産して特にそう思うようになり、狛江市外に引っ越しも考えている。
- 夏休み中など、小学生親子で参加できるイベント（料理・工作など。）はたくさん広報などで見かけましたが、幼稚園児親子が参加できるイベントはほとんどなかったため、無料・有料含め増やしてほしいです。幼稚園児こそ親子で参加できる場所・イベントがあれば休暇中に過ごす楽しみが増え良いと思います。
- 市の子育てに関する情報は、結局友人から聞くものが多いので、もう少し目に触れやすい形で周知されると有り難いと思います。また、漠然とした子育てにかかる費用への不安があります。
- 妊娠中からの友達づくりの場がほしい。保育園が地域によって数にバラつきがあるので散らしてほしい。ベビーベッドやベビーカー、洋服などベビー用品のバザー開催。あいとぴあセンターへのアクセスが不便。
- ノーバディーズパーフェクトプログラム、CSPなど受講させていただきました。内容はとてもよく、賛同したのですが、実践するとなるとなかなか継続が難しいです。受講済向けに、フォローアップの体制があるととてもありがたいです。
- 子育て、しつけ、しかり方、伝え方など、どう子どもと接していいのかわからなくなったときに、広報を見て「子育てセミナー」がある事を知り、申し込みの電話をしましたが、既に定員いっぱい、キャンセル待ちも多いと言われました。「来年もセミナーがあるのでそのときにどうぞ」と言われましたが、知りたいのは今なんです。
- 2人以上を育てているママたちの集まりの場、相談、アドバイスなどが聞けたり、話し合ったりできる場がほしい(NPみたいに)。土曜、日曜も利用できる子育てひろばみたいなのがほしい(主人が土曜、日曜が仕事のため)。
- 保健婦さんの訪問を産まれた直後だけでなく、その後も1回でもいいからやってほしい。なかなか外に相談に行きにくい場合でも話を聞いてもらえるとありがたい。一人で育児をしているので、気軽に電話相談などができる場所があるなら教えてもらいたい。

- 病後児保育室を利用したくて電話をしたら、高圧的で不信感を抱いて利用を中止した。1か所しかないの、そこに行くしかなく困る。立地も不便すぎます。
- 野川たんぽぽを各週でやってほしい。
- 公民館などのフリースペースでサークル登録をしなくても、個人で予約をして利用できるようにしてほしい。子育て世代が多い今だからこそ、狛江市も子育てしやすい街へ変わってほしいです。
- 普段は保育園でお世話になっており、大変助かっております。ただ、祝日だけは困っています。祝日もどこか、小さい子どもが安心して遊べる場所がほしいと思います。
- 子連れで相談しやすいように子を預かってくれる、絶対に人に知られずに相談できるなど安心できるサービスがほしい。
- たんぽぽがあいとぴあに移動して利用しづらくなった。岩戸児童館（駄倉地区センター）でもたんぽぽタイムのようなプログラムを開催してほしい。また、あいとぴあ、駄倉地区センターともに狭くて利用しづらい。
- 先日、おはなし会に参加しました。少しでも日本語に触れさせたいと思っていましたが誤った事柄など教えられたらなどと参加を見合わせています。
- スマホを触ったり、情報を得る時間は平日ほとんどないため、アンケートの”情報”のところは悩んでしまいました。外の掲示板、もっともっといろいろな場所にポスターなどの情報があれば、見るができます！
- 世田谷から引っ越してきて感じるのが、親子が集まれる身近な場所がとても少ないこと。公園などもあまりないので遊ばせられないと感じました。また、産前産後にサービスを受けられるものも少なかったりと他の区や市を参考にしてほしいなと思いました。でも月に一度の育児相談など小さい市ならではのいいところもあると思います。オムツのごみ袋の支給も本当に助かります。ただ小さいサイズでなく枚数を減らしてもいいので中にしてほしいです。
- CSPを土日開催にして働くママへの支援がほしい。

医療支援

- インフルエンザの病児預かり（せめて下熱後だけでも）の体制はつくれないでしょうか。同じ型の感染者のみで臨時預かり所を時期限定で開設するとか。
- 病児保育を増やしたり、急に預けられなくなったときの対策がほしい。土曜・日曜に保育できるところを増やしてほしい。（父・母仕事のため）
- 病児保育を増やしてほしい。駅近くの立地のよい場所に。
- 予防接種を土・日に受けられる小児科が少ないので困っています。仕方なく仕事を早引きなどしています。
- 病児保育が少ない。保育施設を増やしてほしい。
- インフルエンザの予防接種の助成金を希望。
- 土曜・日曜にかかれる病院がもう少し多いと助かります。あいとぴあセンターの休日診療も小児科医でなく困ったことが何回ありました。
- 予防接種について。BCGがなぜ集団接種なのか？月に1度、それも半日の午前に限定されていたため仕事をしている家庭にとって非常に困る。共働き家庭のことを何も考えていないシステムのようにしか思えない。

- 病児保育室は病院が不衛生で利用したくない。他の病児保育室を増やしてほしい。
- 病児保育のサービスを充実させてほしいです。
- 子どものインフルエンザの予防接種についても助成金があると助かると思います。
- 保育所内で病児・病後児も保育してもらえるととても助かります。子どもが慣れている環境なので、子も親も負担が少ないかと思います。ファミサポの病後児預かりは、自宅でサポート会員が見てくださるとのことです。両親の不在時に他人が家に上がる、子どもと2人になることにとても抵抗があり、お願いする気になれませんでした。
- 病気の子どもを預かってくれる施設が増えたらいいなと思います。病児保育施設を増やしてほしい。
- 子どもの医療費を世田谷区のように中学生まで無料にしてほしい。
- インフルエンザ等、予防接種の助成をしてほしい。
- 乳児健診など、平日にしかないの、土日にも受けられるようにしてもらいたい。
- 病児保育園を増やしてもらいたい。
- 子どもの健診や子育ての集まりなど、あらゆることがあいとぴあでしか行われず、遠いところに住んでいる場合、行くのが割と負担となる。
- 病児保育施設をもっと増やしてほしい。
- 病児保育室や医療機関と協力して、児童が休みを要する際、親の企業における給与、及び立場を守ることができるよう企業に働きかけてほしい。
- 病児保育室がもう1つでも世田谷区側にできると助かる。
- 健診や集団予防接種を市役所でやってほしいです
- 保育園を利用していますが、病児保育の場所が遠くて不便です。狛江駅の北口方面にも病児保育があると助かります。
- 子ども健診や歯みがき支援など共働き家庭でも参加しやすいよう土日も開催してほしい。
- BCGは近くのクリニックで受けられるようにしてほしい。
- 子どもが病気のとくに預ける先が、保育園内(通っている)だととてもありがたい。
- 狛江市に病児保育が1つしかないのは大変に困る。調布、世田谷の病児保育を利用できるように働きかけてほしい。病児保育に、吸入器を置いてほしい。
- BCGの接種を病院で受けられるようにしてほしい。

医療費助成について

- 乳幼児医療助成の期間をもう少し長くしてほしい。
- 医療費を世田谷区のように中学生まで無料にしてほしい。
- 病院への通院費などをもう少し負担してほしい。
- 医療費の免除を、中学生までに延長してほしい。
- 医療費や子ども手当の所得制限をなくしてほしい。
- 医療費負担を全家庭、中学入学までにしてほしい。
- 23区は子どもの医療費がないが、狛江市はある。なくしてほしい。
- 医療費助成は23区と同等にすることを強く希望。

- 幼稚園入園から始まり、小学校～今後も学費（保育料。）負担が大きすぎる。医療においても負担開始が早すぎる。
- 医療費無料の仕組みに所得制限を設けられている。子どもに関する費用は、どの家庭も平等にすべき。（幼稚園の補助も所得制限あり）
- 医療費助成（全額。）は満15歳までとしてほしい。
- 小学生の医療費をタダにしてほしい。
- 子どもの医療費を世田谷区のように中学生まで無料にしてほしい。
- 子ども医療費の助成をもっと延ばしてほしい。
- 医療費無料期間を、23区並みに引き上げることを検討してほしい。
- 年収(所得)が上がるとマル子（医療費助成）が対象外となり手当ももらえない(特例給付のみ)。再交付の際の再申請等も手間がかかる。
- 狛江市のマル子（医療費助成）に収入制限があることを不満に思います。
- 小学生以上の医療費200円でもありがたいですができれば無料にしてほしい。
- 小学校に入学しても医療費を無料にしてほしい。
- できれば小学校低学年は医療証があるといい。
- 医療補助を小学生まで無料にしてほしい。
- 同じ子どもなのに医療費助成に差がある。
- （子）医療費を所得制限なしにしてほしい。
- 医療費、小学校になったら3割負担が重い。収入制限をなくすもしくはもっと高収入の方のみにしてほしい。

環境・施設整備について

- トンボ公園のローラーのすべり台を早く直してほしいです。バナナ公園に日陰があると嬉しいです。
- 子どもがボール遊びできる広々とした公園があればいいなと思います。トイレの全ての個室に、赤ちゃん用のイスをつけてほしいです。授乳する場所がもっとほしいです。
- 図書館の設備を充実させ、子ども向け絵本の蔵書を増やしてほしい。
- 子どもが思い切り走りまわれる、広い公園をつくってほしいです。岩戸南あたりで。
- 「たんぼぼ」が、あいとぴあでの仮の小さいスペースとなり利用しづらく残念です。
- 幼稚園の子たちが屋内で遊べる場所がほしい（以前の和泉児童館がよかった）。
- 今後の発展を考えた都市開発がされることを切に願います。
- あいとぴセンターで行事がある場合、バスの本数が少なく交通の便が悪いのもっとバスの本数を増やしてほしいです。（せめて行事がある日だけでも）。自転車が通りやすい道を整備していただくと歩く人、車を運転する人も安心できると思います。
- 狛江市内で遊べる場所が少ない。屋内プールなどがあるとありがたい。多摩川がせっかくあるのに、世田谷にあるような兵庫島公園のような親子で楽しめるところがなくて残念。
- 広くて安全な公園がもう少し増えるといいなと思います。
- ボールで遊べる公園を作ってほしい。学校のKoKoAはつまらないと息子が言い利用し

ない。工夫してほしい。

- 幼稚園が終わった後、思い切り外で遊ばせられる場所がほしいです。現在あるプレーパークがもっといろいろな場所にあったらと思います。
- 東野川周辺にも、もっと、子どもを雨でも天気を気にせず遊ばせられるような場所があればいいと思う。
- 子どもの遊び場、保育サービスがとても少ないと思います。
- 公園、又は公園の遊具を増やしてほしい。子どもを預ける場所の料金を減額してほしい。市図書館の本を返却する場所を市内別の場所にも設けてほしい。
- 就学するに当たり、子どもが一人でも安心して遊びに行かれる場所が一つでも多く増えてほしいと願っています。
- 小さい公園の雑草の刈りとり回数を増やしてほしいです。
- 子どもが外で思いっきり走り回れるような広い公園、場所がたくさんあるといいなと思います。竹林や生産緑地計画の土地を「緑のある公園」にするなど、楽しめる場所がたくさんほしいです。
- 乳幼児や幼児を連れて行けるカフェや食事所を増やしてほしい。
- 狛江駅前の広場も夏は日よけがなく暑い。もう少し木を植えるなどしてほしい。
- 市役所や図書館をもう少し明るくしてほしいです。サービス案内など書類が多いので、整理してほしいです。Webサイトはどれも使いやすく、よく利用しています。
- 幼い子どもが徒歩で移動できる範囲は限られています。月額でもいいので定額制でバスなど公共機関を利用できるようにできませんか？
- 児童センターは赤ちゃんか小学生でないと行けない感じで、幼児が安心して自由に遊べる場所がないです。中央図書館の子どもの本のコーナーがとても残念です。ボール遊びができる場所をつくってほしいです。
- 事業所を各地域にもっと増やしてほしい。児童館、子どもの遊び場が足りないor地域ごとに不平等。道の整備ができてない。子どもと入れる飲食店が少ない。
- 児童センターや児童館だけでなく、親子の居場所をもっと増やしてほしい。できればそこで、一時保育もしてもらえるとより助かる。
- 公園でもっと安全に自転車やボール遊びができるようにしてほしい。大きな公園がほしい。
- あいとぴあセンターがもう少し近い（駅近）とよいです。安全な公園（キレイな遊具）もあるとよいと思います。
- 喜多見からあいとぴあへのバスの運行を検討していただきたいです。認可保育所を増やしていただきたいのと、情報をもっと開示していただきたいです。
- 子連で外食できる場所があまりない。
- 子育て世帯には、こまバスの無料パス等を検討してほしい。
- 外遊び、屋根付きなど、子どもが広々と遊べる公園や環境を整えてほしいです。
- プレーパークのような普通の公園よりいろんな親子がのびのびと利用できる場が増えるとよいと思います。
- 0～3歳くらいの子が遊べるような、広く遊具がたくさんある室内外の公園があるとよい。
- 岩戸南のたんぽぽがなくなってしまう、困っています。

- 子どもが外で思いっきり遊べる場が少ない。自由な公園が少ない。公園自体少ない。ボールダメ、遊具古い、遊べない、狭いところが多くて残念です。プレーパークなど、子どもが自分の責任で自由に遊べる場がもっとほしい。
- 市立図書館も充実させていただきたいです。
- 児童館など子どもを遊ばせる場所が、場所にかたよりがなく、長時間、子どもたちが遊べる場所を作ってほしい。兄弟がいるので、赤ちゃん（0歳）から4～5歳の子どもと一緒に利用できる場所がほしい。午前のみでなく午後も利用したい。
- 狛江駅周辺はベビーカーで移動するには不便。
- 夏場の公園は、雑草が伸びてしまって、遊ばせられないです。公園の整備もしてほしいです。
- メビウス∞駅まえ広場近くの喫煙スペースを撤去させていただきたいです。
- 一小地区に公園や児童館を作ってほしいです。
- 児童館を広くしてください。もっと広くてキレイな公園がほしい。
- 公園に利用しやすいトイレをつけてほしい。ブランコのある公園がほしい。雨の日に遊べる場所がほしい。
- 広場前にある喫煙所からタバコの煙が広場側に入ってくる。喫煙所をなくすか、建物を建てて煙が流れないようにしてほしい。
- 危険な道路の補修。和泉本町4丁目の道路は歩道がほしい。
- 親子が集まれる身近な場所がとても少ないこと。公園などもあまりない。
- 公園を充実させてほしい。前原公園のローラーすべり台を直してほしい。
- 子連れで行きやすい飲食店、土日に室内で遊ばせられる施設がほしいです。
- ボール遊びができる公園を増やしてほしい。根川地区センターのグラウンドを公園として開放してもらえるととてもよいのではないのでしょうか。
- お天気のいい日に小学生が外で遊ぶ場所がない。
- 公園を増やしてほしいです。子連れでも食事しやすいスペースがほしいです。外出時に、子どもと少し休憩したり、授乳やオムツ替え、離乳食をあげる場所があると嬉しいです。雨の日でも子どもが体を動かして遊べる施設を増やしてほしいです。
- 子育て世代が暮らしやすい、買い物しやすい街にしてほしい。
- ボールで遊べるグラウンドを作ってほしい。市民グラウンドの開放を毎日にしてほしい。
- 図書館の本が少ない。
- グローバルキッズ前にカーブミラーをつけてほしい。（保育園、幼稚園の出入口に）
- 子連れで気軽に利用しやすい飲食店を増やしてほしいです。
- 公園について、緑が多いのはよいけれど、キレイな公園があってもよいと思う。
- 子どもだけで遊べる場所(公園や多目的な広場など)がまだ少ない気がします。
- 公園の整備を希望。駒井町付近ほとんど公園がない。
- 駅周辺を再開発し、子育て世帯や若い世代が多く住みたいと思える街にしてほしい。
- 狛江駅近くに子どもとくつろげるスペースのある複合施設があるとよいと思います。図書館、児童館、預かり保育サービスなどをまとめてほしいです。
- 安心して遊べる広い公園がほしいです。

- 外で遊ぶところが少なすぎる。子育てひろばも狭くて遊びづらい。小さい子を連れてあいとぴあに行くのはとても大変。集まり健診等、市役所のあたりでできるとありがたい。
- メビウス広場に喫煙所が近すぎて煙がけっこう来ます。また、広場に吸い殻が落ちていることもあり残念です。
- プレーパークの様な取り組みを広げてほしい。
- 西野川地域にも、もっと子育て支援、場所を充実させてほしい。個室店や子連れで行きやすいお店を増やしてほしい。（夜遅くまで営業してほしい）
- 午前中の公園はどこかの保育園か幼稚園の園児たちが占領してしまい、なかなか一般の子どもが遊べない。狛江駅周辺の駐輪場が面倒くさい。
- いろいろな遊具のある、キレイで衛生的な、公園を増やしていただきたいです。
- 遊具がある公園などがあると助かります。アスレチック等があるといいなと思います。
- 東和泉に大きな公園がないので大変、あるところにはまとまってあるのに。夏も水遊びができるような公園が何箇所かあれば嬉しい。

生活・就労支援について

- 現在は祖父母も健在でサポートしてもらっているが、この先病気になったとき、見てもらう人がいなくなる不安が常にある。これから子どもにかかる費用など、金銭面での不安がある。
- 世田谷区のように幼稚園の入園金の負担を減らしてほしいです。
- 育休明け1年目子どもを保育園に預け復帰したが、子どもの病気で仕事を休むことが続き、職場への迷惑をかけ続けたことで自信をなくした。さらに、第2子を妊娠したが、それによる母親自身の体調も崩れ、妊婦検診での休みをお願いしにくくなり、どうしたらよいか（仕事との両立）わからなくなった。
- 他の市では、収入にかかわらず、認証（認可外）保育園利用家庭には2万円の補助があると聞きました。狛江市もこのような補助があると嬉しいです。
- 狛江は子育てしやすい市だと思っています。市や区によって補助金が異なり狛江は少ない方だと思っています。家賃も高く生活が苦しくイライラすることがある。子育てにも影響します。
- 他市に比べて、子育て支援の助成金が少ないと思いますので、助成金の拡大をお願いします。
- 23区に見習っていただきたい。助成など補助金（保育園や幼稚園）が少なすぎる。
- 産休育休の制度についても自営業には何もなく、手当等あればよいなと思います。
- 少子化と言っているのだから、3人以上子どもがいる家庭には、少し負担が減るように考えてほしい。
- 他の市に比べ、子育て世帯への支援が少ない。（補助）
- 3～4人とたくさん子どもを産むお母さん（夫婦）が多いのに、それに対しての援助（金銭的にもサービスの的にも）が足りないと思います。

市への要望ほか

- 路上喫煙、歩きタバコの徹底的な排除をお願いしたいです。
- 市役所の駐車割引サービス、もう少し増やしていただけないか？
- 周辺自治体との共同事業など、狛江単独で実現できないことをどうするか検討してほしい。
- 食物アレルギー対応について調布市のようにきちんとした、指針を定めてほしい（危機・管理意識が低いと思います）。すこやか病児保育室が1か所で定員も少ない。
- 貧困家庭への支援もよろしいのですが、それなりの金額を税金で納めている家庭への支援や体制サポートも考えてください。
- 今後子どもを持とうとしている世帯の後押しとなるような施策をお願いします。KPIを、「子育て世帯の満足度」ではなく、「10年後の人口」ないし、「出生率」に定めていただきたいと思います。
- 育児休業を取得する前（出産前）は、なるべく早く復職をしたいと思っていたが、いざ子育てを体験すると、出産後の身体的な疲れがなかなか取れず、かつ毎日多忙なため、子どもが1歳になるまでは休業が必要だと感じました。また、その必要性がもっと社会的に認知されてほしいと感じました。
- 他市にはある療育センターが狛江市にはなく、早期療育が必要と言われるダウン症児に早期療育が市内で受けさせてあげられない。行政で療育センターを作って年齢に関係なく療育ができるようにしてほしい。
- 子育て支援課の中でも人によって対応にバラつきがある。
- 他の市町村より、子育て支援に対しての補助金が少ないし、取り組みをしていない。今後、狛江市がどのような市にしていきたいのかというビジョンを示してほしい。
- 何よりも教育に力を入れていただきたい。
- 現在、幼稚園へ通っていますが、市の助成金対象外とのことで、市民税を納めているのにと、不平等感を強く感じています。狛江市の財政が厳しいことと、認可外の幼稚園だから、支援がないことは、無関係に思います。
- 子どもを産み、はじめて子育てと仕事の両立がこんなに大変だと気がつきました。0歳で、認可保育園へ入れず、認証保育園に順番待ちで入れました。やっと、仕事に復帰できても、子どもが体調を壊すことが多く、自分自身も体を壊しながらなんとか、2歳までできました。
- 世田谷区、調布市と、補助金の差が大きすぎる。
- 家庭支援は産前産後3か月までしか利用できないが、1時間1,000円と安いので、子育てが大変な時期はもっと長期的に利用できると助かる。夜の利用もできるとよい。時短を国全体でせめて小学校低学年まで利用できるよう働きかけをお願いしたい。
- 警察官による見回りの強化などにより、事件、事故のない安心、安全な街づくりをしてもらいたい。
- 娘が生まれて、私が精神的に不安定になった際、市の保育課に相談をしていましたが、担当の方が不在のときは折り返しの連絡をすると言われたのに電話がかかってこなかったで、ひどく落ち込みました。
- 下の子の妊娠時入院が必要であったが、上の子を保育園に入れてもらうことができなく行政からの提案は、選択肢が乳児院しかなかった。知人の他の行政区では保育園ぐ

らいには入れていた。

- 心の病になったとき寄り添ってもらえずとても悲しかったことがありました。
- 保育料が高額。子どもの衣服をリサイクルできる場があると使うと思う。保育園の迎えを代行してくれる仕組み、又は延長保育の無償化等を検討してほしい。そもそも狛江市が行っているサービスを知らないから認知活動してほしい。
- 以前子どもの発達の件であいとぴあに相談し、その後市役所で手続きをしようとしたが、あいとぴあと市役所の連携が全くできておらず、お互い言うことが違っていて困りました。
- 暮らしやすいまち、子どもが多いという面では安心しています。土日に遊べる場所、ママたちとお茶しながら遊べる施設がほしいです。保育園の送迎バス等あれば、もう少し仕事への余裕もできるかと思います。保育所付企業が狛江市内にあれば、勤務先を変更してもよいと思っています。金銭面での補助がもう少しあると助かります。
- 小さい市ならではの支援を目指していただきたいと思います。情報源の一本化、見える化をお願いするとともに、保育園を増やすことができなければ他市の協力を得て、よりよい市にしてください。
- 3人目の出産をひかえ、3人の子どもを育てていくのに不安はありますが、子育てに関しては市で積極的に様々なことを考えてくれていると思うので、このまま狛江市で生活していきたいと思っています。
- プレーパークや園庭開放、子育てに関するイベントに足を運んだとき、子育て支援課の方が声をかけてくださり、なにか困ることがないかなど相談にのっていただき、いろんな情報も教えてもらい助かりました。
- PRESIDENT Woman→ある雑誌で子育て、出産に向いている街で狛江市は第5位でした。とても誇りに思いました。緑も多く、都心にも近く、コンパクトな街で、私はすごく好きです。
- 小学校へ上ると親の見ていないところでの危険や、子どもたちのみでのやりとりが増えると思うので、少し心配です。狛江市は子育てがしやすい市かなと思います。
- 幼稚園をもっと増やしてほしいです。遊具のある広い公園も増やしてほしいです。

学童について

- 学童等、誰でも入れるようにしてほしい。
- 学童の拡充を希望します。
- 小学校に入学した際の放課後クラブや学童に入れなかったら仕事を辞めなければいけない。
- 学童を増やしてほしい。
- 学童保育に無事に入所できるか不安です。保活のような不安な気持ちをまた抱えるのかと思うと小学校入学がこわいです。
- もっと朝早くから学童を利用できるようになって欲しい。
- 小学校に進学してから学童保育に入れるか、心配。午前7時から授業開始まで学童などで預かってもらえるようにしてほしい。
- 学童について、近い将来利用するにあたって、まだ情報がなく、定員や活動内容がわからないのが不安です。

- 学童に入れない。学童の方がお迎えが早いと聞いていて、小学校に上がってから支援が少なくなるのではないかと不安に思っています。
- 未就学児の保育には力を入れているのか、ここ最近保育所が増設されているが、学童の誘致も行ってほしい。
- 小学校に入学した際に、学童保育に必ず入れることができるかどうか不安。学童保育時間を午後7～8時くらいまで、延長してほしい。
- 学童保育も、もっと増やしてほしい。
- 学童をもう少し増やすべき！
- 希望する低学年の子どもが全て入れる環境を望みます。
- 学童等の開所、閉所時間を保育園と同じにしてほしい。また、入所点数のつけ方が異なるのも、迷惑です。変更できないならKoKoAをもっと長く預けられたり、中止の日をなくしてほしい。
- 子育て広場、たんぽぽなどが日曜・祝日も利用できればよいと思う。
- 学童保育所はもっと拡充すべき、今後明らかに不足する。
- 学童に入れるか不安です。
- 小学校の放課後の時間や、長期休暇中の学童保育の開所時間等、保育園並みの保育時間にしていきたいです。
- 保育園より学童を増やさないと、根本的に問題がなくなれないと感じる。ファミサポが受け身。
- 学童の待機児童を減らしてほしい。安心できる子どもの居場所を作してほしい。kokoAでは、休暇中などカバーできない。
- 学童保育に関しての情報がとても少ない。学童保育の種類の違いが、いまいちわかりにくい。
- 学童の利用時間を延ばしてほしい。
- 3年生までは、夏休みなども午前8時～午後7時まで安心して通える場所が必要です。学童の充実をお願いします。お弁当の問題も早急に対応をお願いします。
- 保育所だけでなく、学童や放課後クラブなども増やして親が安心して働ける環境にしてほしい。
- 学童を増やしてほしい。
- 小学生の子が学童に入れず一人で過ごす時間が多い。校庭開放へ行っても午後5時前には帰らされてしまう。
- ここ数年、保育園は増えているが、学童は全く増えていません。
- 学校が振替でお休みのときはKoKoAも開いていないので困っています。学童に入れないのであればKoKoAは開けてほしいです。学童の充実を早急をお願いします。
- 保育園は力を入れているが学童はテコ入れされていない印象。
- 学童の預け時間を午前8時から午後7時まで可能にしてほしいです。学童の施設数を増やしてほしい。

アンケートについて

- もっと効率のよいものにしてほしいです。
- このアンケート、手書きは負担が多すぎる。
- アンケート問が多すぎます。民間であればあり得ない。受ける人の立場を考えるべき。
- アンケートの実施には大賛成だが、紙ベースのみではなくWeb対応も検討してもらいたい。
- このアンケートが長すぎて大変なので、もう少し質問をしぼりこんで20問前後だいたいと思いました。

その他

- 長男の言葉が遅れてて同年代の子どもと遊ばせたいけれど、近くに友達が少ない。
- 小学校と同じように0歳から、就労者等条件なく保育園を利用できれば、ワンオペ育児や虐待などの問題も少しよくなるのではと思います。
- 毎年、保育所が増えていたり、支援センターの出張サービスが行われていたり助かっています。駅の近く、あいとぴあが家から少し遠いため、参加したいイベントがあっても参加できないことがあります。また、西野川、東野川地域に保育所が少ない。
- 幼稚園が働いている母親への理解があまりなく、預かっていただく時間も午後5時までで急な仕事に対応できないときは苦勞していた。企業の職場環境の改善及び休みやすい環境が社会全体で必要と考えます。ベビーシッター制度ももっと利用しやすいように提供してほしいです。
- 子育て支援は規模が大きく非常に重要な事だと理解していただきたいです。例えば、園が確定したもしくは兄弟別園だが高んとか確定したが、通園が非常に困難というケースはよくあります。そのようなケースにおいて、希望園で空きが出た場合、新たに入園審査をする際の対象外になってしまうという現状はおかしい。また、保育所について待機児童の問題が続いていると思います。それが今度は学童においても重要な問題になっています。需要に対して供給数が圧倒的に不足していることは明白です。早急に対応し、解決に至るよう手配願います。
- 毎日楽しいです。
- 待機児童のことばかり気にしていて保育園を増やすということしか頭にない気がする。親が子育てができるように遊び場や児童館を充実させたり、予防接種や子どもの医療費を負担するお金を少なくする等考えて実現させてほしいです。
- 保育園や幼稚園を増やすというより、子どもがいてもちゃんと働ける環境を作ってほしいと思う。ちゃんと子どもを育てるにはどうしたらいいのかを国レベルで考えてほしい。
- 保育の質、保育士の資質の問題。小学校入学について、学童保育、学区について、など不安もあります。働かなければならない生活のため、早めの情報提供をお願いします。

▼小学生保護者アンケート

問32 子育ての不安や困りごと、狛江市の子育て支援に関するご要望などをご自由にお書きください

学校のことについて

- 小学校の教員の質を向上させてほしい。HPを更新していない学校へは指導等しないと狛江市の教育委員会活動の内容が不透明。小学校から渡されるプリントで活動報告してほしい。子どもの教育充実及び支援が子育て支援につながっていると思う。
- 経験と能力のある教員を配属してほしい。PTAの廃止。
- 小学校のPTA役員の平日日中帯の集まりをなくしてほしい。
- 小学校、中学校の校舎と体育館の耐震工事。災害時の避難場所にもなりますので、公共施設については十分な対応をお願いしたいです。
- 校区整理（見直し）はしないのかと思う。そろそろ見直しをしてはいかがでしょう。
- 問題が起こって、スクールカウンセラーが動いてくださっても、改善されないのはなぜなのでしょう。教員の指導をもっとしてほしい。
- もっと学力UPのための策を考えてほしいです。学童でも勉強を見てくれるような人を配置してください。
- 狛江市内全小学の卒業式や入学式などの式典で、進級先の制服での参加にしてほしい。又は、全ての式典での正装はなしにして、普段着参加にしてほしい。
- 中学ごとにバッグ指定が違うのはおかしい。中学生はポロシャツにしてほしい。
- 飲んでいない人は牛乳代を払わなくてよいことにしてほしい。中学入学に必要な出費を無料か市が一部負担してほしい。
- SNSの利用の仕方について、出前授業のような形で授業のように教える機会があればよいと思います。
- 一小のグラウンドが狭いです。
- 小学校の授業のあり方、通級を整えることよりもグレーゾーンの子が同じクラスで楽しく学べる授業を考えてほしい。
- 全学年5時間にして下校時刻を同じにし、土曜2～4時間の追加をするようなことにする。
- PTAの必要性について要再考。正門の道に信号機もないのはいかなものか。働いている、働いていないにかかわらず子どものサポートは全員が受けられるべき。各組織がバラバラにやってる。一元化が必要。教育委員会の内部がそもそも昔。きちんと予算を割いてください。ちゃんとした給与で先生を雇ってください。
- 能力に応じて支払ったり、場合によってはやめさせて、税金の無駄使いをせず、手当や無償化、補助金などで還元してほしい。

保育園・保育支援

- 保育園の一時保育の定員を増やしてほしいです。児童館で数時間でも預かってもらえるような、サービスはありますか？なければあるといいなと思います。
- 一時保育先として選択できるよう、KoKoAを午後6時まで使えるようにする。学童を

一時利用可にする。保育園で小学生の一時預かりを可にする。小学生と未就学児を同じ場所で預けられないのも非常に不便です。

- 待機児童の解消。
- 公立保育園通園時、先生の言動にいつもつらい思いをしていた。もう少し母に優しい、ゆとりある運営をしていただきたい。
- メジャーな幼稚園ばかりではなく、自主保育や近隣の区の小さな幼児教育施設の情報も得たいです。子育てフェス的な広告イベントがあるといいと思いました。
- 子どもを預ける場所や保育ママの料金を軽減してほしい。(市からの補助金など)。
- パート就労者の子どもを長期休暇中のみ手軽に有資格者のもとへ預けられるようにしたい。
- 認可保育園を増やしてほしい。
- 自営業のため、保育園も入れてもらえず子育てが大変で二人目は諦めました。

支援事業・学童などについて

- イベント等も楽しいとは思いますが、ある程度子どもが自由に出入りできるようなフリースペースが充実するといいなと思います。
- 特別支援教育について、いつかは社会に出ていくことも考えた支援を考えられるといいと思っています。
- KoKoAが混雑していて利用しづらい。
- 六小の駒井学童が一年生から入れなく、猪方学童に通わせているので、放課後クラブを作してほしい。
- 4年生以上の「放課後」の過ごし方について不安があります。学童(小学生クラブ)に入れなかった場合、どうしたらよいだろうと、今から悩んでいます。
- 学童保育所が狭いと思う。図書館の子ども向けの本が少ないと思う。学童保育所の開所時間を広げてほしい。(午前8時～午後8時くらい)。
- 保育園は人口、特に未就学児に対する対応で増えていますが、学童への対応が遅れていると感じています。保育園が増加しているという事はそのまま学童等の受入れも考えていただかないと、困ってしまう家庭がかなり多くなるのではないのでしょうか。
- 一小学区の年々の児童数の増加で、学校環境が整っておらず心配。学童も年々一杯になり、4年以上は低学年が入れないことも考えて申請を諦めている人も多くいる。
- KoKoAの終了時間が早すぎるのももう少し延ばしてほしいです。(暗い時間は親のお迎えにする等決めて)学童に入れない子たちの居場所がなくなります。放課後クラブのおやつ代が格安なのはありがたいのですが、前もってキャンセルしても料金がかかるのは納得いきません。今のルールですと行く日はこまめにおやつを注文しないと、過剰な支払いが増えてしまいます。
- 学童保育の全入を希望します。
- 障がい児が学校から、放課後デイへ一人で移動ができないときの支援が、ファミリーサポート以外は選択肢がありません。
- 学童クラブに、入所しても毎日KoKoAの登録をしたり、学校外で友達と遊び放課後クラブの利用をしていない子がいます。真に学童クラブを必要としている児童に入所を譲るべきだと思います。

- 相談できる場所、サークル的なもの、アプリ、スマホで簡単に、同じように困っている人とつながりたい。
- ルールが必要なのはわかりますが、高学年になるとKoKoAで遊びたがらず、理由はゲーム機がダメ、おやつダメ、自転車ダメとなり、低学年向けなのかなと思います。
- 自分の子育てが正しいのかわからなくなるのでコモン・センスペアレンティングを時間のしびりがなく受講できるようにしてほしい。
- ここ数年で保育室の増設はありましたが学童は手つかずのままです。岩戸児童館内の小学生クラブの定員の拡充ということで工事が始まっているようですがまだまだ不足していると思います。今後増設された保育室を卒園して、小学校に入学するタイミングで待機児童が増えると思うので、増設を強く希望します。
- 狛江市は就学後の障がい児に対するサポートが少ないので、相談窓口等、サポートする体制づくりをしてほしい。特に支援学級に進学すると他市に通学するため、狛江市内に相談する機会がなくなったように思います。そういうシステムがあるのなら周知してほしいです。
- 小学校へ登校できる時間を午後7時台にしてほしい。校舎に入れてもらえるだけでもいいので保育園と同じ時間に自宅以外の居場所がほしい。(特に夏休み、冬休み、春休み)。
- 土曜日もKoKoAをやっていただけると助かります。
- KoKoAでもおやつの提供や、少し食べられる時間がほしい。学級閉鎖のときもKoKoAを開いてほしい。フルタイムの方は、学童と放課後クラブがあるが、パートの者もKoKoA以外の預け先がほしい。
- KoKoAの預かり時間を増やすべき！！学童利用の人数制限が厳しすぎるので、周りでも入れなかった人多すぎる。高学年になったとしても、自宅での留守番をベースで考えるのではなく、自宅以外で過ごせる場の充実を切に願います。
- シングルマザーで子どもは一年生、働く時間を長くしたくても学童に空きがなく、入所できず生活に不安を感じる。学童に入所してからでないと時間を延ばすことができない。
- 小学校のKoKoAは、校庭で遊べる時間が決まっていたり、室内にいる事が多いと、子どもが行きたがりません。
- 学童の役員活動をなくしてほしい。その分イベントもなくてよい。
- 指導員の先生には本当にがんばっていらっしゃると思えますが、いかんせん施設の広さと児童の多さが全くつりあっていません。もっと安心して、通える放課後の施設を増やしてほしい。
- とにかく学童を増やしてほしい。ファミリーサポート事業で、利用会員とサポート会員が同じマンション内だったら、もっと利用率が高くなると思います。
- ボール遊びができる場所が少なく困っている。KoKoAでボール遊びをするよう子どもに提案していますが、KoKoAではボール遊びをしていないようです。改善してほしいです。KoKoAで囲碁将棋教室などやっていただけると嬉しいです。KoKoAの制度は素晴らしいと思うが、子どもたちが行きたがらない。
- 学童の充実を強く希望します。希望する子どもが入れるように、また朝の受入れ時間を前倒し、終了時間の延長も望みます。
- 和泉児童館はイベント等充実していて、素晴らしいと思います。このような施設が自

宅付近にあったらとても嬉しいです。近所には大きなマンションがいくつも建ち、子どもの人数も増えると思います。ぜひ、近くに児童館等の児童厚生施設がほしいです。

- 近くに児童館のような場所がほしかった。
- 以前に学童、放課後クラブを利用したく、市役所に行きましたが、私立に通っているからとあまり説明をしていただけませんでした。私立に通っていると学童、放課後クラブ等は利用することはできないのでしょうか。
- 今年は学童保育の定員をはるかに超えた申込み児童数であったそうで、来年度に入所したい方々が不安の声を上がっているのを聞きます。手厚くなくてもよいので、どうか子どもたちの居場所をつくっていただきたいです。
- 放課後の遊び場が少なく特に雨の日などはもう少し室内の施設(地域センターなど)を開放してほしいです。午後5時時に音楽が流れていますが、夏と冬では日暮れがかなり違うので、冬場はもう少し早めの時間に流してもらえると、子どもたちの帰宅の合図になり助かります。
- 高学年の子どもが19時頃まで過ごせる場所を作っていただきたい。
- 母親学級やその他乳幼児期のイベント、〇〇学級など広く集まれる機会があればよいかと思います。
- 子ども同士の放課後の遊び方が心配。子どもの帰宅時間には間に合わない時間に仕事をしていて、放課後クラブに申し込んでみようかと思ったこともありますが、手続きの面倒さ、利用できる人数の少なさで迷っています。
- 小学生低学年児にも安心して過ごせるよう、学童保育の拡充を検討していただきたいです。
- カウンセラーとか、ちょっと話したいときに話せる大人がいるといいのかも。
- KoKoAが自由に、安全に遊べるような場所になって、子どもがKoKoAに行って少し遊んでくれるといいなと思います。ブランコのある公園が増えればいいなと思います。
- 子育ての情報はもちろん、親になるということの情報もあればよいかと思います。
- 公園は多いがいずれも小さく狭い。小学生が遊ぶには物足りない。岩戸児童センターは預かりの子どもと遊びに行く子どもがいるため、遊べるスペースが少ない。
- 高学年になっても、長期休みなどに子どもが集まれるような場所があるとよい。
- 地域の公園は、どこもボール遊びが禁止されている。思いっきりサッカーとかできる場所がほしい。KoKoAの先生も一緒になって楽しむような、大人も入った遊びがあつてよいと思う。
- インフルエンザ予防接種費用の助成。パート就労者の子どもを長期休暇中のみ手軽に有資格者のもとへ預けられるようになりたい。親子ペアで体験できる催しものがたくさんあるが親1人に対し子ども2人と枠を広げてほしい。子ども2人連れて参加できずじまいのことがある。
- 学童の入所人数を増やしてほしいです。1年生を最優先してほしいです。(途中入所希望者も)
- 乳幼児のときは手厚い感じがして困ってもどこかに相談できる安心感がありました。特に助産師さんの訪問はありがたかったです。今も相談できる安心感はありませんが感謝しています。ボール遊び、小学生が思い切り遊べる場所がもっとあるとよいなと思います。
- これからできる児童館のオープンが楽しみです。行ける場所がなかったので早く利用

したいです。

- 小学校の授業のあり方、通級を整えることよりもグレーゾーンの子が同じクラスで楽しく学べる授業を考えてほしい。魅力的な授業をしてほしい。学童クラブが足りなく毎年他のところへ移動になる子がほとんどとのこと。提出書類も細かすぎて保護者の負担、保育園のときと随分違う。無駄なこともある。銀行指定先がバラバラだったり。見直してほしい。
- 学童保育は保護者の責任で構わないのでフレキシブルな時間で利用できるといいと思います。
- 年に一回開催している学童対抗運動会をやめてほしいです。支援員の先生も粕江市の人の働き方改革にもなるし(休日勤務がなくなる)保護者の負担も減ると思います。
- 夏休み、冬休みの子どもの居場所がないです。学童の拡充をお願いいたします。保育園と同じくらいの条件で夕方遅くまで預かっていただきたいですし、お弁当ではなく学童の給食を希望します。小学校の高学年になっても預けられる学童であってほしいです。
- 学童や放課後入所の加算になる項目もほしい。特に低学年は仕事している全ての人が入所できてほしい。
- 以前住んでいた地域に「ばあばクラブ」というシルバー人材センターの方が子どもを預かってくださる施設がありました。そんな施設が粕江にもあったらと思います。
- 学童や放課後クラブの入所できる人数を増やしてほしい。
- 公園又は児童館のような施設(登録など必要なく子どもが自由に遊べる場所)を岩戸北にも作ってほしいです。地域センターの営業時間が12時～というのは不便です。週に1度でもいいので午前中から利用できる日があると助かります。
- 学童・小クラへ毎年入所できるのか不安。小学3年生までは必ず入れるようにしてほしい。
- 働く場所の少ない粕江だからこそ、働く親が市外に出て働いている時間に、子どもたちが充実した時間を過ごせるようなサービスを充実させてほしいと思う。水道道路も歩道が狭く、とても危険。料金がかかってもそのような学習施設や送迎サービスがあったら利用したい。
- 「医療的ケア児」となると、利用できるサービスも施設も粕江市内には1件もない状態ですので、利用したければ自ら市外に探しに行かないといけない状態です。スペシャルニーズなのは重々承知していますが、せめて週1日でもよいので放課後について市内に居場所があると嬉しいです。
- 市として発達に凸凹がある人への理解を深めるような講演会や講座、イベント等企画していただけると嬉しいです。また教育研究所に発達心理、発達障がい専門の相談員さんがいると具体的に相談できるので、詳しい方、経験豊富な方を採用していただけたらいいなと思います。
- 学童の預かり時間を保育園同様午後7時以降にすることを強く願います。仕事をしていてみられないから預けているのに運動会(学童)とっても負担です。ファミリーサポートの制度には0歳の頃から本当に助けられ支えられます。習い事も仕事しながらでは不可能でファミサポさんの助けで本当にありがたいです。
- 夏休みなど、学校が休みのときのKoKoAの開始時間を午前8時30分にしていただけたら助かります。
- 高校に行っていない未成年や卒業した未成年の親はどこに相談したらよいか。

- 子家センは未就学児のイメージが強く利用できません。発達障がいやグレーゾーンの子どもについての相談できる場所があったらよいと思います。またグレーゾーンの子どもに対する理解と配慮がもう少しあると助かります。利用できる制度が増えることを望んでいます。
- 1日も早く入所したい。放課後の居場所に困っている。
- 小学生の放課後預かり場所としてあいとぴあ等の施設と有効活用できないものか。保育園ばかり新しくできているがその先の小学生の預かり場がない。
- 子どもの居場所をもっと増やしてほしい。公園などはボールが使えないところが多く、思いっきり走りまわられる広い公園もなく、市内に公園も少なく、外で遊びたいといわれても行ける場所がありません。プレーパークができてとても嬉しく思っています。もっとこのような場所を増やしてください。
- 医療費助成について。中学生まで全員同額補助してください。歯医者、レントゲン、救急、インフルエンザの薬など高額を支払うたびに不公平だと感じます。
- 児童館や学童クラブに頼る時間や条件も限られ、身体が休まるときがありません。核家族が利用しやすい子育て環境を希望します。
- 学童保育施設を拡充してほしい。単なる定員の弾力化ではなく、質を下げずに1年生は希望者全入できるようにしてほしい。
- 子どもが安心して集まれる場所(親同伴ではなく)の充実を望みます。高学年になると学童のような管理される場合は、子ども本人が望みません。公民館のフリースペースのようなところで、職員の方の目が届く場がもっと増えてほしいです。学童の申し込み情報、保育園の申し込み、継続手続きを電子管理にしてほしい。
- 学区内に遊び場が少ない。放課後の子どもの遊び場所を確保してほしいです。
- 教育相談の先生やスクールカウンセラーの方に相談したくても、学校にいる日や時間が限られておりタイムリーに相談できません。KoKoAも土曜日はやってないので不便です。学童に土曜日枠を作っていただけると助かります。
- 高学年になっても安全に過ごせる学童があると安心です。
- 働いている親にとって子どもを預けられる場所がない。高学年になると学童には入れないので、結局家での留守番になってしまう。子どもが安心して預けられる施設が多くあると助かる。
- 外でボール遊びができる広場公園がほしいです。LDの子どもへの支援がほしい。
- KoKoAに子どもがあまり行きたがりません。もっと魅力的なものになれば嬉しいです。
- 医療費の負担を中学生くらいまで無料にしてほしい。インフルエンザの予防接種などにも補助がほしい。特別支援学級や放課後等デイサービスの充実や手厚い支援をお願いしたいです。
- 行政のサービスは会社員世帯を対象に考えられています。高学年になると、KoKoAや児童館はあまり行きたがらなくなり、長期の休みはずっと家にいることになります。図書館や勉強を見てくれるような施設の充実を希望します。市や児童館で企画してくださるイベントは低額負担で充実したものが多く感謝していますが、申し込みが大変だったり、なかなか当たらなかったり、兄弟一緒にできなかったりと。そのあたりを改善していただけたらもっと利用したいです。
- 児童館が少なすぎます。狛江の大きさに対して2つでは少ないです。地域センターでおとなしい子はよいのですが、元気な子や声の大きな子は年配の方に追い出されるの

で屋内にはいられません。KoKoAではカード、ゲーム、おやつはダメなので子どもたちは行きたがらないです。逆に皆OKにしてくれれば居心地のいい場所ができるので児童館がなくても行くと思います。

- 2人目を出産してすぐに出掛けられないときにファミリーサポート制度を利用しました。こちらの希望を細かく聞いてくださりありがたかったです。トラブルもなくよかったですと思います。中学三年生までは医療費無料にしてほしいです。
- 岩戸北には、遊び場や利用できる公共施設が少なく、不便に感じました。子どもの学区、小学から中学へ上がるときも考慮して分けていただきたいなと思いました。
- 現在、子どもが通う五小周辺には地域センターや児童館がなく、放課後や休日の居場所が少ないように思います。東野川学童を休日など開放することはできないのでしょうか。
- 就労していなくても体調がよくなかったり、下のお子さんの病院や子育てで放課後の子どもの居場所が必要な方は多くいると思います。地域の方々も使え、子どもたちも安心して集まれる施設があるといいなと思います。
- 長期休暇中、子どもを預けられる場があると安心して働ける。子どもの居場所、遊べる場を作ってほしい。狛江第四小を再利用できないのでしょうか。KoKoAは学年が上がると物足りないのか行きたがりません。中高学年の子が夢中になって遊べる場があると安心です。もちろん、低学年の子も一緒に遊べる場として。
- 学童への宅配弁当。

医療支援について

- 病児保育室を利便性のよい狛江駅付近へ移転していただき定員も増やし、インフルエンザ感染した際の隔離室も設けるなど整えていただきたいです。
- 医療機関について、発達についての相談や受診する前に、遠方や何か月も待つなど二の足を踏む用なことがあり、なかなか受診できない気がします。発達検査や知能検査だけでも学校や市役所等でできたらいいと思います。
- インフルエンザ予防接種費用の助成。
- 病気やケガ(ともに軽度の場合)の際にセルフケアできるシステムを構築してほしいです。共働き世代では対応に限度があります。会計システムを導入し、あらかじめクレジットカードなどを登録し、遠隔から決算できれば子どもだけで軽度の場合、病院へ突発的にも行くことができますので、ぜひご検討の程、よろしくお願いいたします。
- 健診の視力検査は病院でちゃんとやった方がよい。
- 子育て世代にもっと補助がほしい。インフルエンザ等も家族で受けると数万いきます。
- インフルエンザの予防接種などにも補助がほしい。
- 病児保育についても近隣になくとても不便です。健診とかだけでも地域センターなどでしてもらうことはできないのでしょうか。

医療費助成について

- 所得に合わせて医療費支払いなど他の地域の人から驚かれる、高校まで無償化にして転入者及び企業の誘致を！
- 児童、生徒の医療費を完全無償にするべき。

- 新宿区より狛江に引っ越して参りました。一番負担に思うのは子どもの医療費です。
- 所得に関係なく医療費を無料にしてほしい。
- 医療費負担に加え児童手当も減額されダブルパンチに不満を感じています。せめて子どもの医療費負担をもう少し減らしてほしいです。
- 医療費助成制度（マル子）について、所得制限の撤廃、緩和（一部助成）をぜひ検討してほしい。あるいは、モラルハザードを防ぐため、一律の一定額負担とするなど制度の再検討を行い、不公平感がなく、財政負担とのバランスを維持した制度にしてほしい。
- 23区と同様に、全ての小学生の診療費の無償化を希望します。保育園も福祉のために優先されるとのことですが、時代に合っていないと思います。
- 医療機関受診について、23区内は中学生まで医療費負担がないと聞いている。東京都内なので、統一してほしい。
- 小学生の間は医療費を出してもらいたい。
- 親の所得制限なく中学生までは医療費の助成をしてほしいです。
- 医療費を無料にしてほしい。
- とにかく医療費について考えてほしいです。病気になったりする機会が多いと家計をかなり圧迫し苦しいです。所得上限をもっと上げていただかないと病院に通うのも考えてしまいます。
- 学校から眼科や耳鼻科の再検診の案内をもらってきたりインフルエンザにかかって検査や薬をもらおうとそれだけで毎年結構な金額になり病院に連れていくか、薬局の薬で済まそうか悩んでしまいます。せめて小・中学生の医療費負担は皆平等にしてくれないでしょうか。
- 狛江市の医療証について。所得制限があるのは納得できません。近くの調布は小学校3年まで、世田谷区は中三まで府中市は中三までと周りの地域と差がありすぎる。
- 年収によって医療の援助が打ち切られ、ぜんそくの娘のための医療費が重なると大変困ります。
- 医療費助成について。中学生まで全員同額補助してください。所得の線引きは、どういう基準なのでしょう。歯医者、レントゲン、救急、インフルエンザの薬など高額を支払うたびに不公平だと感じます。
- 幼稚園入園から始まり、小学校と費用負担が大きい。医療においても負担開始が早すぎる。
- 医療費の年収制限をなくしてほしい。
- 医療費の負担を中学生くらいまで無料にしてほしい。
- 中学三年生までは医療費無料にしてほしいです。
- 所得制限緩和もしくは撤廃してほしい。子どもは感染症等にもかかりやすいが、医療費の助成がないと、受診が躊躇され、受診されず、検査もされず、感染が拡大することもあるようです。緩和でもよいので、もう少し受診しやすくしていただきたい。
- 子の医療費無償化(全世帯)。

環境・施設整備について

- とにかくボール遊びできる広い場所が少ないです。地主さんらの協力を得たり、市民

グラウンドを常時開けたり、間接照明をつけたり、工夫できることはあると思います。

- 世田谷区より転居して参りましたが、公園の少なさに驚きました。転居後は全く遊ぶ機会がなくなりました。
- 午後5時になると秋～冬は暗く、道（通学路）の街灯をもっと明るくするなどしていただけると防犯上よいと思います。
- 自由広場もなくなり、ボールを使用できる公園がなくなったため親としても安心して使わせられる場所がほしい。
- 子どもが思い切り遊べる場所が少なくなっている。ボール禁止、スケボー禁止、自転車乗り入れ禁止。せめてボール遊びくらいはさせてほしい。
- スポーツ施設の充実。ピアノ発表会など（文化的な）習い事を活性化するようなイベントの実施。交通安全教室など、私立学校通学者も含めたイベント実施。子育てに関する民間サービスの誘致、住民への紹介。公園へのブランコ設置。子育て世代包括支援センターの効果的な活用（他の政策との連携）。
- 子育ての負担が大きく悩んでいる。児童館は近くになく、充実したイベントもない。近所の公園はゴミが多く、狭い。放課後に子どもだけで安心して遊ばせられる場所がほしい！
- ボール遊び禁止の公園が増えている気がしています。全面禁止ではなく、歩行者、高齢者に危険のない、幼児用のゴムマリやスポンジのボール位は可にしていきたいです。
- ボール遊びを自由にできる場所がないです。広場の様な場所がいくつかあると遊びが広がります。
- 東野川あたりに、児童館や子どもが集まれる場所（ノガチの和室）のような場所がほしいです。公園をもっと増やしてほしいです。
- 公園、遊歩道の整備にもう少し力を入れていただきたい。駒井町のひだまり公園は全く整備されていない。小さな子も遊びに来るので、きちんと下草も根から抜いて整地してほしい。
- 駅近く（市役所や図書館など）に子ども専用の遊び場（児童館的）がほしい。
- 子どもの遊び場が少ないと感じます。
- ボール遊びができない公園が多いので、思い切り体を動かして遊べる場所があると嬉しいです。雨の日でも室内で遊べる施設があると一人で留守番をさせることがなくて安心です。
- 球技で遊べる場所が少ないのが困ります。公園で鬼ごっこなどもしますが、遊べそうな公園にはたくさんの子どもが集まるので結局自由に遊べず帰ってきます。子どもが安心して過ごせる場所があれば、その間働く事もできるし、子育て中の息抜きもしやすいと思います。
- 休日小学生の子どもを遊びに連れて行くのは市外です。狛江市内に小学生が満足して遊べるアスレチック遊具などがあればいいなと思います。1つでいいのでどこか充実した遊び施設がほしいです。
- 岩戸地区はボール遊びをする公園がないのが大変気の毒です。KoKoAも、縄張り争い的に行きたくないときもあり。また、多摩川沿いの土手の、有効活用をもっとしていただけたらと存じます。
- ボール遊びができる場所がないので、グラウンドを常に開放などとしてほしい。

- 引き続き、子どもが思いっきり投げて遊べる公園が多くほしい。子どもたちの遊ぶ場所がなさすぎる。狛江の豊かな自然を利用して走り回れる場所がほしい。
- 子どもを自転車で一人で出掛けさせてあげたいが、狛江は道が狭くて老人の運転者も多いので、危ないと思い、一人で出掛け（自転車では）させられない。道路を広くしてほしい。
- 近くの公園に水のみ場を設置してほしい。
- 一小学校には、広い公園がありません。子どもたちが思いっきりボール遊び等をできるよう、市民グラウンドの開放時間を長くしたり、利用できる曜日を増やしてほしいです。
- とにかく広い公園がほしい。0歳には芝生、未就学児や小学生には体をたくさん動かすことができるアスレチック、夏は噴水、夏祭り等ができる0歳～お年寄りまでの憩いの場所がほしい。
- 狛江は、子どもがボールを使って遊べる場が少なくて肩身が狭いと思います。図書館がもう少し子どもが喜ぶような受け付けシステムや、スペースがあればもっと通う機会が増えるのでは。
- 住みやすい場所だと思っています。飲食店が少し増えると楽しみが増すと思います。
- ボール遊びのできる公園が少ない。
- 子どもたちへの公園等の遊び方のルールがとてもシビア。もっと昔のように自由に遊ばせてほしい。
- 外で思い切り体を動かして遊べる場所が少ないように思います。ボール遊び、ボールけりなど。自由にやって体力向上につなげていきたいです。また、広い公園は安全性の上で不安がある公園もあります。（たこ山など…）
- 小学校、幼稚園等の通学路に危険が多いこと。車、自転車のスピードが速すぎるし運転マナーが悪い。通学時間と通勤時間が重なり、急いでいて周りをよく見ていない。
- 公園又は公園の遊具を増やしてほしい。子どもを預ける場所や保育ママの料金を軽減してほしい。（市からの補助金など）。市民図書館の本を返却する場所を別にも設けてほしい。
- 喜多見電力研究所にマンションができていのに公園がないのは困る。ボール遊びができる公園を増やしてほしい。防犯カメラを増やしてほしい。
- 大きな公園がほしい。 ボール遊びができる場所がほしい。
- ボール遊びが思い切りできる場所がどこにもないです。市民グラウンドの解放だけでは無理があります。
- ブランコのある公園が増やればいいなと思います。
- 狛江市は公園が少ないので学校で遊ぶことしかできません。安心して遊べるような公園を作してほしいです。児童館が遠いので利用できません。増やしてほしいです。KoKoAしか利用する施設がない。
- 図書館が古すぎます。本を探しにくいです。
- ボール遊び、小学生が思い切り遊べる場所がもっとあるとよいなあとと思います。
- 保育所が増えたのはよいのですが平日の午前中、公園が保育園の子であふれかえっていました。年齢差があると小さい子は危ないと思うので、公園を増やしていただくか、変な話ですが曜日制や予約制などにできないものかと本気で考えてしまいました。

- 図書館に自習室を設けていただきたいです。
- 横浜市にあるモッキー(子どもの遊び場)のような施設を作ってほしい。
- 清水川公園に最近「公園で騒ぐのは・・・」との標識が置かれるようになりました。仮に日中の子どもたちの遊ぶ声がうるさいのだとしたら、公園をなくしてしまった方がよろしいかと思います。
- 東野川地区に児童館や図書館がなく不便。こまバスが東野川からあいとぴあ方面への直通がなく不便。
- 小学生もそうですが幼児が遊べる公園(広場)を増やしてもらいたいです。小さい公園が多く、思い切り走り回ることができる公園(広い場所)を作ってもらいたいです。認証保育所など園庭がない保育園児はなかなか遊ぶ場所がなく困っています。もっと狛江市に広い公園を増やしてもらいたいです。
- 一小地区の子どもたちは外で遊ぶ場所が少なすぎます。公園(セントラル市民グラウンド裏)も狭く、遊びづらいのが現状です。早急に遊べる場所を作ってほしいです!!
- ボール遊びができる場所が少なく、毎日困っているので、充実させてほしいです。
- 子どもがのびのびボール遊びができるところを増やしてください。市民グラウンド開放もっと増やしてほしいです。狭くてもよいのでネットのあるスペース(ボールを少し使って遊べるような)を作ってほしいです。体を動かせる環境で子育てできたらよいと思います。
- ボールで遊べる場所がないので増やしてほしい。マンションばかり建てないで公園を作ってほしい。
- 狛江高校の隣のグラウンドを狛江市で使えるように他の市民グラウンドも自由に使える日を作ってください。新しい野球場、フットサル場がほしい。街路樹が暗くて夜暗くなると危ないので早急に明るくしてください。防犯のためにも。
- 通学路や公園などに防犯カメラの増設。市内、近隣の子どもに対する安全情報の速やかな周知の徹底。(隣の学校や調布の学校の不審者情報など市や学校側から積極的に知らせてほしい!!)子育て支援、サポートの前に子どもの安全、安心な町づくりをしてほしい。
- 防犯システムの充実化希望。(通学路にカメラを増やす、見回りを増やす、等の抑止力になること)子どもの遊び場の安全化希望。公園も増やしてほしい。水道道路を含め付近の道が狭く子どもを歩かせるのがいつも不安。
- 子どもがプレーパークをよく利用していて、本当にありがたく思っています。しかし、午後5時の音楽で帰ってきません。いつもそうなので、少し困っています。
- 市民プールの営業期間を長くしてほしい。
- ボールを使うことができる場所が少なすぎます。改善を望みます。
- 本村児童遊園はいつ前を通っても草が生い茂っていて見通しが悪く遊ばせることができない。整備しないのであれば人目にもつきにくくこわいので更地にしてほしい。八幡通りは広い道路でもなく車道と歩道に段差もないのにスピードを出している車が多いためどうかしてほしい。
- 和泉小学校の通学路で、見通しの悪い横断箇所のミラーが、何箇所かなくもって機能していないミラーがある。交通量の多い道の端に緑の塗料を塗っていただいたりありがたいです。KoKoAに設置されているミラーがなくもっている。この横断歩道は左右の見通しが悪く、車からは民家の塀が死角になり、学校から出てくる歩行者が見づらい。

この横断歩道の児童往来は大変多い。

- 外でボール遊びができる広場公園がほしいです。
- 小学生の子どもが放課後遊べる公園が少ない。特に五小付近に広い公園が少なく、みつおさ公園はいつも大勢の子どもでいっぱいです。トイレがある、安心して遊べる公園を作ってください!

生活・就労支援

- ラジオ体操を地区ごとで行い、子どもと高齢者の交流の場を増やす。
- 幼稚園の費用など2人目、3人目をもっと補助してほしい。
- 近くに実家や頼れる方がいない場合はどのように夫婦で仕事をされているのか知りたいです。
- 低所得者世帯に手厚くというのは理解できますが、どの家庭でも子育てにはお金がかかります。子どもを預けて働きたくても、預ける場所がなく、努力して収入アップは難しい状況で、何でもかんでも所得制限で子育て支援をカットするのは、やめてほしいです。せめて子どもだけでも平等に支援してほしいです!!
- 幼稚園入園から始まり、小学校(～今後)と費用負担が大きい。医療においても負担開始が早すぎる。
- 子どもに対する支援(特に子どもが多い世帯)をもっと手厚くするべきだと思う。子どもが1人よりも2人、3人いる世帯への負担を少なくするべき。
- メンタルや体調面も考えケアしているつもりですが、仕事との両立や祖父母に頼らざるを得ない状況がつらいです。
- 子どもを預かる場所の充実も必要だが、それ以上に共働きが多い中、もっと子どもの行事などに参加できるよう休みやすい環境になってほしい。

市への要望ほか

- 防犯対策の強化を希望します。市内に古い空き家が多いので、早く撤去してもらいたい。不審者情報などはいち早く学校からもメールがくるので助かります。
- 小学校の登下校の際に、子どもが登下校した記録を親の携帯などに知らせてくれるシステムを導入してほしいです。
- 我が家は母子家庭です。仕事を持ち、祖父母の助けがあるのでなんとか暮らしていますが、そうでない家の方が多いと思います。そのような方々にも手をさしのべられるような支援を行政でしていただければと思います。
- 子どもの成長にとって重要なのは運動と勉強だと思います。学校や家庭ではその学校なり、家庭なりの教育や子育てができますが、狛江市が独自の子育てをするのであれば、放課後や休日の運動する環境や勉強する環境を整えるべきだと思います。
- 新しい市長には期待しています!
- 狛江市からでている情報(広報誌)のほとんどはお年寄り向けだと感じます。子どもについての物があっても産前、産後、そして未就学の子どもについてのほとんどだと思います。もっと未来を担う子どもたち、そしてその子たちを育てていく大人に目を向けていただきたい思います。
- 狛江市内の中学は選択肢が誠に乏しいです。部活を増やすのは、教師の負担や練習場

所の問題から難しいとばかり言われます。健全な青少年を育むことが子育て支援の目標であるなら、中学生に対しても何が必要なのかを深く考えるべきだと思います。

- 子育てに関する実行事項の優先順位、戦略性がよくないと思います。今一度見直し、課題を10年放置するようなことは直ちにやめていただきたいと思います。10年来解決されていない病児保育のリスクヘッジ、一小付近の学童の拡充の遅れは無計画すぎです。
- ショートステイや病後児預かり、学童クラブなど今日のアンケートのこの用紙より初めて知ることも多かったです。市に税金を払っているのも同じ市内の小学生として平等に情報がほしいです。
- 午後5時に流れる音楽を聞いて帰宅時間の目安としている小学生が多いので(公園など外遊びのとき)、日没時間が早い季節は音楽を流す時間を早くして、明るいうちに帰宅できるようになると助かります。
- 子育て支援と教育、福祉の連携が必要でこの三本柱のバランスと共通の情報共有を図り、未就学から就学就労までの成長の期間に、必要なときに必要な形での支援体制と、垣根を越えて偏りのない全ての子どものための支援をしていただきたい。
- 狛江市に住んではいるものの、地域住民との交流を図ることができないでいる。お祭り等で参加しても、家族で行くので、他の人との交流をしたくてもできません。誰でも気軽に交流できる場がほしいのと、そのような場をもっと知ってもらえる様に広告等、人目に付きやすくすればよいと思います。
- 子育てに関する情報や子どもが参加できる地域のイベントやお祭りなどを1つのホームページにまとめてほしい。
- 狛江は子育てがしやすいと感じています。市のサイズやサービスの感じがよい。ありがとうございます。
- もちろん狛江市に頼ることも大切ですが、市民が自らの足で活動したりすることも重要だと思うので、働くママや働きたいママ支援もぜひお願いしたいと思います。
- 学校から小学生クラブに行くときに、ECCの女性から声をかけられ、学年を聞かれ、ハロウィンジュニアパーティーをやるから来てね、とECCの営業をされていましたが、子どもたちに営業をしないでもらいたいです。
- 地域の子どもたちとの交流の機会を得たいと考えているのですが、情報が入手できません。放課後の利用なども、その小学校在学児のみの対象なのか、よくわかりませんでした。小学校経由以外の情報入手先を明確にしていいただければ幸いです。
- 住宅地がどんどん増えていて、街が活性化するのは、とてもいいことですが、学校や公園、学童などの受入れ体制が、追いついていないのが心配です。また、これだけ人口密度が高くなってくると、災害が起こったときの体制も気になります。災害に強く、子育てのしやすい狛江市を望みます。
- 市外の学校へ通っており、子育てに関する情報が全くなく、知らないことだらけでした。全児童へ情報の開示をしてくださると大変ありがたいです。
- 子育てに関する事業にお金を使ってほしいです。

アンケートについて

- すぐに封を開けないこともあるので封筒にも返信の〆切を書いてほしいです。
- 未就学児のアンケートも記入しました。何を基準として対象者を選出しているのか、

疑問です。せめてどちらかにしてもらいたい。また、できるだけ多くの意見を求める事も必要なのでは？

子育て全般

- 小学校の間までは時短勤務ができればいいのと思う。ゆっくり子どもと向き合えないし、毎日がただただ消費されてる感じ。
- 子どもとの接し方、子どもと接しているときの配偶者への接し方が、具体的にはわからない事が多々あります。
- 今の親世代の意識改革も必要だと思うし、先輩である世代の方々との交流も含め、家庭内にこもりがちな方たちにも地域との関わりが持てたらいいと思います。
- 子育ては、家庭がしっかりしていたらほぼ問題は起きないと思います。

登録番号（刊行物番号）

H30－69

子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書

平成 31 年 3 月発行

発 行 狛江市

編 集 狛江市児童青少年部子育て支援課
狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電 話 03（3430）1111

印 刷 庁内印刷

頒布価格 180 円